「図書館の分類に関する調査（2023）」について

日本図書館研究会情報組織化研究グループ2025年6月月例研究会
「分類調査2023の結果とNDCの今後に向けて」報告資料

日本図書館協会分類委員会

報告者：粕谷紳二（日本図書館協会分類委員会委員）

2025.6.21

目次

はじめに 3
1. 調査の経緯 4
1-1.「図書館の分類に関する調査（2023）」の位置付け 5
1-2. 調査の実施まで 6
1-3. 調査の実施 8
1-4. 回答の集計 9
1-5. 結果の公表 10
2. 調査結果 11
2-A. 調査回答館数 13
2-B. 分類法の適用について 17
2-B(1). 分類法を使用しているか 18
2-B(2-1). 新規受入の和図書に対して適用している分類法 21
2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版 25
2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法 30
2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版 35
2-B(2-5). 併用している分類法 41
2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと 48
2-B(3-2). NDC10版への切替時期 56
2-B(3-3). 切替時の問題点、切替を行わない理由など 62
2-C. 分類作業の方法について 66
2-C(1-1). どのように分類作業を行うか 67
2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか 71
2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由 76
2-C(1-4). 主に利用している外部データ 82
2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限 85
2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限 90
2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど） 97
2-D. 分類に関するサービスについて 103
2-D(1-1). 蔵書の検索サービス（OPAC等）を提供しているか 104
2-D(1-2). 蔵書検索サービスで分類記号を検索に使用できるか 107
2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報 111
2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能 120
2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容 130
2-E. 分類に関する意見、感想等 137
2-(参考). 設問ごとの回答率 138
3. 全般的な着目点 139
3-1. 調査回答率と本調査の位置付け 140
3-2. NDCの普及状況 141
3-3. 外部資源の利用 142
3-4. 分類法と各館の「組織化」 143

はじめに

日本図書館協会分類委員会は、2023年7月から8月にかけて、全国の公共図書館、大学図書館を対象に、「図書館の分類に関する調査（2023）」を実施いたしました。

調査にご協力いただきました関係の方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本日は調査結果の概要についてご報告いたします。

調査結果は、日本図書館協会分類委員会のホームページにも掲載しておりますので、併せてご参照下さい。

1. 調査の経緯

1-1.「図書館の分類に関する調査（2023）」の位置付け

図書の分類法の使用状況について、従来以下の調査が行われていた。

- JLA「図書の整理に関する調査」（1964、1972、1981、1989）
- JLA目録委員会「目録の利用と作成に関する調査」（1997）
- JLA分類委員会「図書の分類に関する調査」（2008）

2022年段階で、2014年12月のNDC新訂10版刊行からほぼ8年が経過、その後の状況を把握すべき時期に達したと判断。

前回調査との継続性はある程度考慮するが、分類法の使われ方の観点を重視、設問はなるべくシンプルにし、回答や集計を容易にする方向。

1-2. 調査の実施まで

2023年度の事業計画の一つとし、2022年9月から2023年6月にかけ、調査の対象、内容、方法、依頼ルート等につき検討。

① 調査対象

- **2008年調査と同様**

  公共図書館：都道府県立、市区立、町村立、私立

  大学図書館：大学、短期大学、高等専門学校、大学校、大学共同利用機関

  いずれも中央館以外の図書館（分館など）を対象に含む。

② 調査内容（概略）

- 分類法の適用
- 分類作業の方法
- 分類に関するサービス
- 分類に関する意見、感想等

2008年調査

- 分類作業を自館で行うか
- 外部データを参考にするか
- 使用している分類表
- 件名標目を付与しているか
- OPACを提供しているか
- OPACで分類･件名検索は可能か

1-2. 調査の実施まで

③ 調査方法（回答方法）

- Googleフォーム調査票：所定のURLよりフォームにアクセスし回答を入力
- Excel調査票：ホームページよりExcel調査票をダウンロードし回答を入力、メール送信

④ 依頼文メール送信ルート

- JLA公共図書館部会

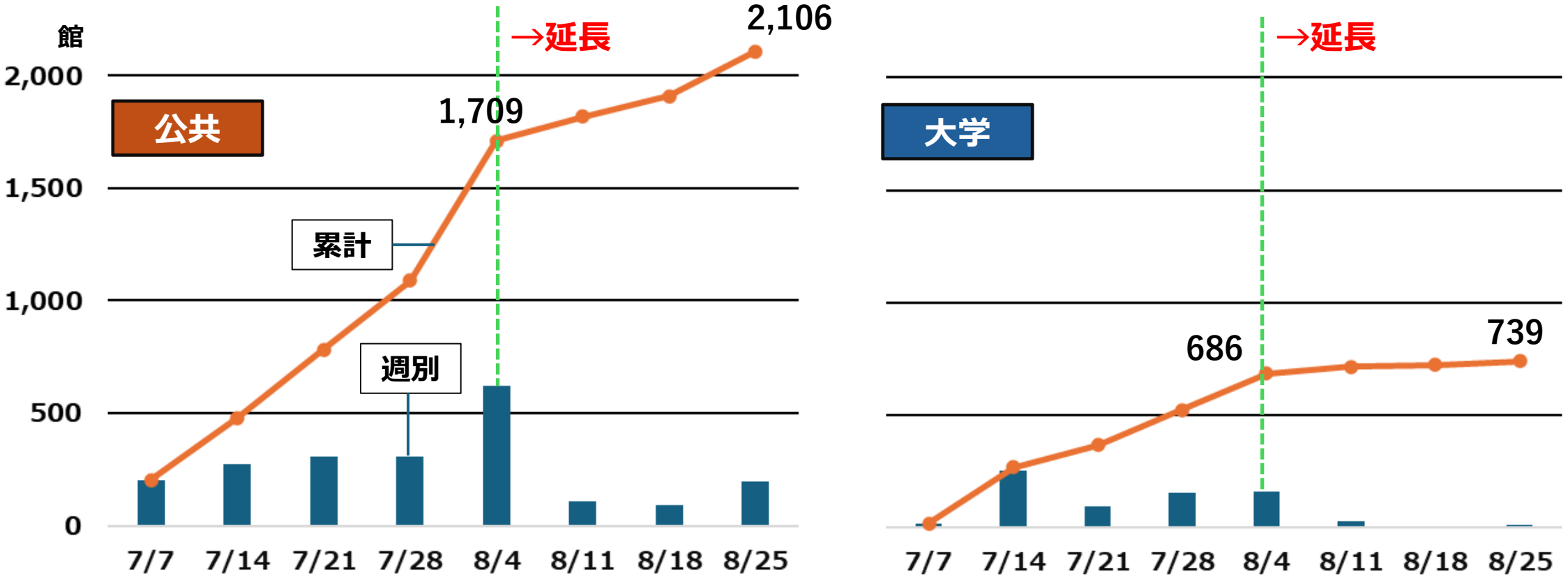
  →都道府県立図書館→都道府県内の市区町村立図書館
- JLA大学図書館部会

  →国公私立大学図書館協力委員会、国立高専機構→各大学・国立高専図書館
- 公立短大、公立・私立高専、大学共同利用機関：郵送
- 私立短大：日本私立短期大学協会のホームページで報知
- JLAメールマガジン、X（旧Twitter）、『図書館雑誌』2023年6月号のNEWS欄でも報知

1-3. 調査の実施

- 当初の調査期間の設定は、2023年7月3日（月）～8月4日（金）。
- 7月末段階の回答状況から、回答期間を8月25日（金）まで3週間延長。

回答館数の推移



1-4. 回答の集計

Googleフォーム調査票とExcel調査票を統合し回答を精査。

以下を補正し集計を実施。

- 1つの図書館から複数回の回答→最も有効と見なされる1件の回答を採用
- 館種等の明らかな回答ミス→修正
- 『日本の図書館』に掲載のない公民館図書室等からの回答→「公共図書館－その他」の区分を設けて集計（32館）
- 複数館をまとめて回答している→その回答を元に該当する館数分の回答を生成（67回答→278館分の回答を生成）

1-5. 結果の公表

- 『図書館雑誌』2024年3月号に報告を掲載

  JLA分類委員会.「図書館の分類に関する調査（2023）」結果報告. 図書館雑誌. Vol.118, No.3, 2024.3, p.144-148

- 館種別の内訳等の詳細を2024年12月にJLA分類委員会ホームページに掲載

  https://www.jla.or.jp/committees/bunrui//tabid/1111/Default.aspx

2. 調査結果

▶ 【A】調査回答館数

【B】分類法の適用について

(1) 分類法の使用

(2) 分類法の適用状況

(3) NDC新訂10版への切替

【C】分類作業の方法について

(1) 分類作業の方法

(2) NDCを適用する場合の桁数・運用方針

【D】分類に関するサービスについて

(1) 蔵書検索サービス（OPAC等）

(2) 分類に関する利用者への案内

【E】分類に関する意見、感想等（自由記入）

2-A. 調査回答館数

公共図書館

単位：館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
調査対象数	59	2,600	628	18		3,305
調査回答館数	52	1,587	428	7	32	2,106
回答率	88.1%	61.0%	68.2%	38.9%		63.7%
中央館	45	638	388	7	29	1,107
中央館以外	7	949	40		3	999
Googleフォーム回答	33	1,034	352	5	30	1,454
Excelファイル回答	19	553	76	2	2	652

2-A. 調査回答館数

大学図書館

単位：館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	その他	計
調査対象数	288	147	1,041	156	61	16	1,709
調査回答館数	184	65	406	26	45	13	739
回答率	63.9%	44.2%	39.0%	16.7%	73.8%	81.3%	43.2%
中央館	67	49	311	26	42	13	508
中央館以外	117	16	95		3		231
Googleフォーム回答	165	60	380	24	43	11	683
Excelファイル回答	19	5	26	2	2	2	56

2-A. 調査回答館数

- 回答率は、平成19年度「日本の図書館」ミニ付帯調査として実施された2008年調査に及ばない結果。メールのルートの確保、調査対象館への働きかけ等について一層の工夫が必要。

	2023年調査		2008年調査	
公共	63.7%	（2,106 / 3,305）	95.1%	（2,974 / 3,126）
大学	43.2%	（739 / 1,709）	89.1%	（1,479 / 1,660）

- 調査対象館と回答館が異なる回答は、公共766件（36.4%）、大学95件（12.9%）。公共の中央館以外について中央館が回答するケースが多い。

	調査対象館＝回答館			調査対象館≠回答館			計
	中央館	中央館以外	計	中央館	中央館以外	計	
公共	1,028	309	1,337	87	679	766	2,103 ※不詳3
	48.9%	14.7%	63.6%	4.1%	32.3%	36.4%	100.0%
大学	481	163	644	27	68	95	739
	65.1%	22.1%	87.1%	3.7%	9.2%	12.9%	100.0%

2-A. 調査回答館数

- Googleフォームを用いた回答は、公共図書館の69.0%、大学図書館の92.4%を占め、当初見込みよりも高率。

- 『日本の図書館』の名簿に掲載されていない図書館（公民館図書室等）からの回答が32件あり、「公共図書館・その他」として集計に追加。

【A】調査回答館数

▶ 【B】分類法の適用について

(1) 分類法の使用

(2) 分類法の適用状況

(3) NDC新訂10版への切替

【C】分類作業の方法について

(1) 分類作業の方法

(2) NDCを適用する場合の桁数・運用方針

【D】分類に関するサービスについて

(1) 蔵書検索サービス（OPAC等）

(2) 分類に関する利用者への案内

【E】分類に関する意見、感想等（自由記入）

2-B(1). 分類法を使用しているか

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
配架・検索に使用	100.0%	99.4%	95.8%	57.1%	62.5%	98.0%
配架のみに使用		0.4%	2.6%	42.9%	15.6%	1.2%
検索のみに使用		0.1%	0.5%		3.1%	0.2%
使用していない		0.1%	1.2%		18.8%	0.6%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
配架・検索に使用	52	1,578	410	4	20	2,064
配架のみに使用		6	11	3	5	25
検索のみに使用		2	2		1	5
使用していない		1	5		6	12
回答館数	52	1,587	428	7	32	2,106

2-B(1). 分類法を使用しているか

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
配架・検索に使用	96.7%	100.0%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%
配架のみに使用	2.7%		1.5%				1.5%
検索のみに使用			0.2%				0.1%
使用していない	0.5%		0.7%				0.5%

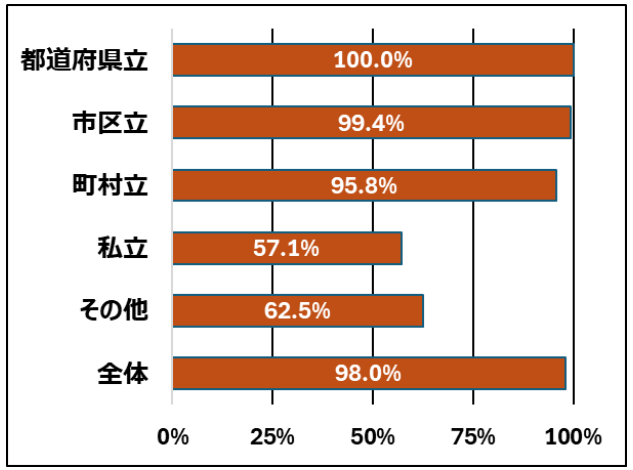
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
配架・検索に使用	178	65	396	26	45	13	723
配架のみに使用	5		6				11
検索のみに使用			1				1
使用していない	1		3				4
回答館数	184	65	406	26	45	13	739

2-B(1). 分類法を使用しているか

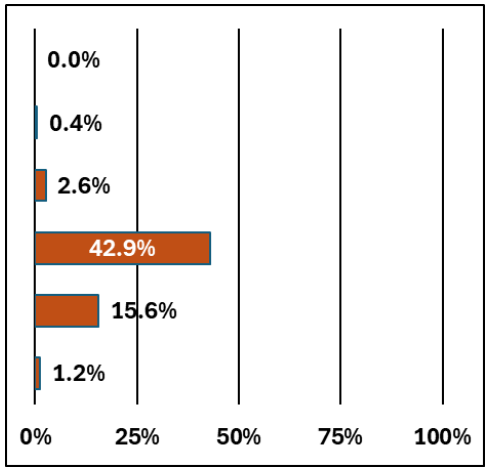
- 小規模あるいは特定分野の図書館で分類不使用のケースが見られる。

公共図書館

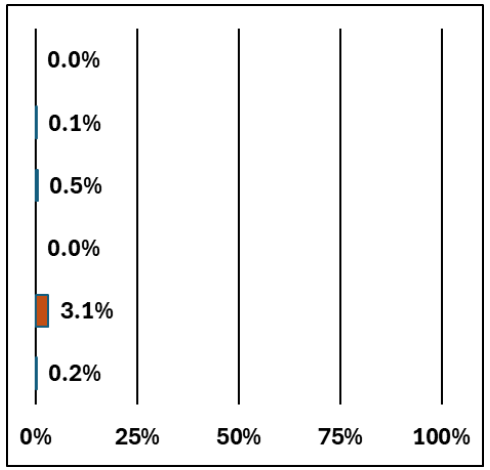
配架・検索に使用



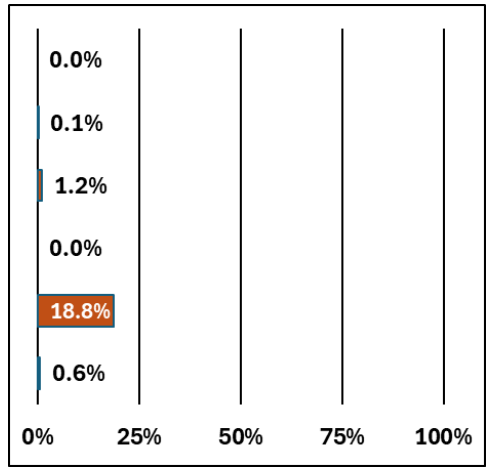
配架のみに使用



検索のみに使用

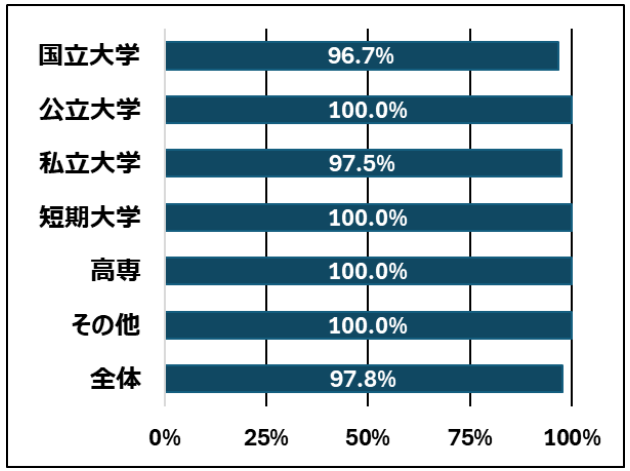


使用していない

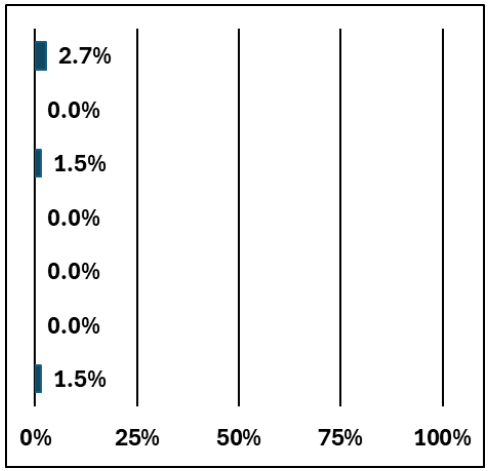


大学図書館

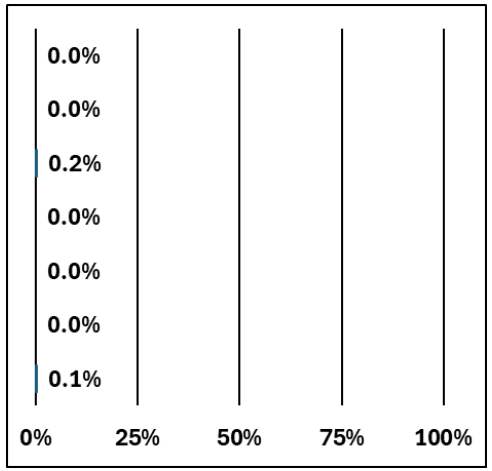
配架・検索に使用



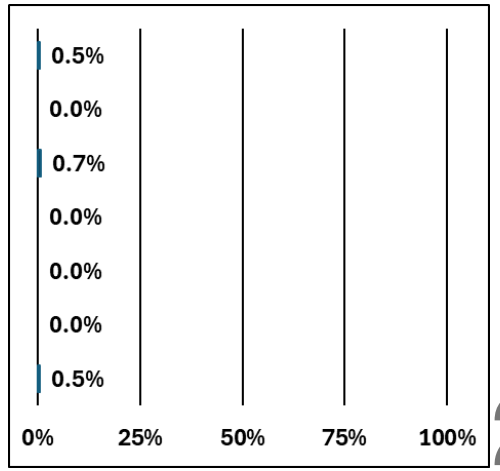
配架のみに使用



検索のみに使用



使用していない



2-B(2-1). 新規受入の和図書に対して適用している分類法※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
NDC	100.0%	98.9%	99.3%	85.7%	96.3%	98.9%
NDC以外		1.1%	0.7%	14.3%	3.7%	1.1%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
NDC	52	1,560	419	6	26	2,063
NDC以外		17	3	1	1	22
回答館数	52	1,577	422	7	27	2,085

※分類法を使用している図書館対象

2-B(2-1). 新規受入の和図書に対して適用している分類法

大学図書館

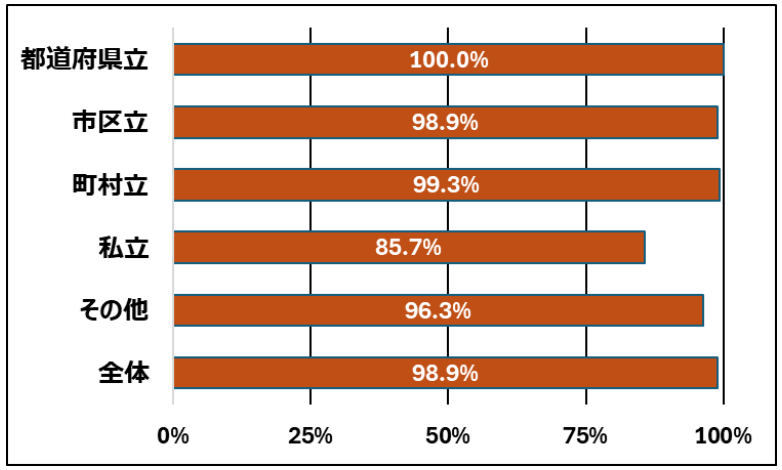
	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
NDC	79.1%	95.4%	89.8%	100.0%	100.0%	46.2%	87.9%
NDC以外	20.9%	4.6%	10.2%			53.8%	12.1%

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
NDC	144	62	362	26	45	6	645
NDC以外	38	3	41			7	89
回答館数	182	65	403	26	45	13	734

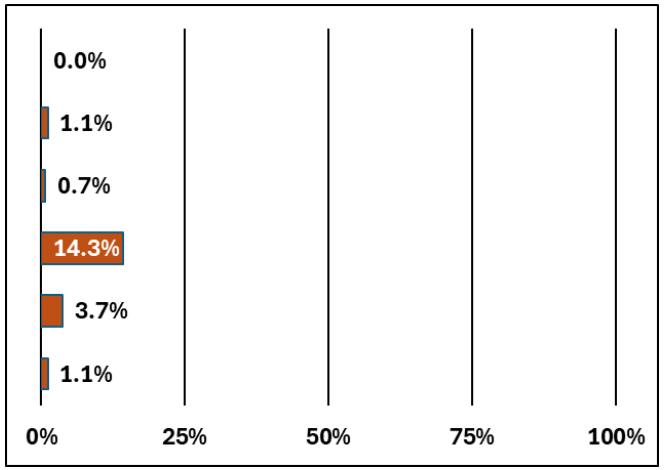
2-B(2-1). 新規受入の和図書に対して適用している分類法

公共図書館

NDC

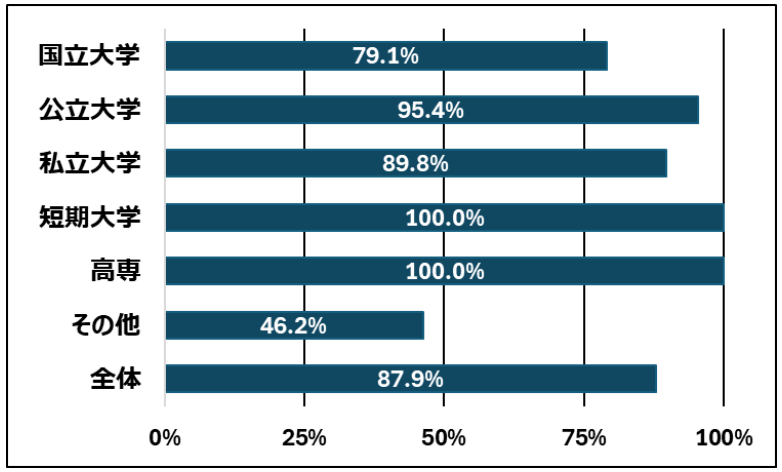


NDC以外

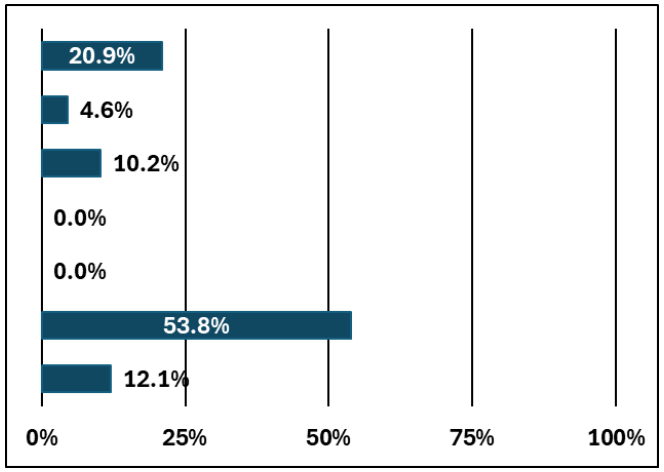


大学図書館

NDC



NDC以外



- NDCの適用率は公共98.9%。大学は87.9%で、公共に比べ10ポイント余り低い。

2-B(2-1). 新規受入の和図書に対して適用している分類法

「NDC以外」の主な回答内容

公共図書館	館
独自分類	17
指定管理者による独自分類	2
ライフスタイル分類	1

大学図書館	館
NLMC（米国国立医学図書館分類法）	38
独自分類	29
UDC（国際十進分類法）	8
日本看護協会看護学図書分類表	5
NDLC（国立国会図書館分類表）	4
DDC（デューイ十進分類法）	3
仏書共通分類表	1

- 公共では小規模館を中心に独自分類の適用が見られる。ライフスタイル分類の回答もある。
- 大学では医学系でNLMCの適用が多い。UDC、NDLC、DDCのほか、専門分野の独自分類（音楽、経済学、国文学、法学等）の適用も見られる。

2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
新訂10版	55.8%	64.3%	62.4%	83.3%	54.2%	63.7%
新訂9版	30.8%	32.6%	29.9%		12.5%	31.7%
新訂8版	7.7%	1.0%	1.2%		8.3%	1.3%
新訂7版		0.4%		16.7%		0.4%
新訂6版						0.0%
版を決めていない		1.1%	5.8%		25.0%	2.3%
その他	5.8%	0.6%	0.7%			0.7%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
新訂10版	29	1,011	259	5	13	1,317
新訂9版	16	512	124		3	655
新訂8版	4	15	5		2	26
新訂7版		7		1		8
新訂6版						0
版を決めていない		18	24		6	48
その他	3	9	3			15
回答館数	52	1,572	415	6	24	2,069

「その他」は主に複数版の併用

※和図書の分類にNDCを適用している図書館対象

2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
新訂10版	43.8%	35.5%	43.8%	34.6%	37.8%	50.0%	42.3%
新訂9版	39.7%	38.7%	35.6%	38.5%	33.3%	50.0%	36.9%
新訂8版	6.8%	22.6%	11.2%	7.7%	11.1%		11.1%
新訂7版	3.4%		3.8%	3.8%	2.2%		3.2%
新訂6版	1.4%		0.3%				0.5%
版を決めていない	2.7%	1.6%	3.0%	3.8%	11.1%		3.4%
その他	2.1%	1.6%	2.2%	11.5%	4.4%		2.6%

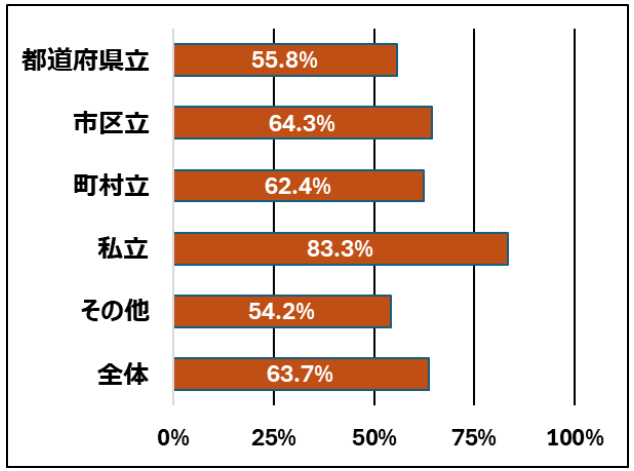
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
新訂10版	64	22	160	9	17	3	275
新訂9版	58	24	130	10	15	3	240
新訂8版	10	14	41	2	5		72
新訂7版	5		14	1	1		21
新訂6版	2		1				3
版を決めていない	4	1	11	1	5		22
その他	3	1	8	3	2		17
回答館数	146	62	365	26	45	6	650

「その他」は主に複数版の併用

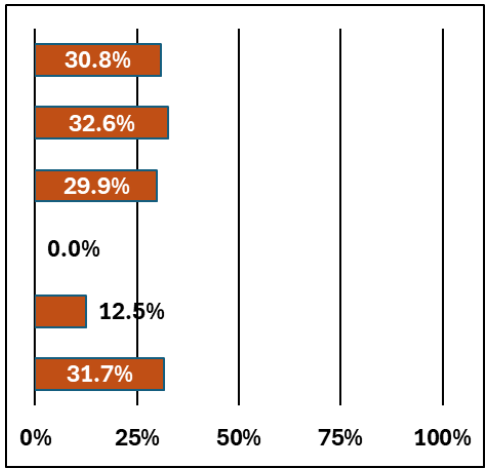
2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版

公共図書館

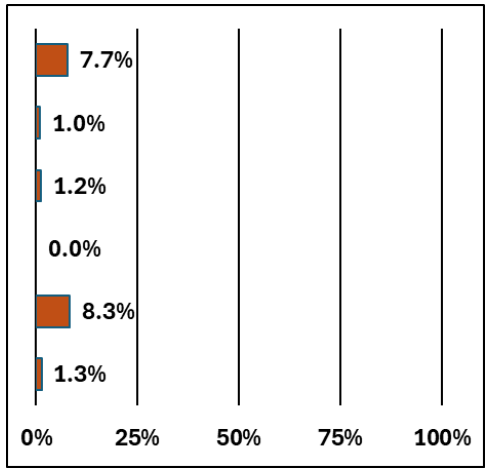
新訂10版



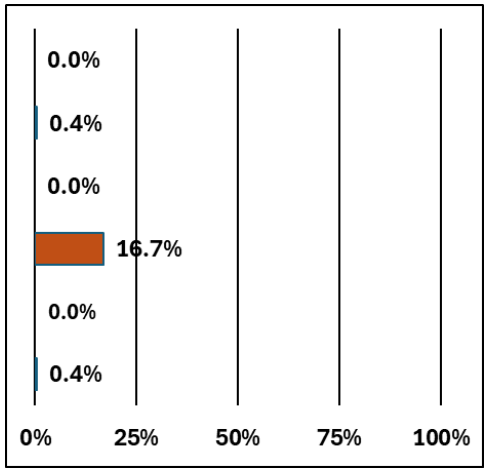
新訂9版



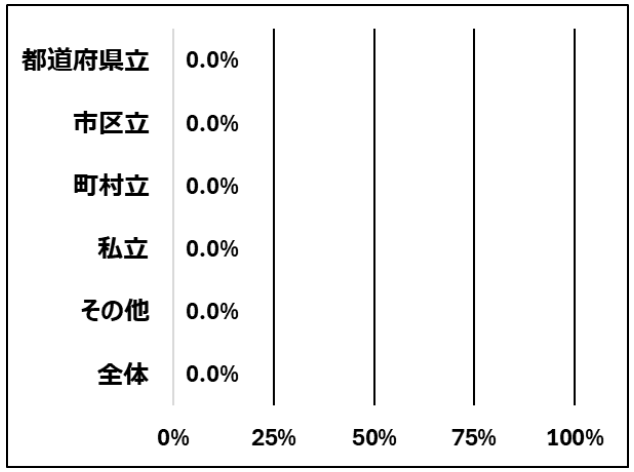
新訂8版



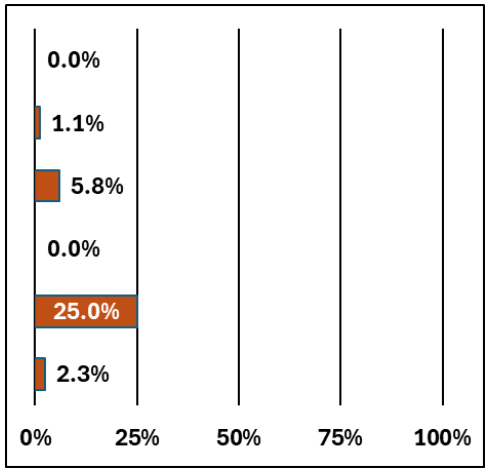
新訂7版



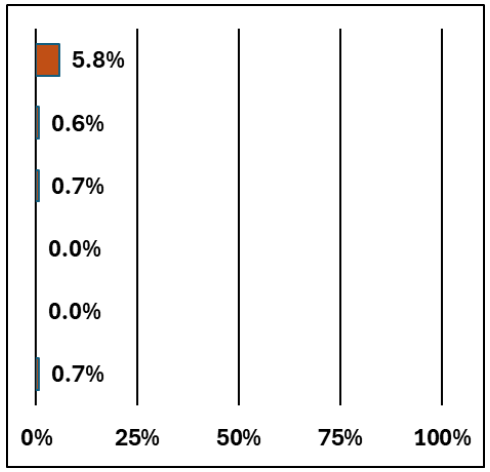
新訂6版



版を決めていない



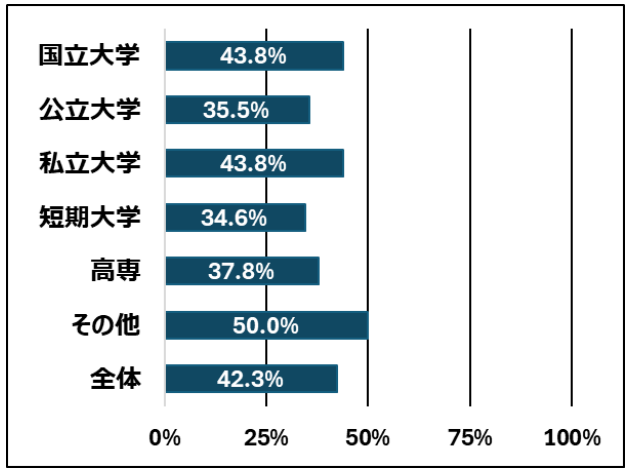
その他



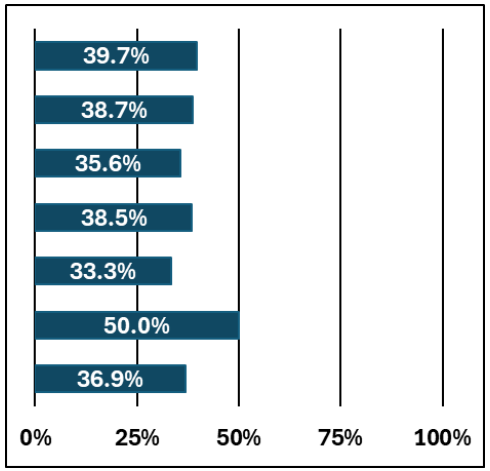
2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版

大学図書館

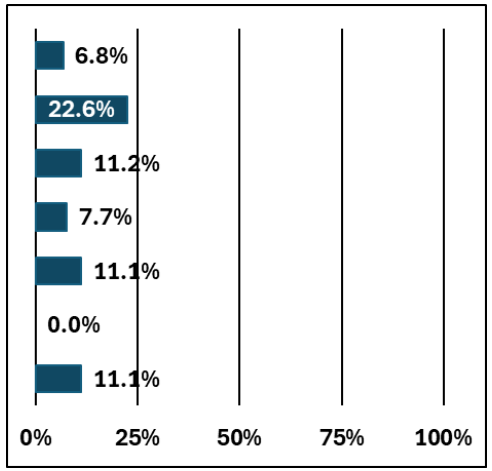
新訂10版



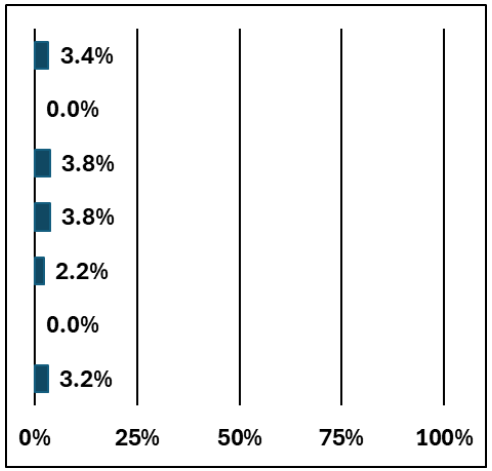
新訂9版



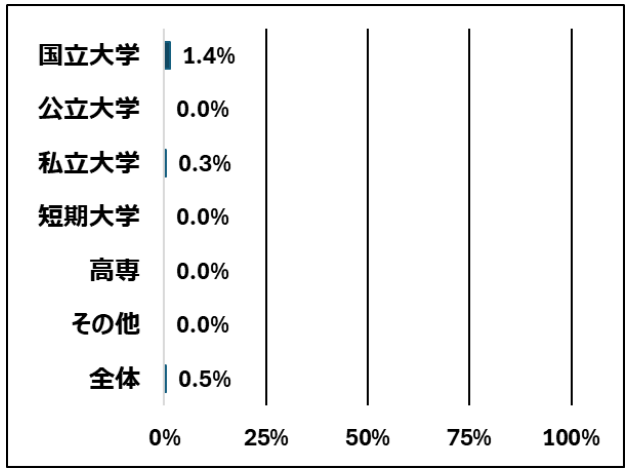
新訂8版



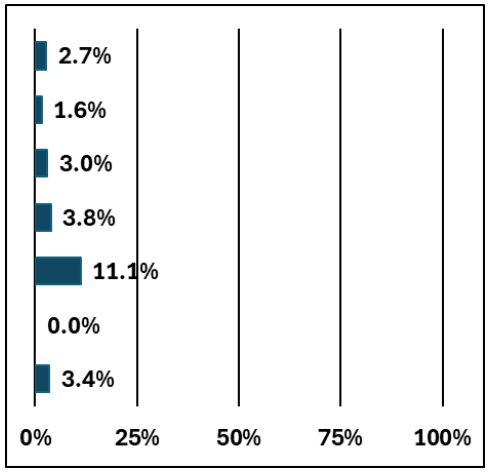
新訂7版



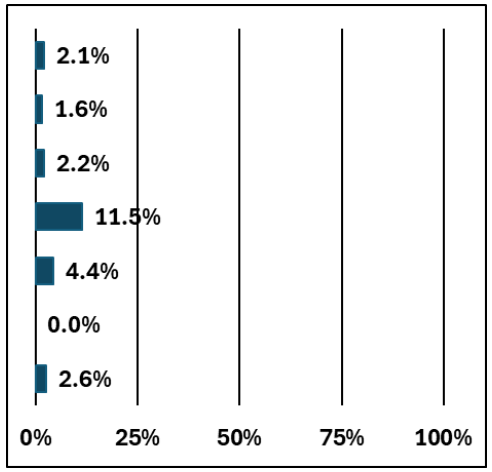
新訂6版



版を決めていない



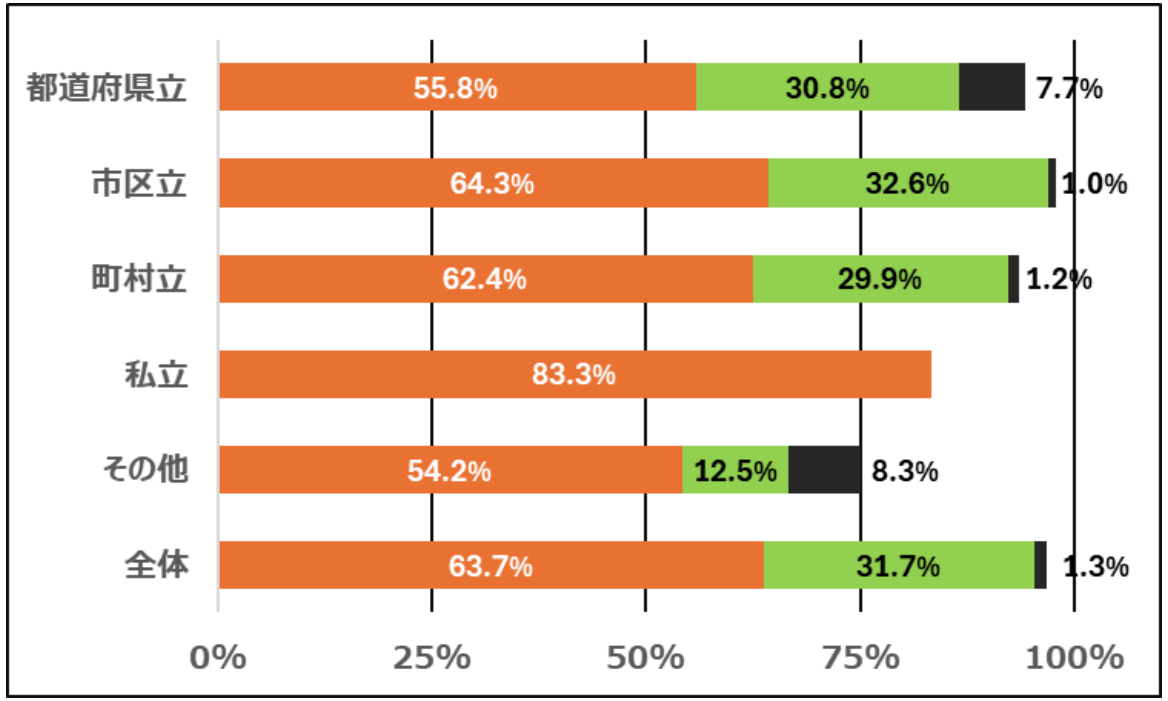
その他



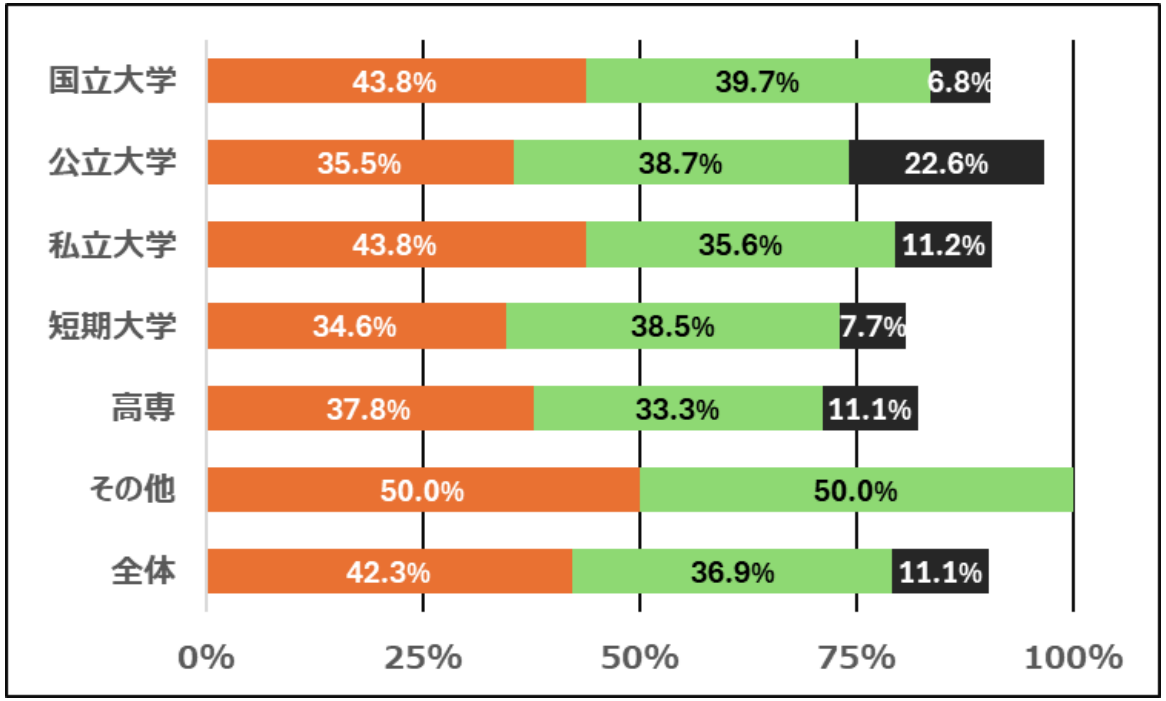
2-B(2-2). 和図書に適用しているNDCの版

NDC新訂10版・9版・8版のシェア

公共図書館



大学図書館



10版　9版　8版

- 10版適用率は、公共63.7%、大学42.3%で、公共の方が進行。

2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
NDC	98.1%	86.4%	73.4%	71.4%	64.3%	83.7%
NDLC		0.4%	1.9%		3.6%	0.7%
DDC	1.9%					0.1%
LCC						0.0%
UDC						0.0%
洋図書非収集		9.4%	23.2%	28.6%	32.1%	12.3%
その他		3.8%	1.4%			3.2%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
NDC	51	1,364	307	5	18	1,745
NDLC		6	8		1	15
DDC	1					1
LCC						0
UDC						0
洋図書非収集		149	97	2	9	257
その他		60	6			66
回答館数	52	1,579	418	7	28	2,084

- 「洋図書非収集」を除外した、洋図書を収集している図書館のNDC使用率は95.5%（1,745館 / 1,827館）。

※分類法を使用している図書館対象

2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
NDC	76.2%	89.2%	83.1%	80.8%	100.0%	38.5%	82.1%
NDLC	1.7%		0.3%	3.8%			0.7%
DDC	3.3%	3.1%	6.0%	3.8%		7.7%	4.7%
LCC	0.6%	3.1%	1.3%			7.7%	1.2%
UDC	1.1%	1.5%	0.8%			15.4%	1.1%
洋図書非収集	0.6%		0.3%	7.7%			0.6%
その他	16.6%	3.1%	8.3%	3.8%		30.8%	9.6%

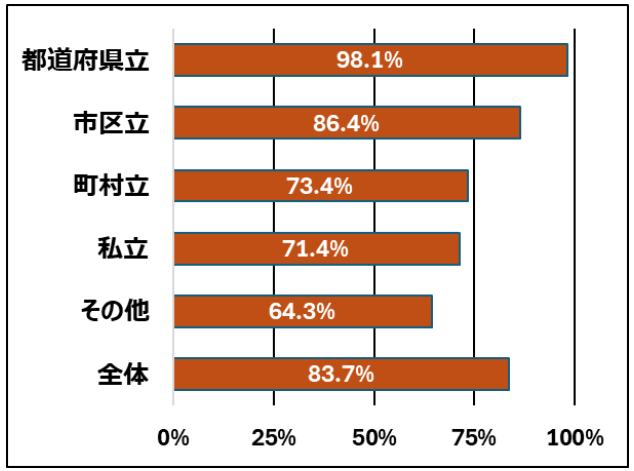
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
NDC	138	58	330	21	45	5	597
NDLC	3		1	1			5
DDC	6	2	24	1		1	34
LCC	1	2	5			1	9
UDC	2	1	3			2	8
洋図書非収集	1		1	2			4
その他	30	2	33	1		4	70
回答館数	181	65	397	26	45	13	727

	和洋とも	洋図書のみ	
NDLC	3館	2館	40.0%
DDC	3館	31館	91.2%
LCC	0館	9館	100.0%
UDC	7館	1館	12.5%

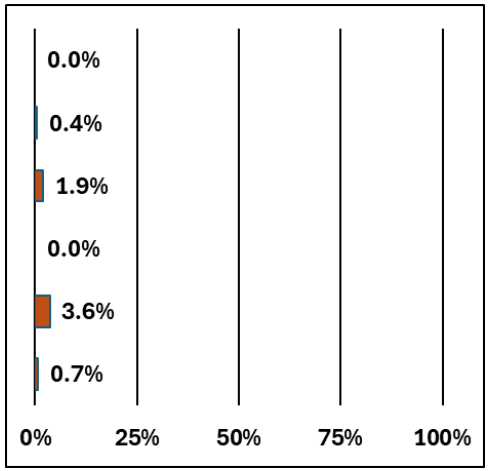
2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法

公共図書館

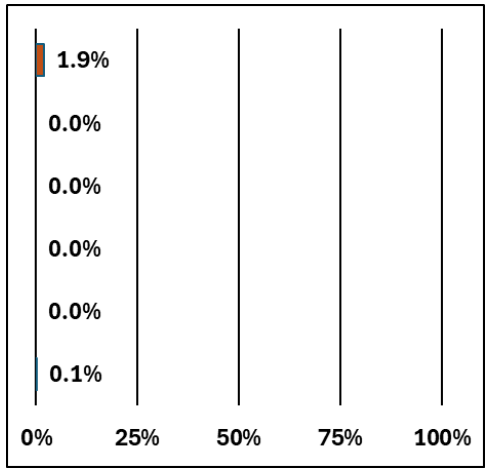
NDC



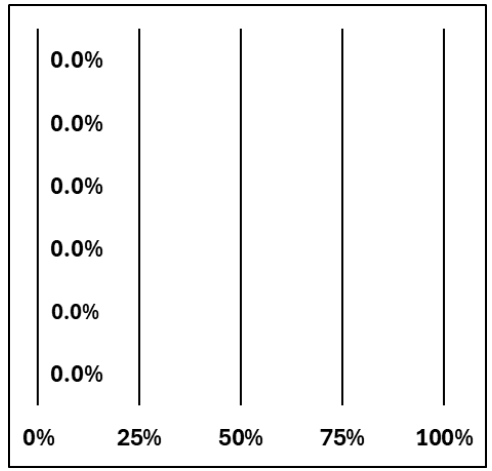
NDLC



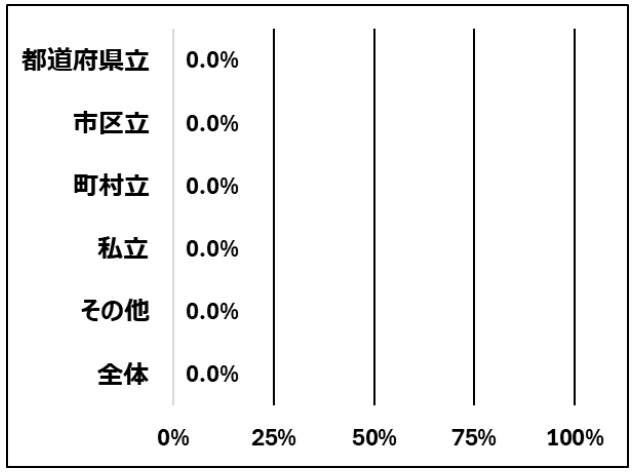
DDC



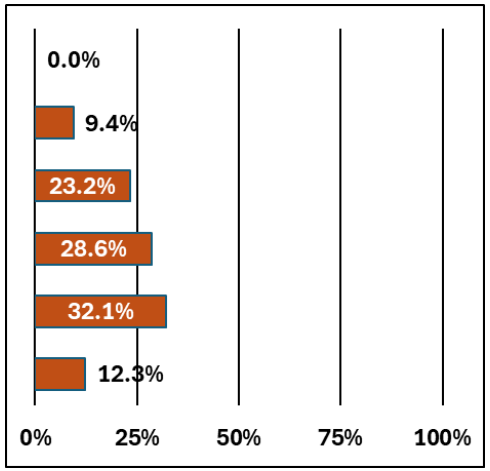
LCC



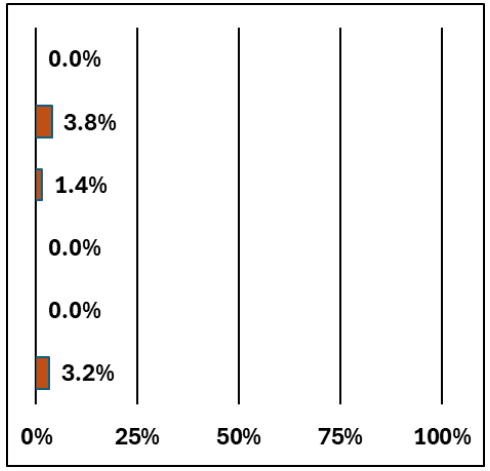
UDC



洋図書非収集



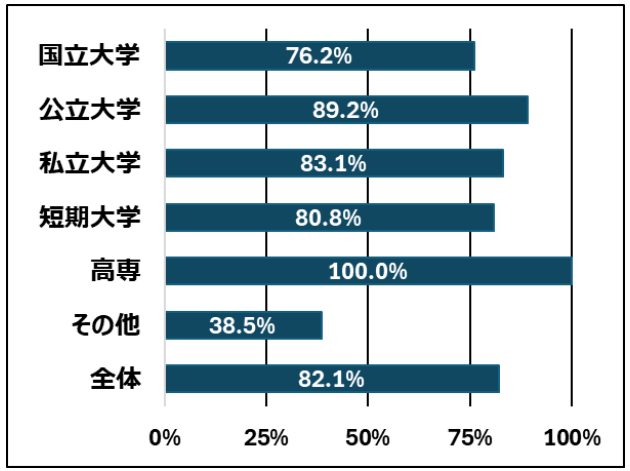
その他



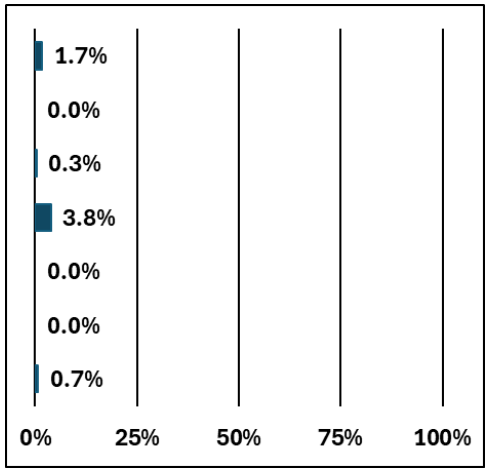
2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法

大学図書館

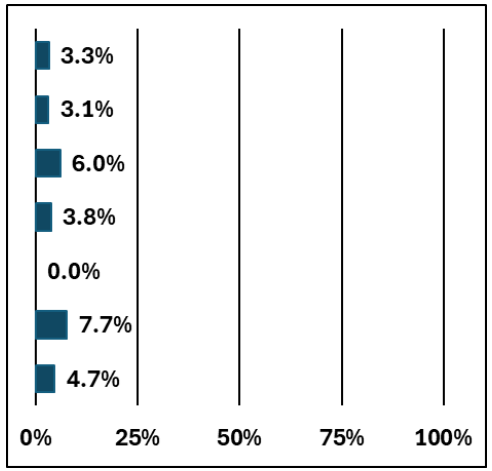
NDC



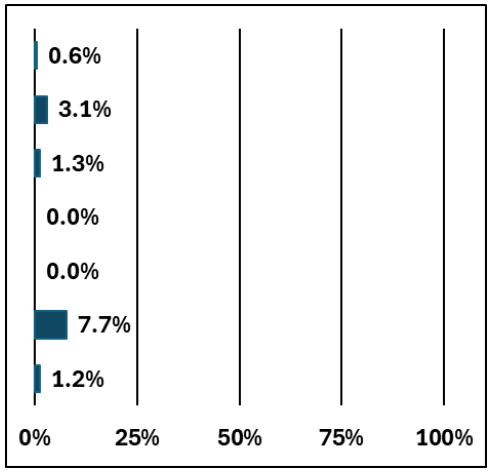
NDLC



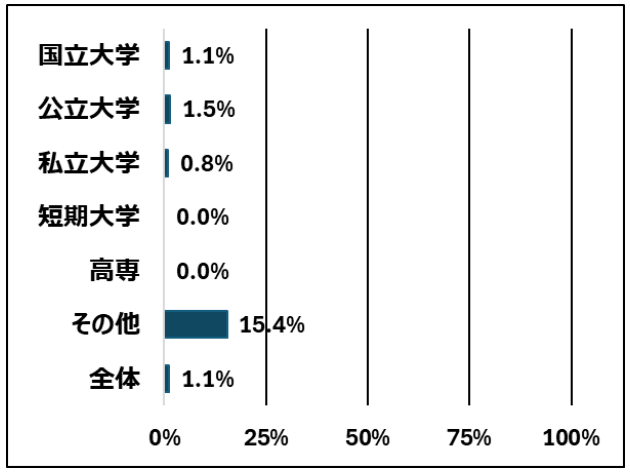
DDC



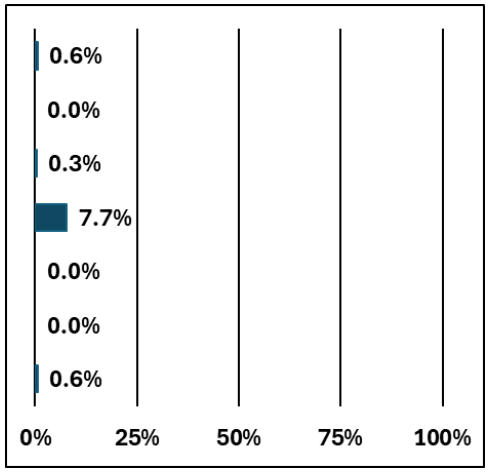
LCC



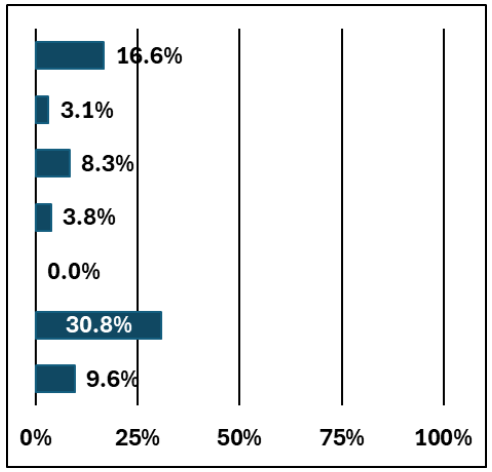
UDC



洋図書非収集



その他



2-B(2-3). 新規受入の洋図書に対して適用している分類法

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
独自分類	48
分類なし	7
独自分類+NDC	3
別置記号付与	2
指定管理者による独自分類	1
ライフスタイル分類	1

大学図書館	館
NLMC（米国国立医学図書館分類法）	35
独自分類	27
日本看護協会看護学図書分類表	3
NLMC+NDC	1
独自分類+NDC	1
分類なし	1

2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
新訂10版	54.9%	65.6%	61.1%	80.0%	47.4%	64.4%
新訂9版	33.3%	31.3%	31.2%		15.8%	31.0%
新訂8版	7.8%	1.0%	2.2%		5.3%	1.5%
新訂7版		0.5%		20.0%		0.5%
新訂6版						0.0%
版を決めていない		1.2%	4.5%		31.6%	2.0%
その他	3.9%	0.4%	1.0%			0.6%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
新訂10版	28	903	192	4	9	1,136
新訂9版	17	430	98		3	548
新訂8版	4	14	7		1	26
新訂7版		7		1		8
新訂6版						0
版を決めていない		16	14		6	36
その他	2	6	3			11
回答館数	51	1,376	314	5	19	1,765

「その他」は主に複数版の併用

※洋図書の分類にNDCを適用している図書館対象

2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
新訂10版	43.7%	36.2%	43.4%	33.3%	35.6%	60.0%	42.0%
新訂9版	40.1%	41.4%	36.2%	47.6%	35.6%	40.0%	38.0%
新訂8版	7.0%	19.0%	11.4%	4.8%	8.9%		10.6%
新訂7版	3.5%		3.3%	4.8%	2.2%		3.0%
新訂6版	1.4%		0.3%				0.5%
版を決めていない	2.1%	1.7%	3.6%	4.8%	13.3%		3.8%
その他	2.1%	1.7%	1.8%	4.8%	4.4%		2.1%

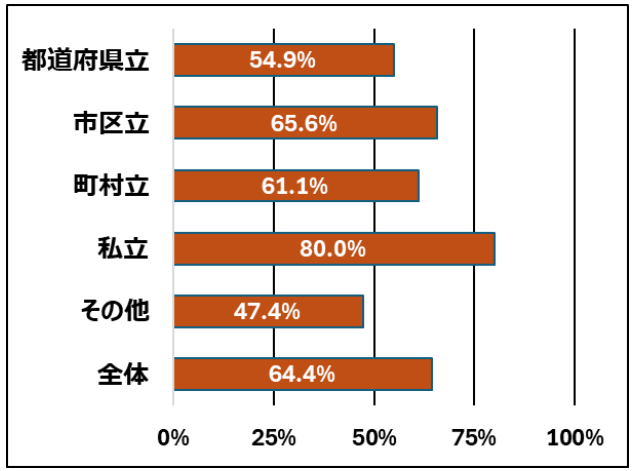
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
新訂10版	62	21	145	7	16	3	254
新訂9版	57	24	121	10	16	2	230
新訂8版	10	11	38	1	4		64
新訂7版	5		11	1	1		18
新訂6版	2		1				3
版を決めていない	3	1	12	1	6		23
その他	3	1	6	1	2		13
回答館数	142	58	334	21	45	5	605

「その他」は主に複数版の併用

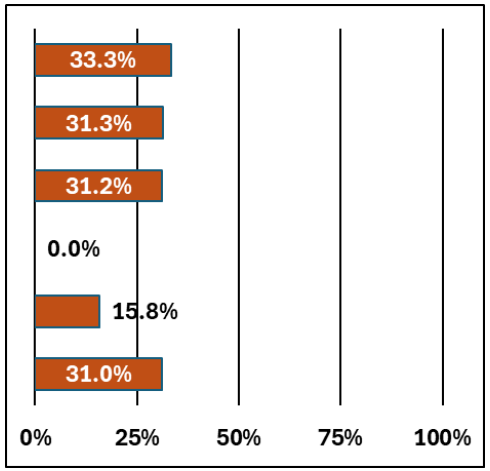
2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版

公共図書館

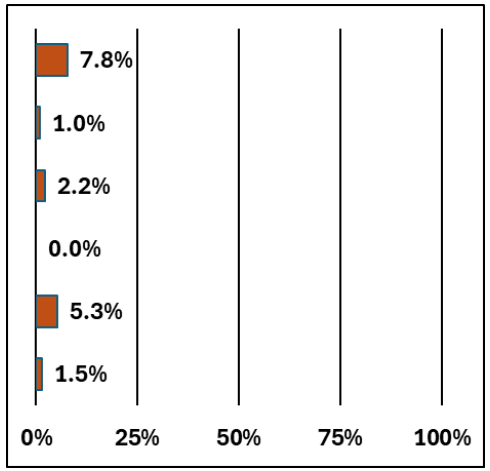
新訂10版



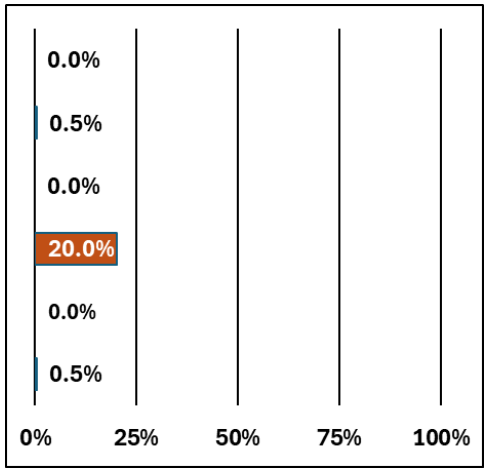
新訂9版



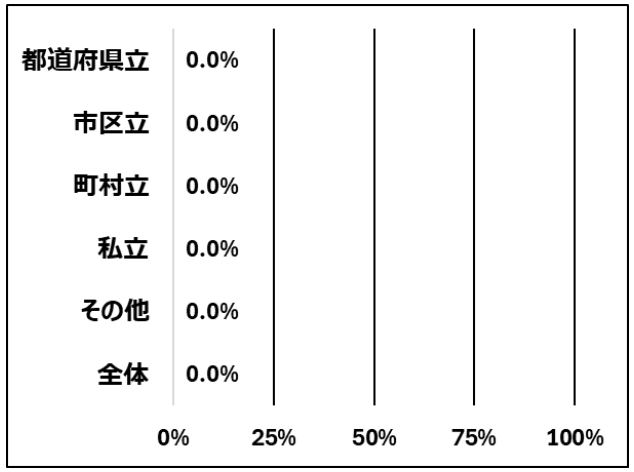
新訂8版



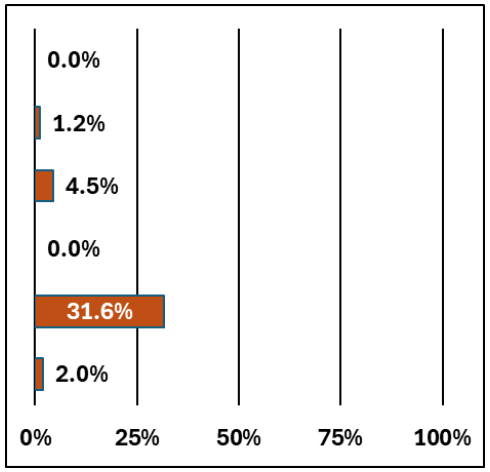
新訂7版



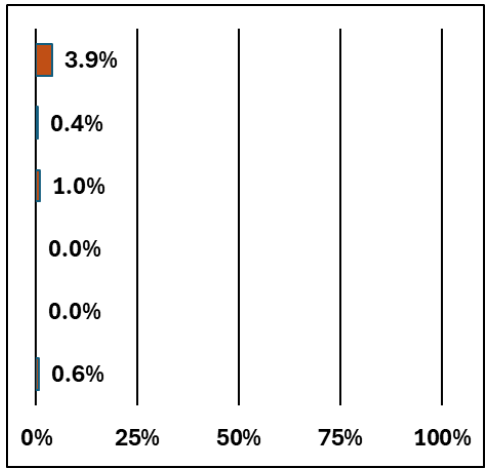
新訂6版



版を決めていない



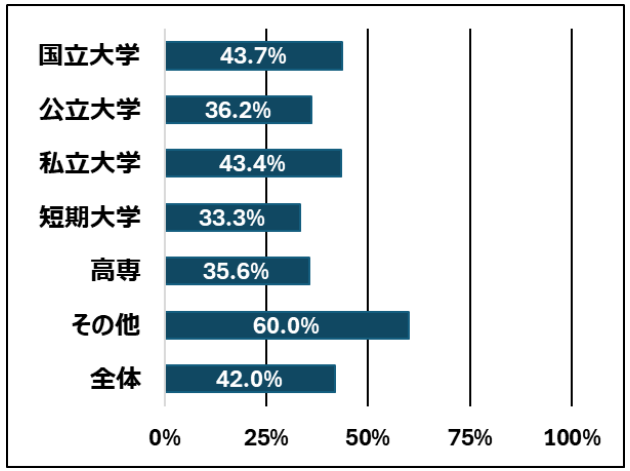
その他



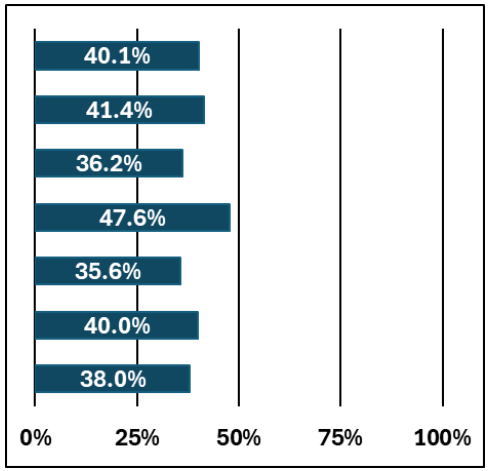
2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版

大学図書館

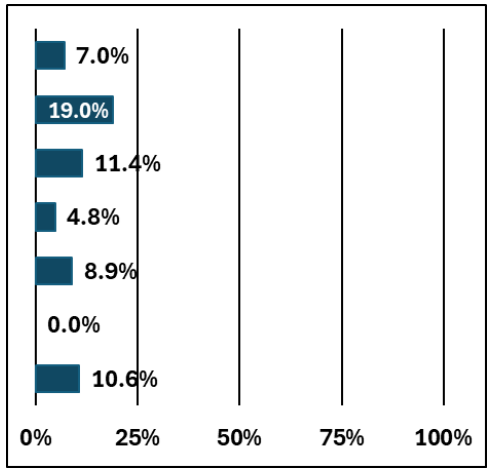
新訂10版



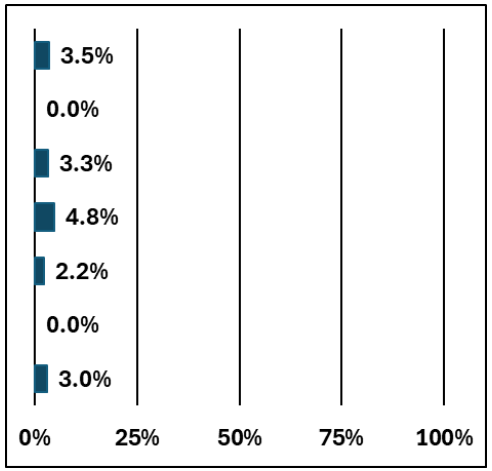
新訂9版



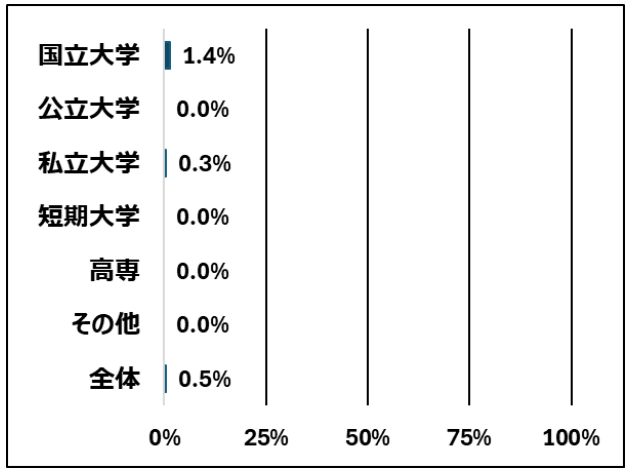
新訂8版



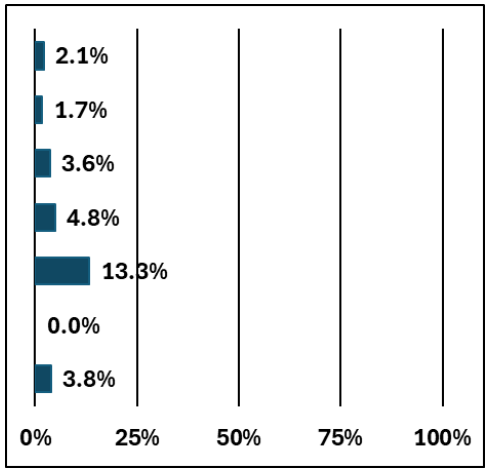
新訂7版



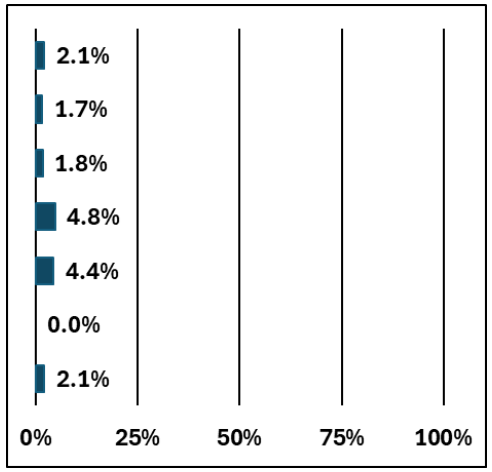
新訂6版



版を決めていない



その他

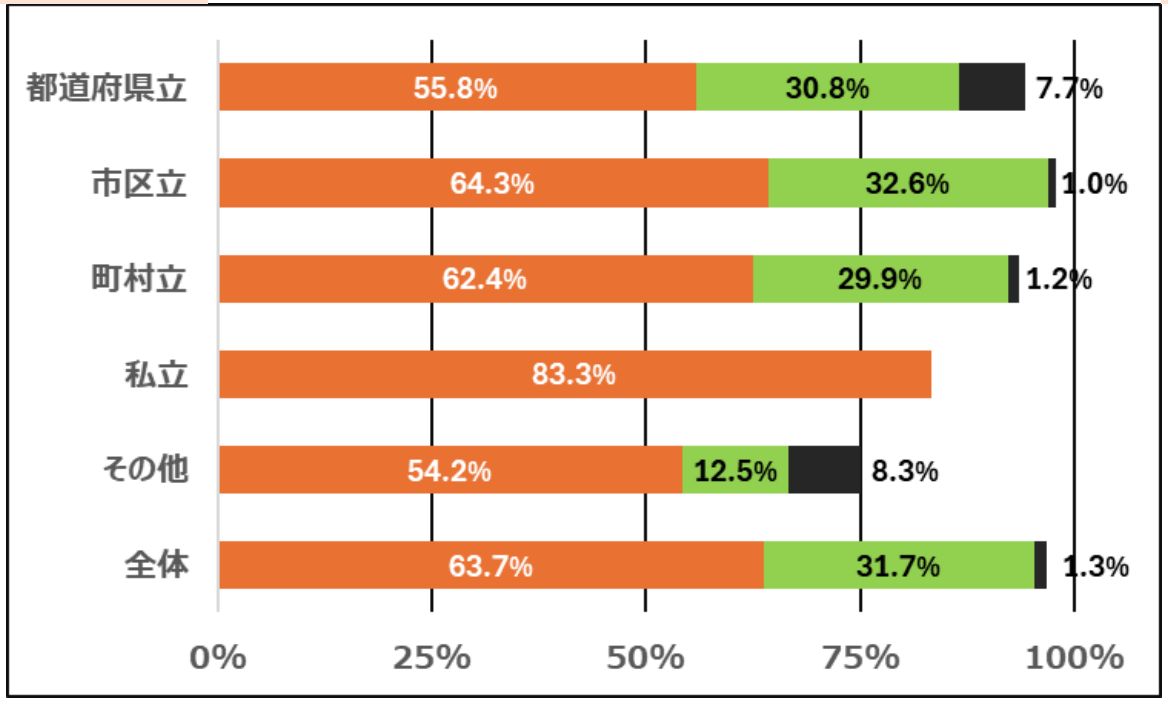


2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版

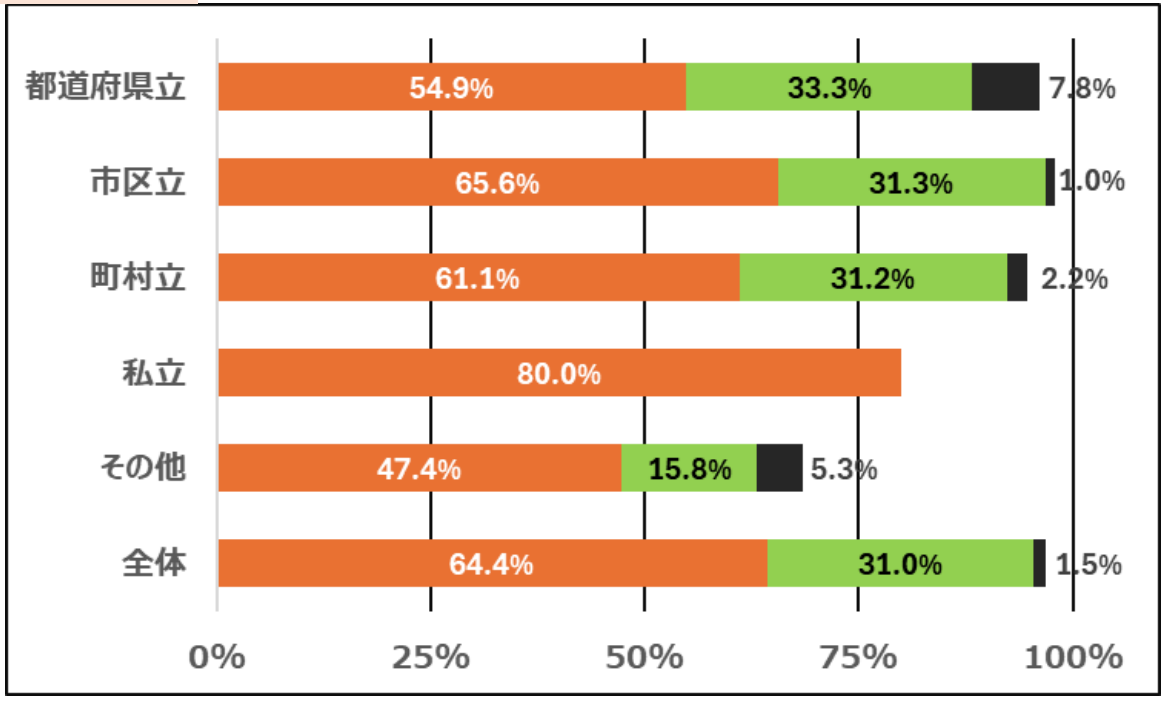
NDC新訂10版・9版・8版のシェア

公共図書館

和図書



洋図書



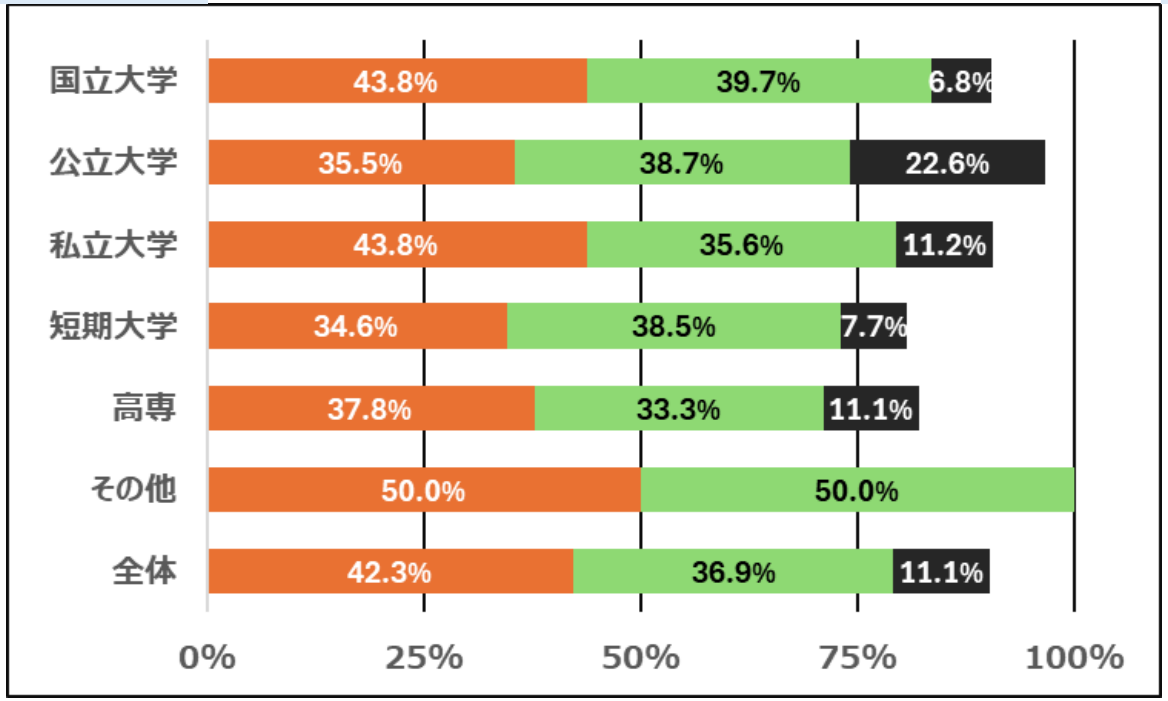
10版　9版　8版

2-B(2-4). 洋図書に適用しているNDCの版

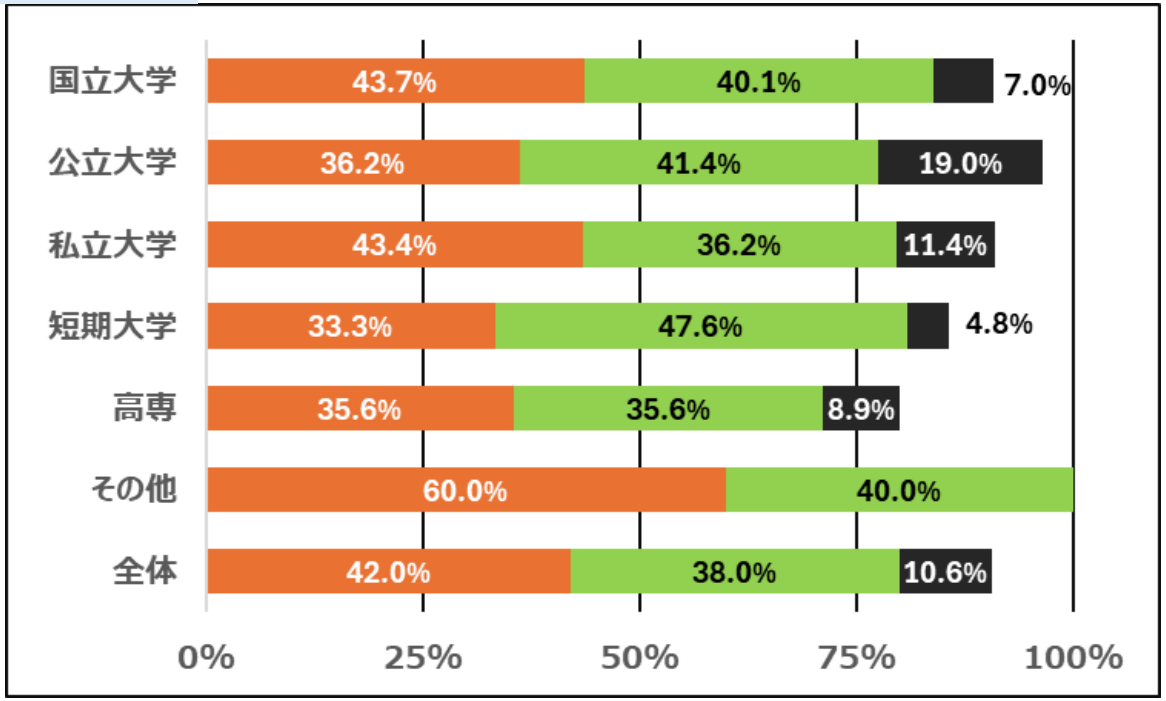
NDC新訂10版・9版・8版のシェア

大学図書館

和図書



洋図書



10版　9版　8版

- 公共・大学とも、NDCの版の適用は、和図書・洋図書間で大きな差異なし。

2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
NDC		11.8%	30.6%	25.0%	50.0%	13.8%
NDLC		1.3%	4.1%		16.7%	1.7%
DDC		0.1%				0.1%
LCC						0.0%
UDC						0.0%
特になし	16.7%	47.4%	47.1%		33.3%	45.8%
その他	83.3%	40.5%	21.5%	75.0%		39.9%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
NDC		100	37	1	3	141
NDLC		11	5		1	17
DDC		1				1
LCC						0
UDC						0
特になし	7	401	57		2	467
その他	35	343	26	3		407
回答館数	42	846	121	4	6	1,019

※分類法を使用している図書館対象

2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

大学図書館

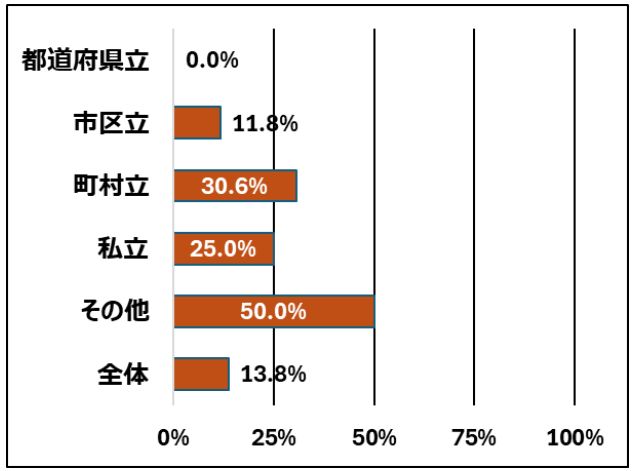
	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
NDC	29.6%	16.7%	34.4%		23.1%	50.0%	30.1%
NDLC	24.7%	11.1%	17.2%	12.5%	46.2%		20.3%
DDC	24.7%		19.7%		38.5%		19.9%
LCC	28.4%	5.6%	22.1%		23.1%		22.0%
UDC	17.3%		6.6%		7.7%		9.3%
特になし	11.1%	22.2%	7.4%	25.0%	30.8%		11.4%
その他	63.0%	55.6%	49.2%	62.5%	38.5%	50.0%	54.1%

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
NDC	24	3	42		3	2	74
NDLC	20	2	21	1	6		50
DDC	20		24		5		49
LCC	23	1	27		3		54
UDC	14		8		1		23
特になし	9	4	9	2	4		28
その他	51	10	60	5	5	2	133
回答館数	81	18	122	8	13	4	246

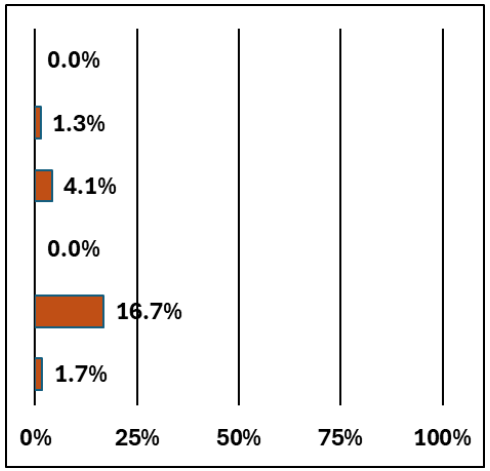
2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

公共図書館

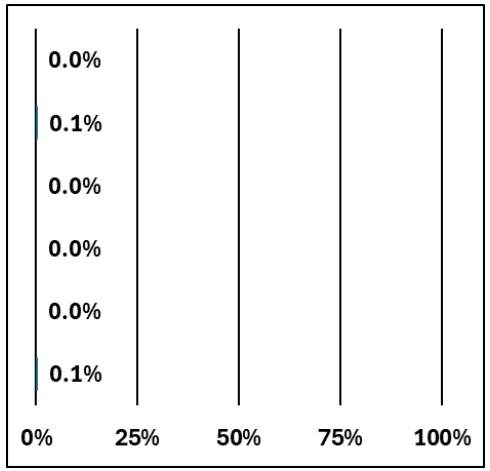
NDC



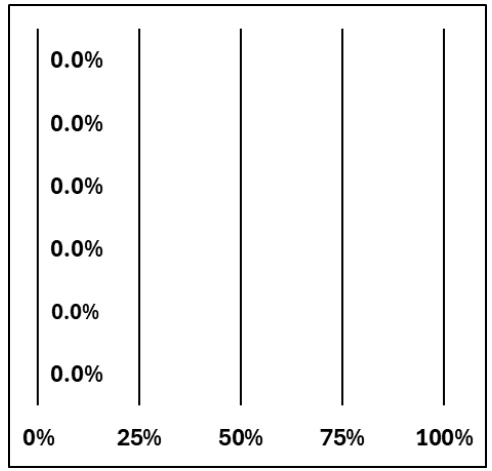
NDLC



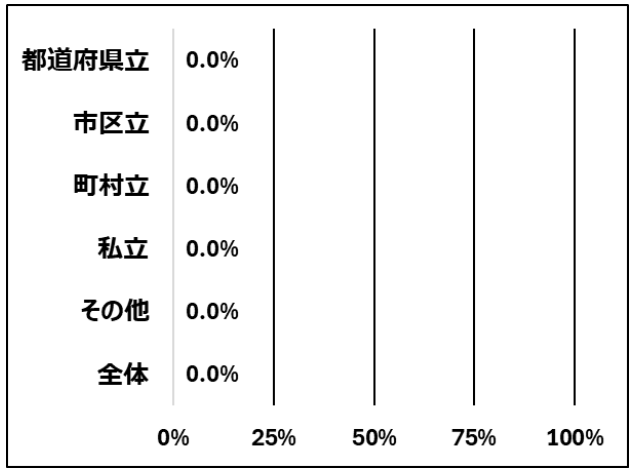
DDC



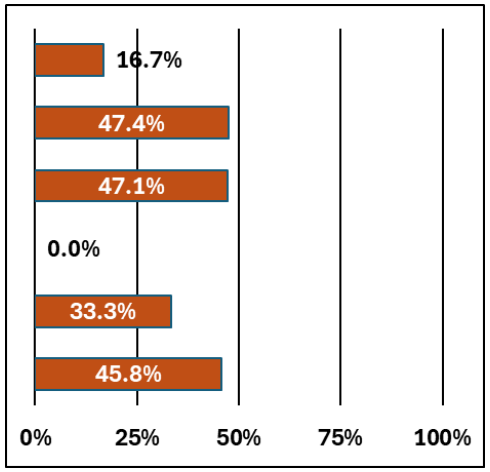
LCC



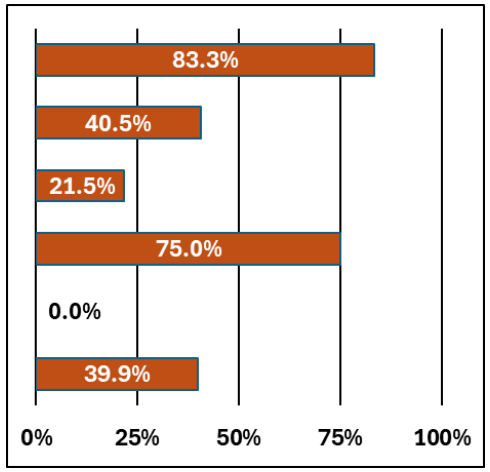
UDC



特になし



その他

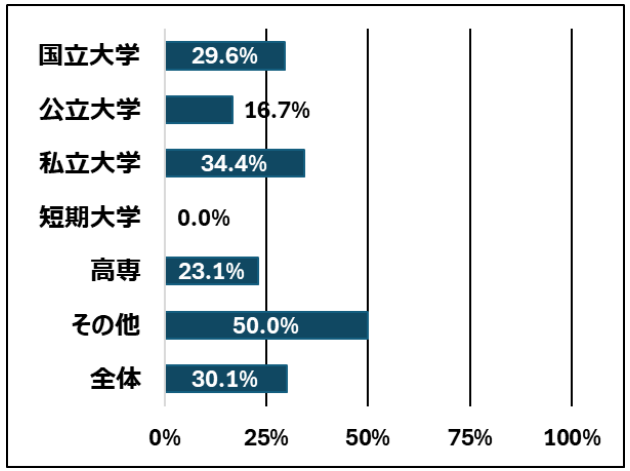


- 「特になし」「その他」が多く、NDC以外の一般分類法の併用は極めて少ない。

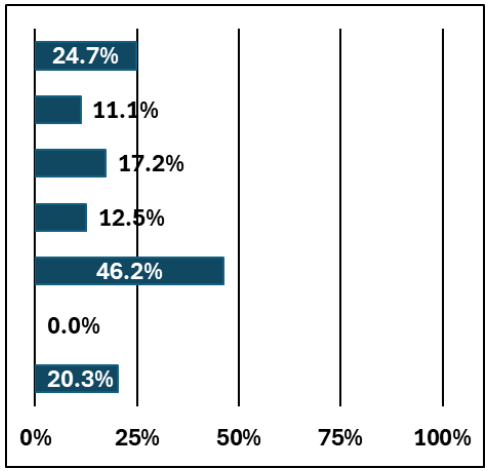
2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

大学図書館

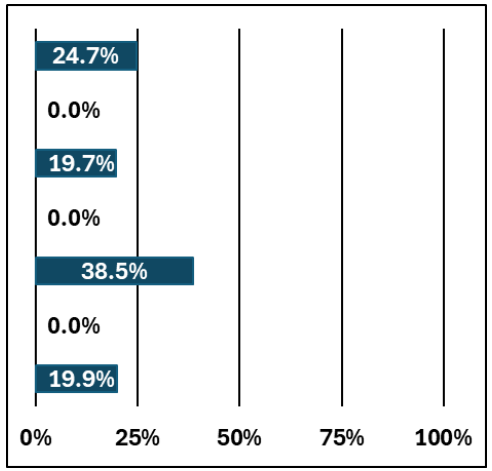
NDC



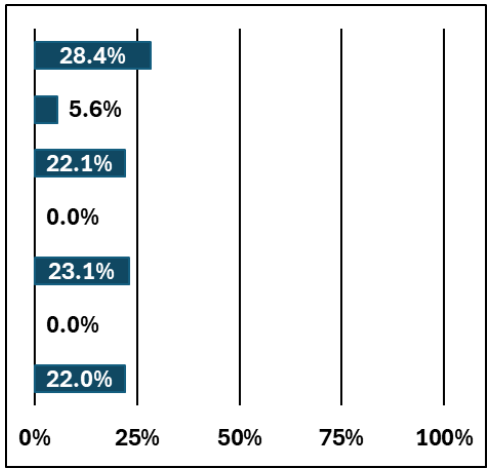
NDLC



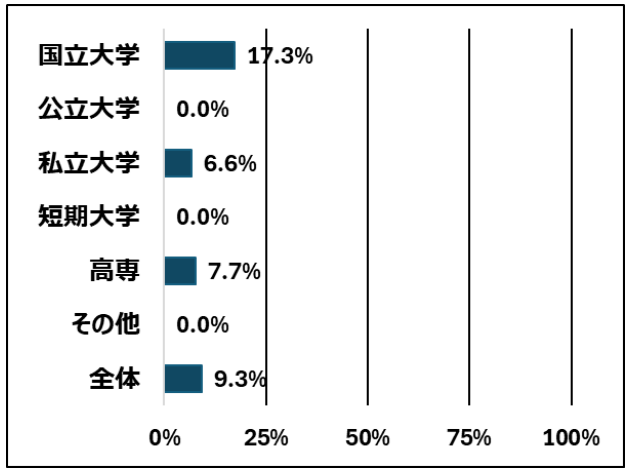
DDC



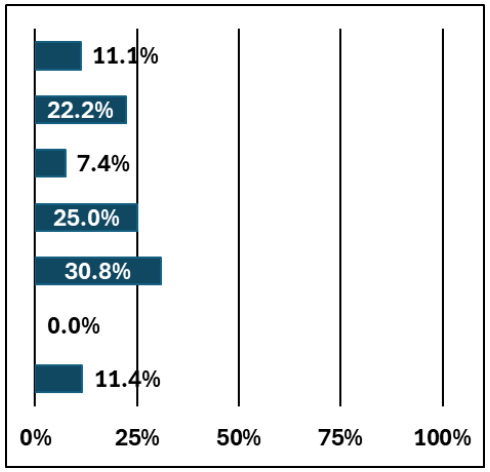
LCC



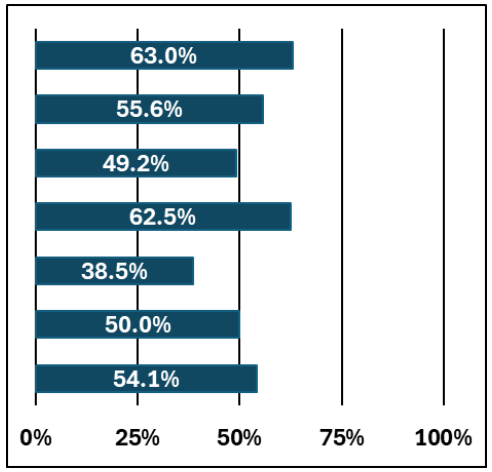
UDC



特になし



その他



- 「特になし」は少なく、「その他」が多い。
- NDCなど一般分類法の併用も2割程度に達する。

2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
特になし	463	45.4%
その他	398	39.1%
NDC	133	13.1%
NDLC	12	1.2%
NDC+その他	4	0.4%
回答館数	1,019	

大学図書館

	館	
その他	102	41.5%
NDC	51	20.7%
特になし	27	11.0%
NDLC+DDC+LCC	12	4.9%
NDLC+DDC+LCC+その他	7	2.8%
NDC+NDLC+DDC+LCC+UDC+その他	6	2.4%
回答館数	246	

2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
独自分類	283
県域の郷土資料分類	133
TRC音楽分類表	51
書誌に使用されている分類	8
ジャンル	4
指定管理者による独自分類	2
レコード分類表[高橋重臣案]及びAVM分類表	1
金光教文献分類	1
仏教図書共通分類表	1

大学図書館	館
独自分類	78
日本看護協会看護学図書分類表	15
書誌に使用されている分類	14
NLMC	13
Sachgruppen der Deutschen Bibliothek Frankfurt am Main（ドイツ国立図書館主題グループ）	5
四部分類	5
DDC-Sachgruppen	4
漢籍分類	4
仏教図書共通分類表	3
音楽図書・楽譜分類表	2
県域の郷土資料分類	2

2-B(2-5). 併用している分類法（複数選択可）

「独自分類」を適用している主な分野

公共図書館	館
郷土資料	154
視聴覚資料	39
児童書	24
行政資料	6
雑誌	3
洋図書	3
コミック	2
情報分野	2
特殊コレクション	2

大学図書館	館
特殊コレクション	7
教科書	5
楽譜	4
ラウンジ・ブラウジング図書	3
絵本	3
郷土資料	3
視聴覚資料	2

他に大学の専門分野（仏教、キリスト教、教育学・心理学、看護学、歯科学、薬学）を挙げている図書館が各1

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
ラベルの貼り替え	56.5%	67.8%	57.8%	66.7%	85.7%	66.3%
配架位置の調整	47.8%	61.8%	46.8%	33.3%	42.9%	59.1%
遡及的データ変換	47.8%	52.4%	40.4%	33.3%	57.1%	50.6%
遡及的データ追加	43.5%	27.9%	17.4%		14.3%	26.7%
分類規定の見直し	52.2%	21.5%	5.5%			20.0%
特になし	4.3%	21.1%	34.9%	33.3%		22.3%
その他	34.8%	8.2%	5.5%		14.3%	8.6%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
ラベルの貼り替え	13	447	63	2	6	531
配架位置の調整	11	407	51	1	3	473
遡及的データ変換	11	345	44	1	4	405
遡及的データ追加	10	184	19		1	214
分類規定の見直し	12	142	6			160
特になし	1	139	38	1		179
その他	8	54	6		1	69
回答館数	23	659	109	3	7	801

※和図書または洋図書の分類にNDC10版を適用している図書館対象

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

大学図書館

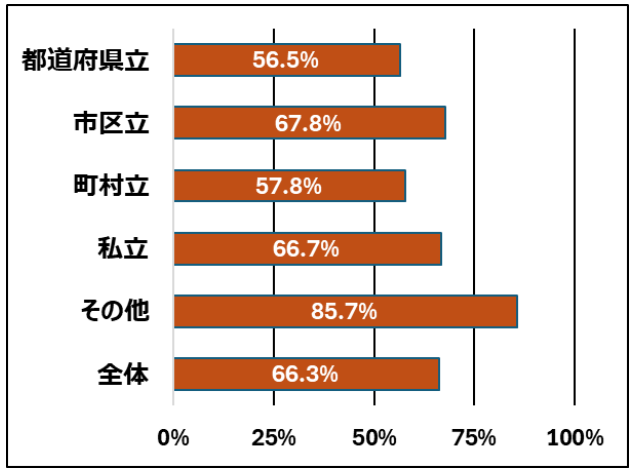
	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
ラベルの貼り替え	42.1%	20.0%	50.7%	25.0%	75.0%	100.0%	49.1%
配架位置の調整	21.1%	20.0%	40.0%	25.0%	50.0%		35.7%
遡及的データ変換	68.4%	20.0%	45.3%	25.0%	37.5%	100.0%	47.3%
遡及的データ追加	15.8%		22.7%	25.0%	12.5%		19.6%
分類規定の見直し	5.3%		37.3%		25.0%		27.7%
特になし	21.1%	40.0%	20.0%	50.0%			20.5%
その他	26.3%	80.0%	24.0%	25.0%	25.0%		26.8%

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
ラベルの貼り替え	8	1	38	1	6	1	55
配架位置の調整	4	1	30	1	4		40
遡及的データ変換	13	1	34	1	3	1	53
遡及的データ追加	3		17	1	1		22
分類規定の見直し	1		28		2		31
特になし	4	2	15	2			23
その他	5	4	18	1	2		30
回答館数	19	5	75	4	8	1	112

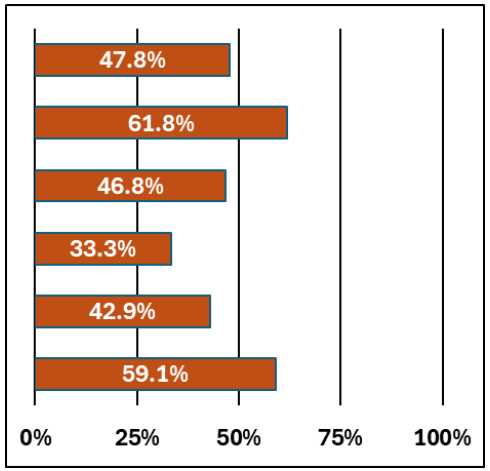
2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

公共図書館

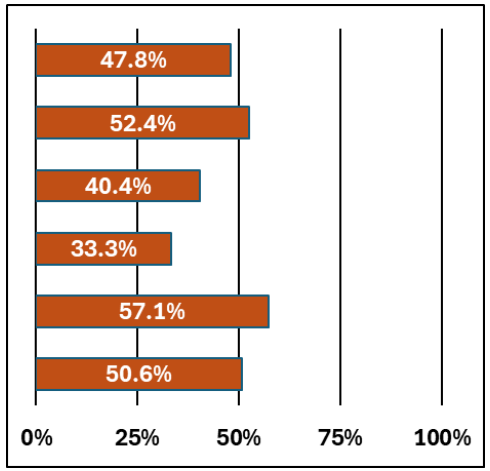
ラベルの貼り替え



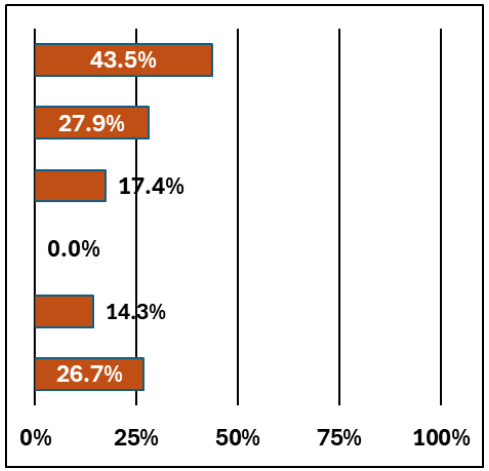
配架位置の調整



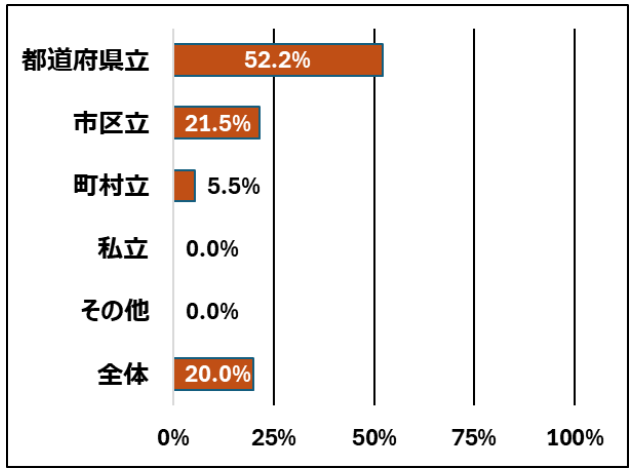
遡及的データ変換



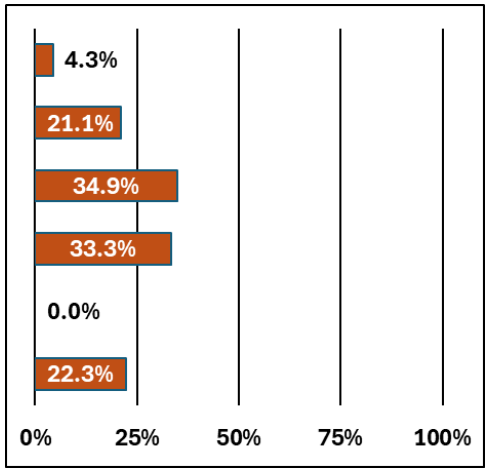
遡及的データ追加



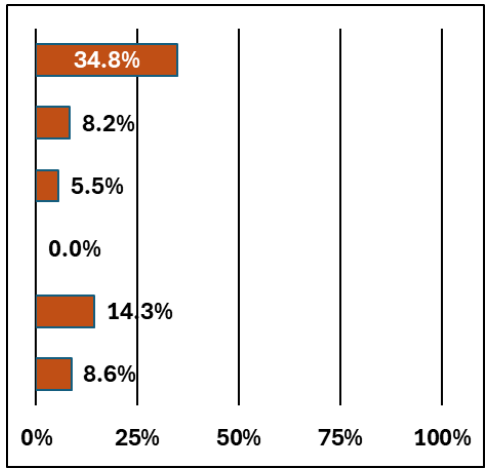
分類規定の見直し



特になし



その他

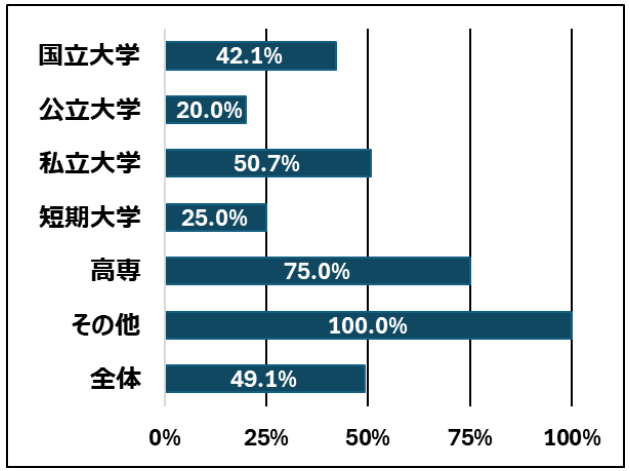


- 「ラベルの貼り替え」「配架位置の調整」を6割前後、「遡及的データ変換」を半数の図書館が実施。
- 「特になし」も約2割。

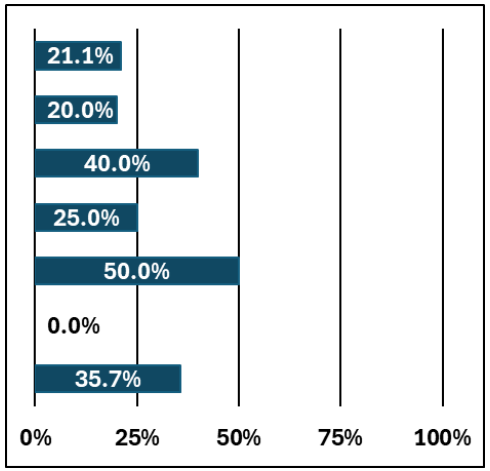
2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

大学図書館

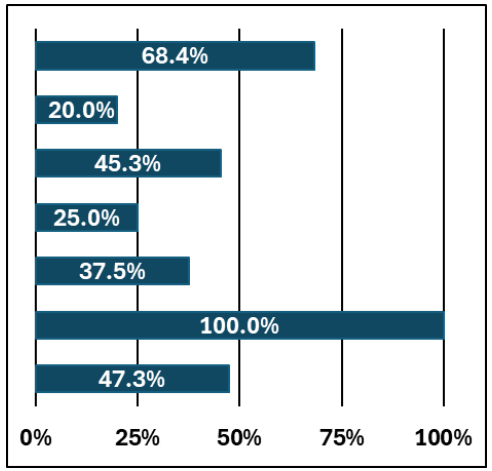
ラベルの貼り替え



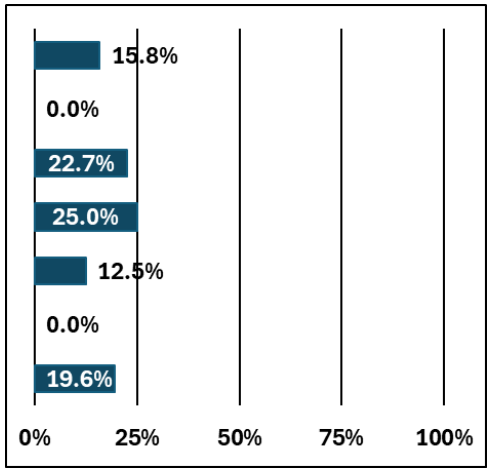
配架位置の調整



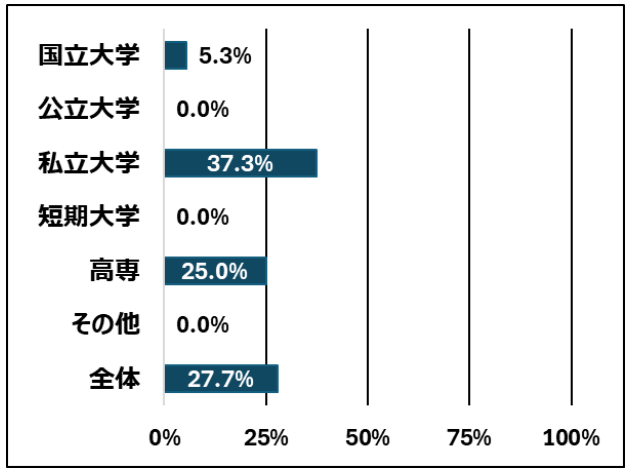
遡及的データ変換



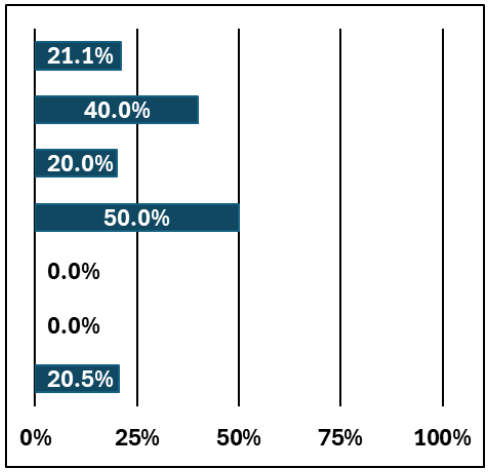
遡及的データ追加



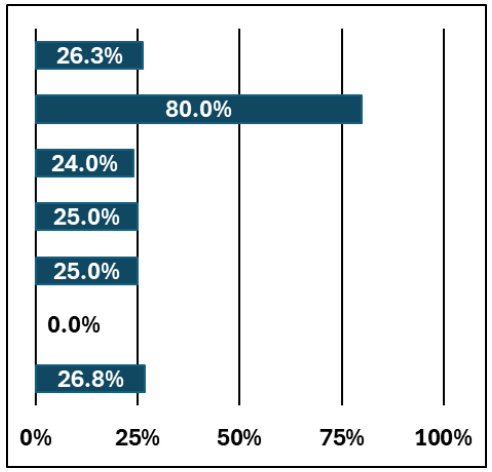
分類規定の見直し



特になし

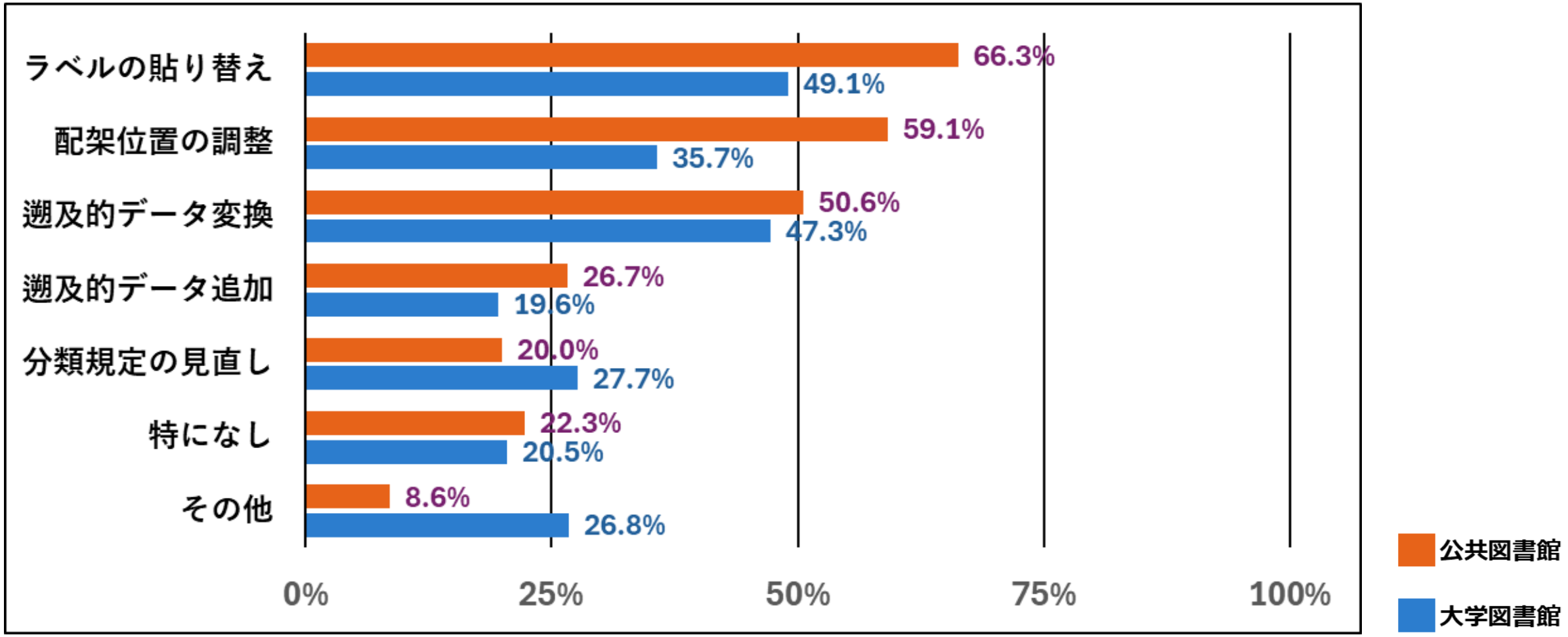


その他



- 「ラベルの貼り替え」「遡及的データ変換」を半数の図書館が実施。
- 「特になし」も約2割。

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）



・「ラベルの貼り替え」「配架位置の調整」といった書架分類に関わる回答比率は公共の方が高い。

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
特になし	163	20.3%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換	162	20.2%
ラベル貼替+配架調整	74	9.2%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+遡及追加+規定見直し	68	8.5%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+遡及追加	61	7.6%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+規定見直し	36	4.5%
ラベル貼替+遡及変換	33	4.1%
ラベル貼替	29	3.6%
その他	28	3.5%
配架調整+遡及追加	12	1.5%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+遡及追加+その他	11	1.4%
配架調整+規定見直し	10	1.2%
回答館数	801	

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

大学図書館

	館	
特になし	18	16.1%
その他	15	13.4%
ラベル貼替+遡及変換	8	7.1%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+遡及追加+規定見直し	7	6.3%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+遡及追加	7	6.3%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換	6	5.4%
ラベル貼替+配架調整+遡及変換+規定見直し	6	5.4%
遡及変換	5	4.5%
ラベル貼替+遡及変換+その他	5	4.5%
回答館数	112	

2-B(3-1). NDC10版への切替に際し行ったこと（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
遡及作業対象を限定	24
桁数拡大	9
不詳	5
分類データ変更	5
10版を適用しない分野の設定	4
システム改修	4
遡及変換せず	4
MARCの遡及データ登録	3
今後作業予定	3

大学図書館	館
遡及作業対象を限定	13
不詳	6
利用案内による周知	3
開館時より10版	3
NDC以外の分類表の併用を廃止	1
桁数拡大	1
10版を適用しない分野の設定	1
システム改修	1
遡及変換せず	1

「遡及作業対象を限定」の範囲は、開架資料、継続資料、手話、10版削除項目など。

2-B(3-2). NDC10版への切替時期※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
2015年	6.5%	9.0%	13.2%		10.0%	9.7%
2016年		2.8%	3.4%	20.0%	10.0%	3.0%
2017年	16.1%	29.8%	30.3%			29.2%
2018年	16.1%	13.2%	6.8%		10.0%	12.0%
2019年	9.7%	11.9%	12.8%		20.0%	12.1%
2020年	16.1%	17.4%	16.2%	60.0%	20.0%	17.3%
2021年	19.4%	9.2%	10.3%	20.0%		9.6%
2022年	6.5%	3.4%	5.6%		20.0%	4.0%
2023年	9.7%	3.4%	1.3%		10.0%	3.2%

※和図書または洋図書の分類にNDC10版を適用している図書館対象

2-B(3-2). NDC10版への切替時期

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
2015年	30.9%	31.8%	23.5%	62.5%	42.9%		28.2%
2016年	2.9%	13.6%	8.0%		14.3%	33.3%	7.7%
2017年	10.3%		9.3%		4.8%		8.1%
2018年	10.3%	4.5%	9.9%	12.5%			8.8%
2019年	19.1%	13.6%	11.1%		14.3%		13.0%
2020年	10.3%	4.5%	10.5%		4.8%		9.2%
2021年	5.9%	9.1%	7.4%	12.5%	9.5%	33.3%	7.7%
2022年	2.9%	18.2%	11.1%	12.5%	9.5%	33.3%	9.9%
2023年	7.4%	4.5%	9.3%				7.4%

2-B(3-2). NDC10版への切替時期

公共図書館

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
2015年	2	87	31		1	121
2016年		27	8	1	1	37
2017年	5	290	71			366
2018年	5	128	16		1	150
2019年	3	116	30		2	151
2020年	5	169	38	3	2	217
2021年	6	89	24	1		120
2022年	2	33	13		2	50
2023年	3	33	3		1	40
回答館数	31	972	234	5	10	1,252

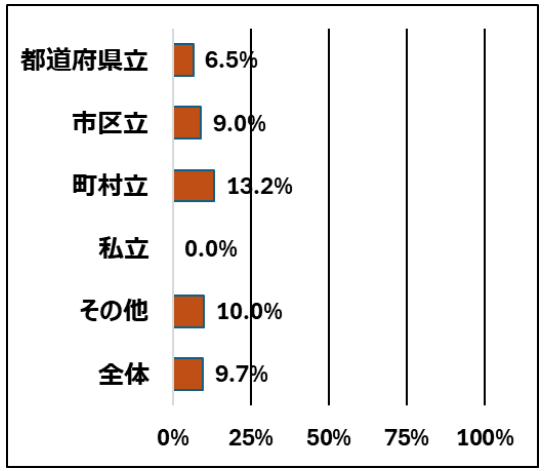
大学図書館

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
2015年	21	7	38	5	9		80
2016年	2	3	13		3	1	22
2017年	7		15		1		23
2018年	7	1	16	1			25
2019年	13	3	18		3		37
2020年	7	1	17		1		26
2021年	4	2	12	1	2	1	22
2022年	2	4	18	1	2	1	28
2023年	5	1	15				21
回答館数	68	22	162	8	21	3	284

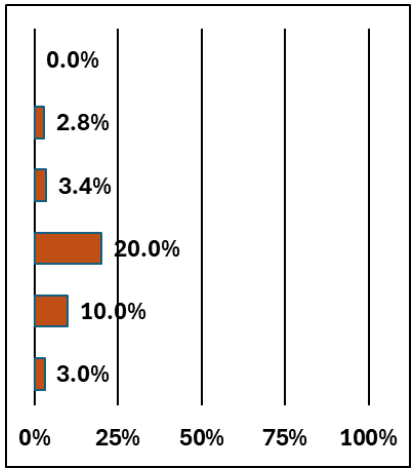
2-B(3-2). NDC10版への切替時期

公共図書館

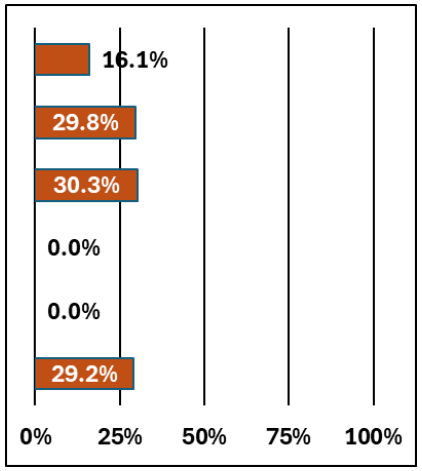
2015年



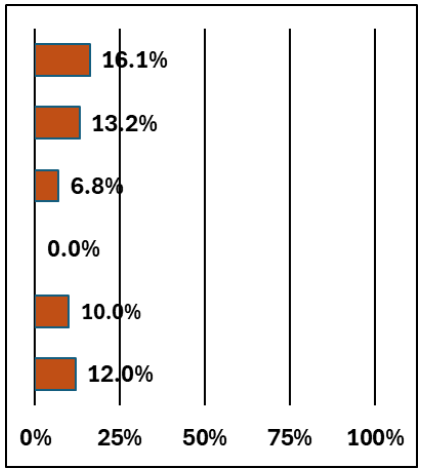
2016年



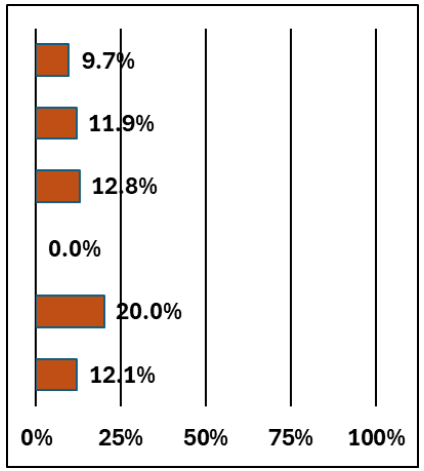
2017年



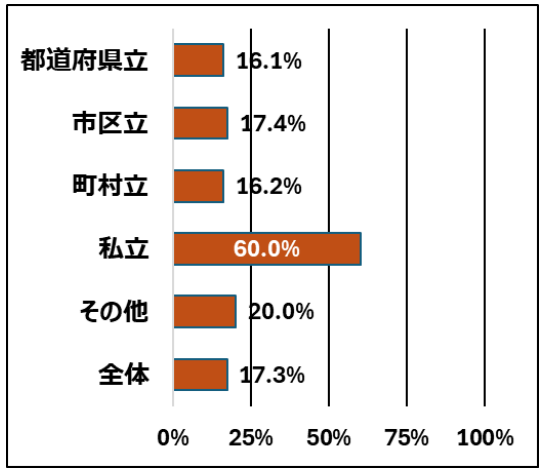
2018年



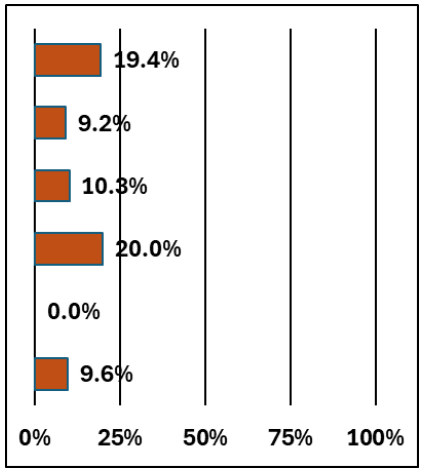
2019年



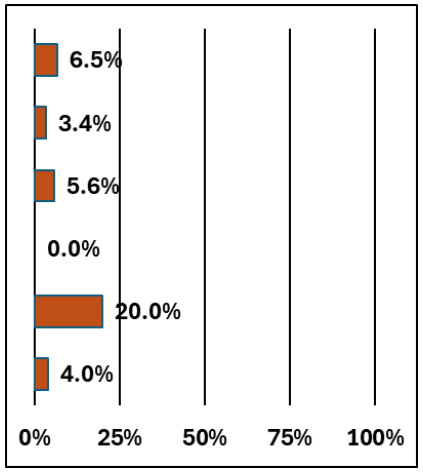
2020年



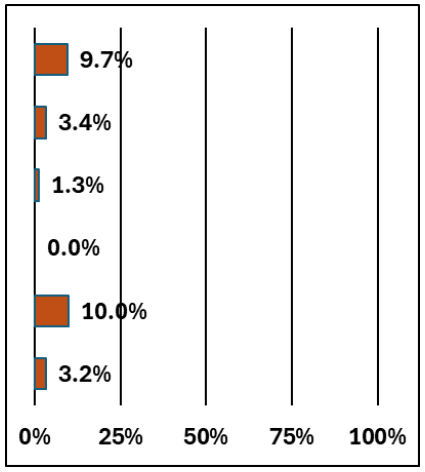
2021年



2022年



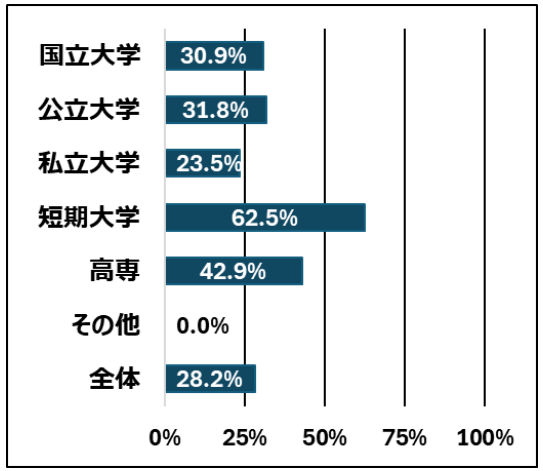
2023年



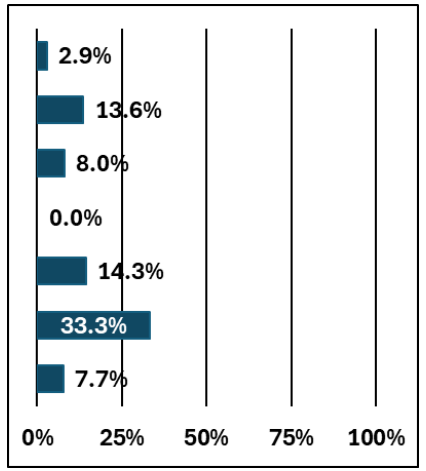
2-B(3-2). NDC10版への切替時期

大学図書館

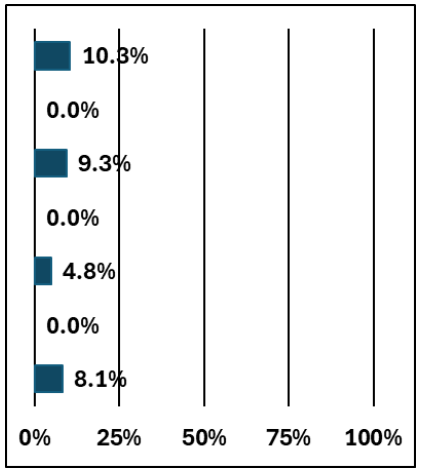
2015年



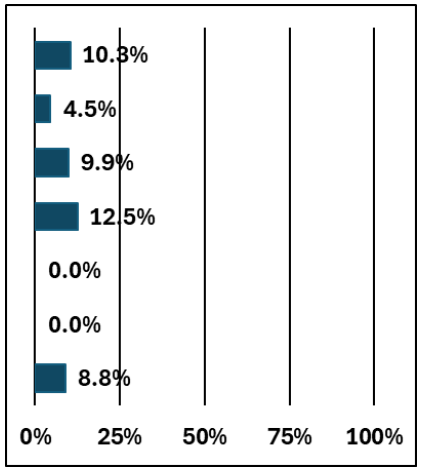
2016年



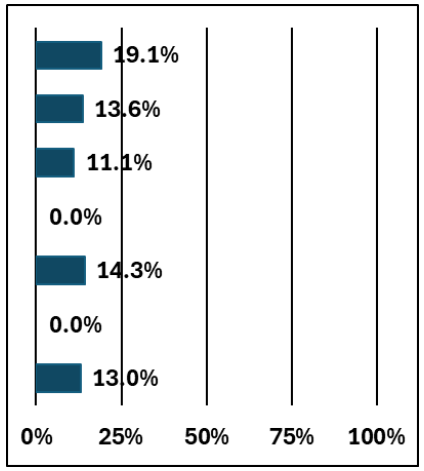
2017年



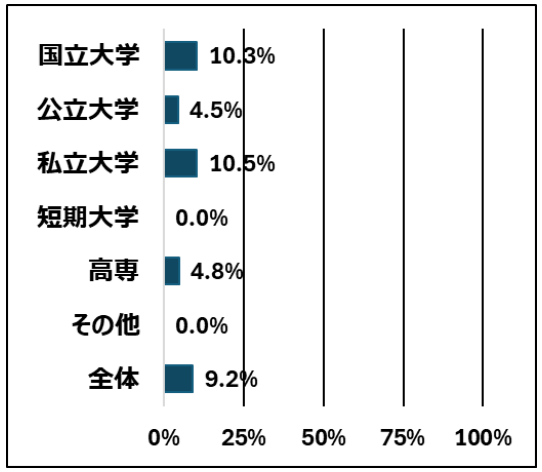
2018年



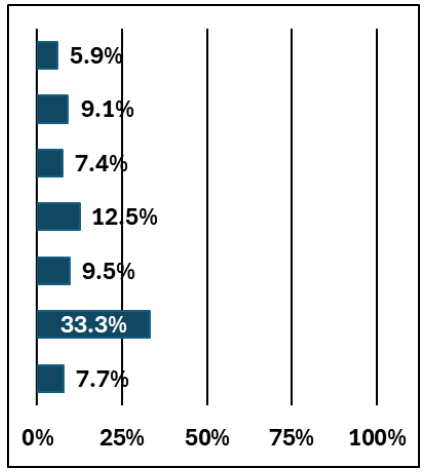
2019年



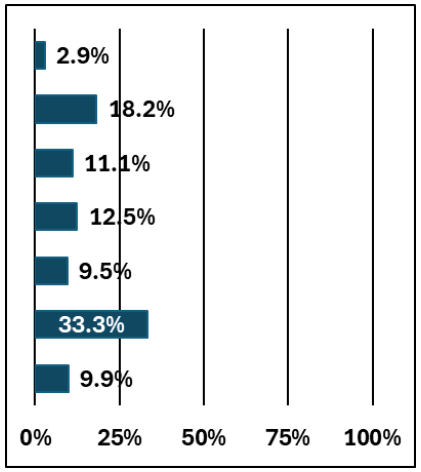
2020年



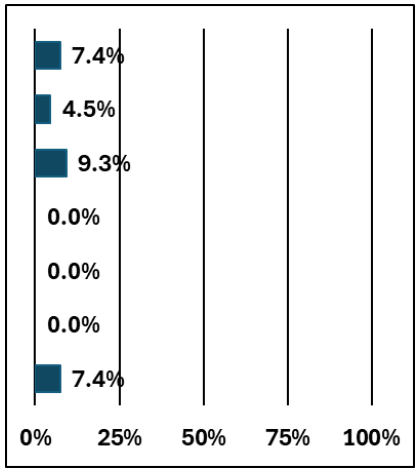
2021年



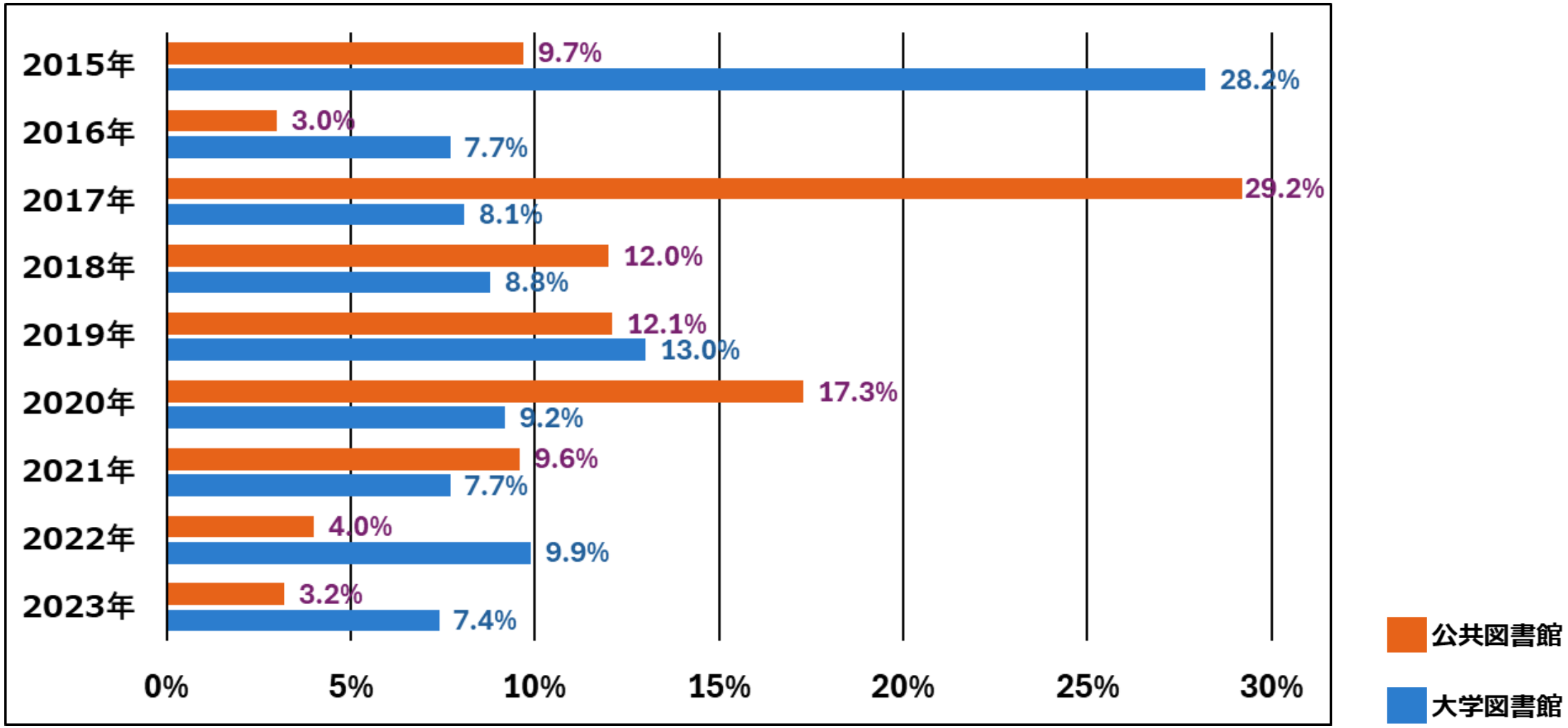
2022年



2023年



2-B(3-2). NDC10版への切替時期



- 公共は、NDL、TRCのNDC10版適用が開始された2017年、大学は、NDC10版刊行直後の2015年が最多。

2-B(3-3). 切替時の問題点、切替を行わない理由など（自由記入）

公共図書館（10版適用館）の主な回答内容	館
10版と旧版の資料が混在	79
特になし	71
同一主題の資料の配架が分かれる	31
データ修正、ラベル貼替、配架調整などに時間・負担がかかる	25
システム更新に合わせて切替	22
ラベル貼替をせず淘汰に任せているものがある	18
システム更新に時間を要した	13
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは行わない	13
ラベル貼替、配架調整などの経費、予算化が必要	13
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが困難	12
ラベル貼替に時間・負担がかかる	12
規定の改訂に時間を要した	12

2-B(3-3). 切替時の問題点、切替を行わない理由など（自由記入）

大学図書館（10版適用館）の主な回答内容	館
特になし	19
同一主題の資料の配架が分かれる	19
10版と旧版の資料が混在	11
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは行わない	11
異なる主題の資料が同じ場所に配架される	9
データ修正、ラベル貼替、配架調整などに時間・負担がかかる	4
委託仕様の変更が必要	4
開館当初より10版を使用	4
継続受入資料には旧版を適用	4
継続受入資料の分類をどうするか	3
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは開架資料に限定	3
10版を適用していない分野がある（所蔵の多い分野）	2

2-B(3-3). 切替時の問題点、切替を行わない理由など（自由記入）

公共図書館（10版適用館以外）の主な回答内容	館
システム更新に合わせて切替	25
9版（8版、7版）で支障がない	20
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが困難	20
ラベル貼替が困難	20
同一主題の資料の配架が分かれる	18
ラベル貼替、配架調整が困難	13
切替を行うまたは検討する余裕、時間がない	12
システム対応に費用がかかる	10
システム対応のための休館が必要	10
切替の必要性、緊急性、メリットがない	10
特になし	9
人員が不足している	8

2-B(3-3). 切替時の問題点、切替を行わない理由など（自由記入）

大学図書館（10版適用館以外）の主な回答内容	館
9版（8版、7版）で支障がない	12
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが困難	9
切替の必要性、緊急性、メリットがない	8
同一主題の資料の配架が分かれる	5
切替を検討中、検討予定	5
切替を行うまたは検討する余裕、時間がない	4
特になし	4
データ修正、ラベル貼替、配架調整などに時間・負担がかかる	4
データ修正、ラベル貼替が困難	3
ラベル貼替、配架調整が困難	3
人員が不足している	3
データ修正、ラベル貼替、配架調整などの方針が未確定	3

【A】調査回答館数

【B】分類法の適用について

(1) 分類法の使用

(2) 分類法の適用状況

(3) NDC新訂10版への切替

▶ 【C】分類作業の方法について

(1) 分類作業の方法

(2) NDCを適用する場合の桁数・運用方針

【D】分類に関するサービスについて

(1) 蔵書検索サービス（OPAC等）

(2) 分類に関する利用者への案内

【E】分類に関する意見、感想等（自由記入）

2-C(1-1). どのように分類作業を行うか

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
独自		1.4%	2.1%	28.6%	20.7%	1.9%
独自＋外部	69.2%	36.2%	33.1%	57.1%	24.1%	36.3%
外部	30.8%	59.5%	63.4%	14.3%	41.4%	59.2%
集中処理		2.7%	1.2%		3.4%	2.3%
その他		0.3%	0.2%		10.3%	0.4%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
独自		22	9	2	6	39
独自＋外部	36	569	141	4	7	757
外部	16	936	270	1	12	1,235
集中処理		42	5		1	48
その他		4	1		3	8
回答館数	52	1,573	426	7	29	2,087

独自：自館で独自に分類作業を行う
外部：外部データの分類を利用
集中処理：中央館で集中的に分類作業を行う

2-C(1-1). どのように分類作業を行うか

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
独自	28.8%	13.8%	9.9%	7.7%	2.2%	30.8%	14.8%
独自＋外部	48.9%	50.8%	53.1%	53.8%	33.3%	46.2%	50.5%
外部	9.8%	29.2%	31.4%	38.5%	64.4%	23.1%	27.9%
集中処理	10.3%		5.2%				5.4%
その他	2.2%	6.2%	0.5%				1.4%

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
独自	53	9	40	2	1	4	109
独自＋外部	90	33	215	14	15	6	373
外部	18	19	127	10	29	3	206
集中処理	19		21				40
その他	4	4	2				10
回答館数	184	65	405	26	45	13	738

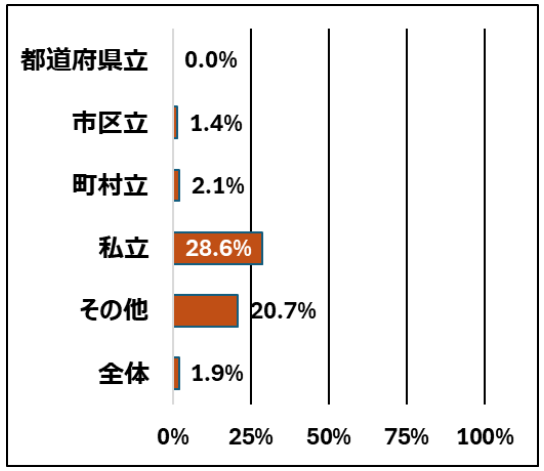
独自：自館で独自に分類作業を行う
外部：外部データの分類を利用
集中処理：中央館で集中的に分類作業を行う

2-C(1-1). どのように分類作業を行うか

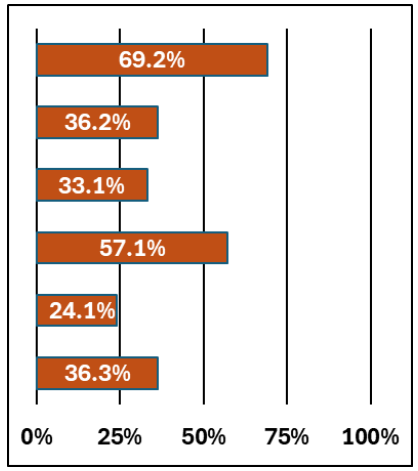
公共図書館

- 「その他」は、公共、大学とも、業者委託、外部データ利用中心で一部資料を自館分類など。

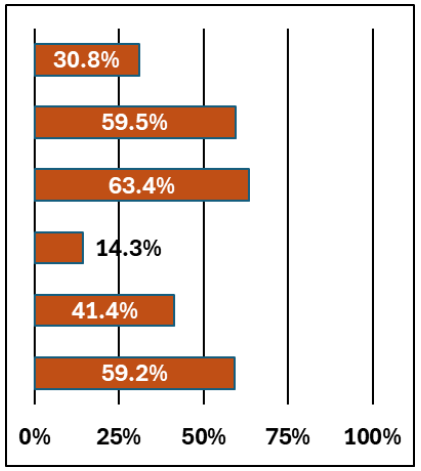
独自



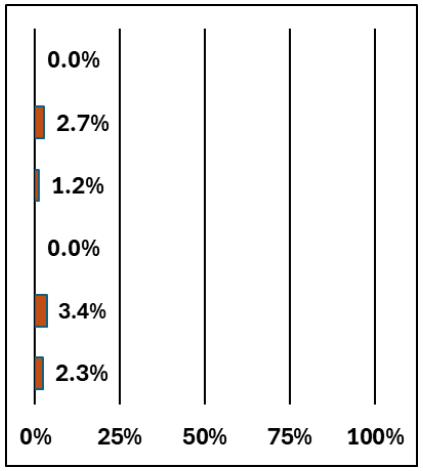
独自＋外部



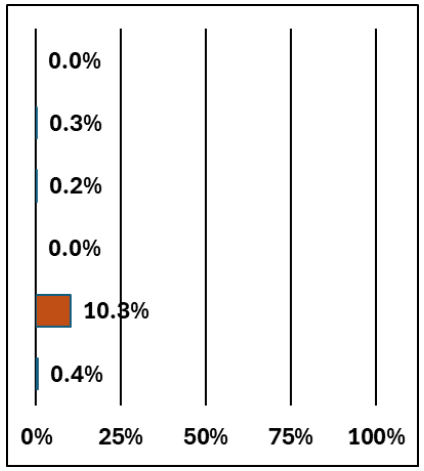
外部



集中処理

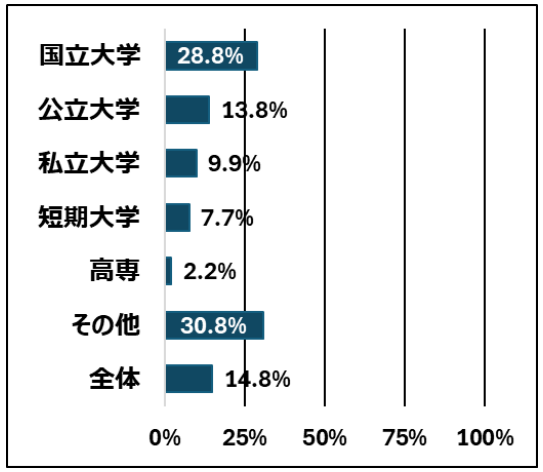


その他

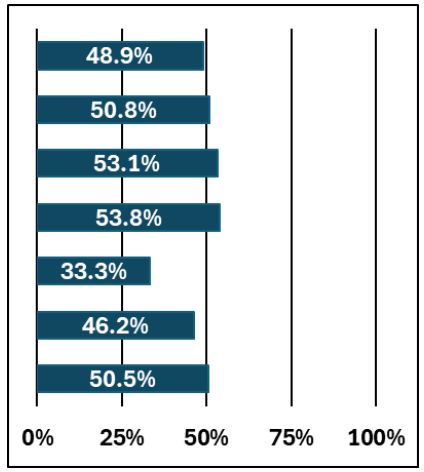


大学図書館

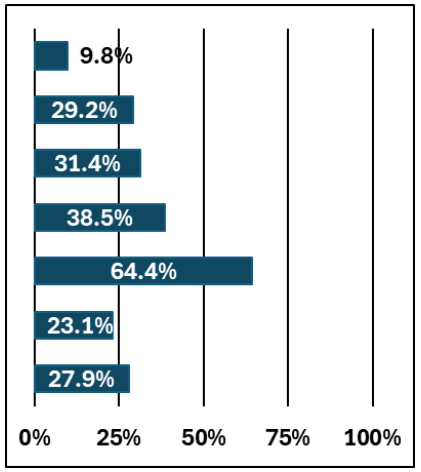
独自



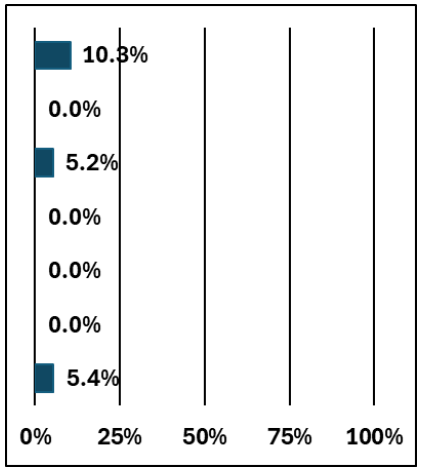
独自＋外部



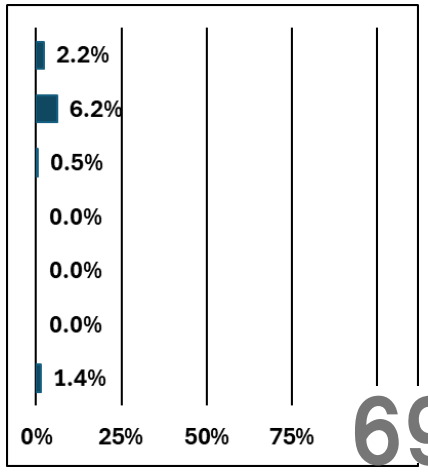
外部



集中処理

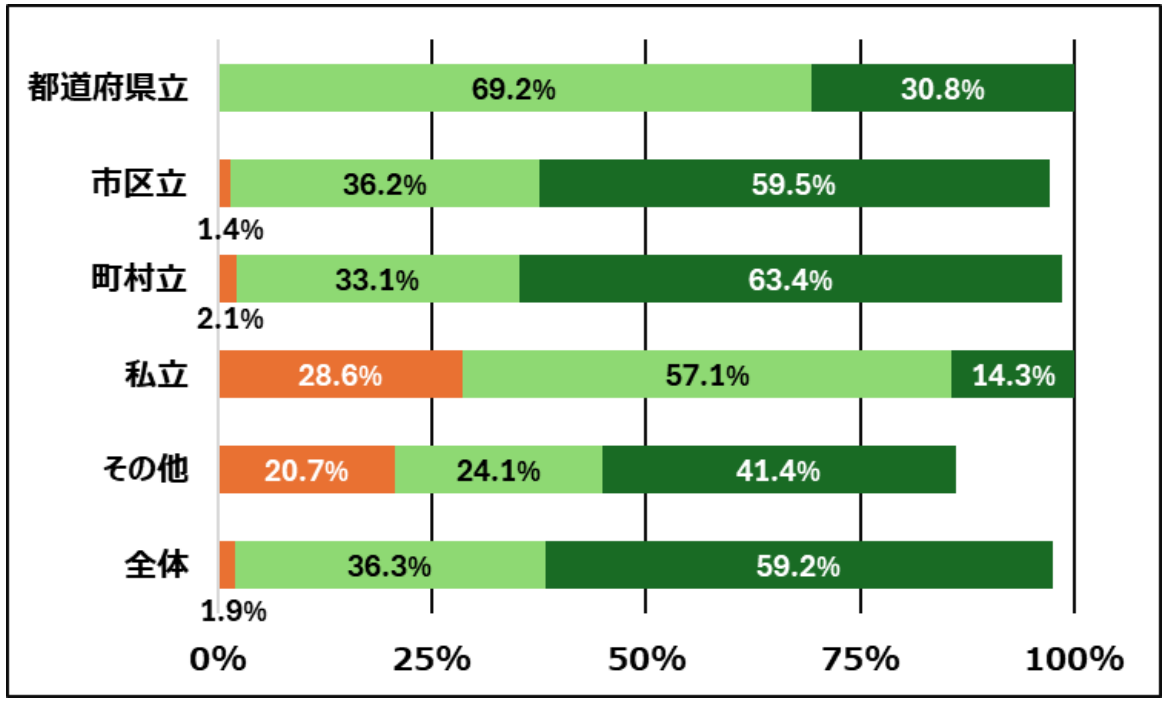


その他

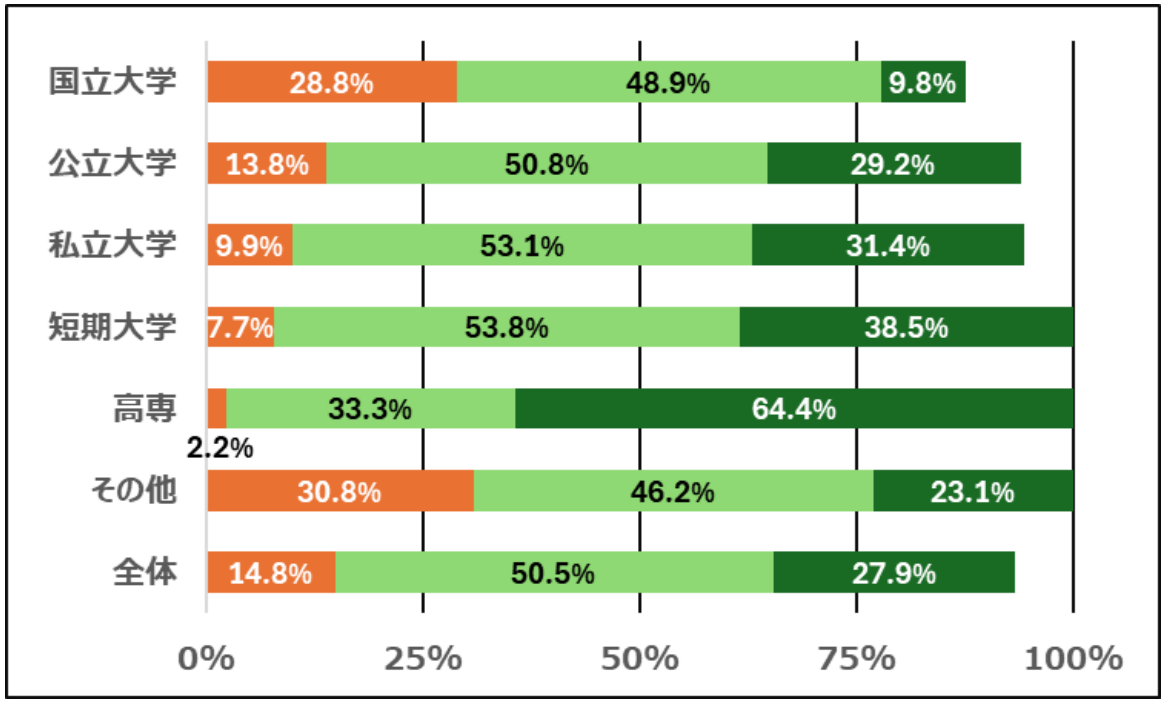


2-C(1-1). どのように分類作業を行うか

公共図書館



大学図書館



独自　独自+外部　外部

- 外部データの利用率は95.5%。
- 都道府県立は「独自+外部」が最も多く、これに対し、市区立、町村立は「外部」が最も多い。

- 外部データの利用率は78.4%。
- 「独自+外部」が最も多いが、国立大学やその他（大学共同利用機関等）では、「独自」が3割ほどに及ぶ。

2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
参考のみ	17.3%	6.5%	6.1%	100.0%	10.0%	7.0%
配架・検索用とも加工	51.9%	53.9%	45.7%		15.0%	51.7%
配架用を加工	17.3%	11.6%	6.8%		10.0%	10.7%
検索用を加工		0.2%	0.7%			0.3%
そのまま使用	7.7%	24.4%	38.7%		65.0%	27.2%
その他	5.8%	3.5%	1.9%			3.2%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
参考のみ	9	99	25	6	2	141
配架・検索用とも加工	27	825	188		3	1,043
配架用を加工	9	177	28		2	216
検索用を加工		3	3			6
そのまま使用	4	373	159		13	549
その他	3	53	8			64
回答館数	52	1,530	411	6	20	2,019

「その他」は主に部分的な修正に関する言及

※外部データを使用している図書館対象

2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
参考のみ	60.9%	48.1%	39.7%	33.3%	28.9%	44.4%	43.5%
配架・検索用とも加工	24.3%	36.5%	40.6%	41.7%	44.4%	55.6%	37.6%
配架用を加工	8.7%		4.0%	4.2%	6.7%		4.7%
検索用を加工			0.6%		2.2%		0.5%
そのまま使用	6.1%	15.4%	14.6%	20.8%	15.6%		13.1%
その他			0.6%		2.2%		0.5%

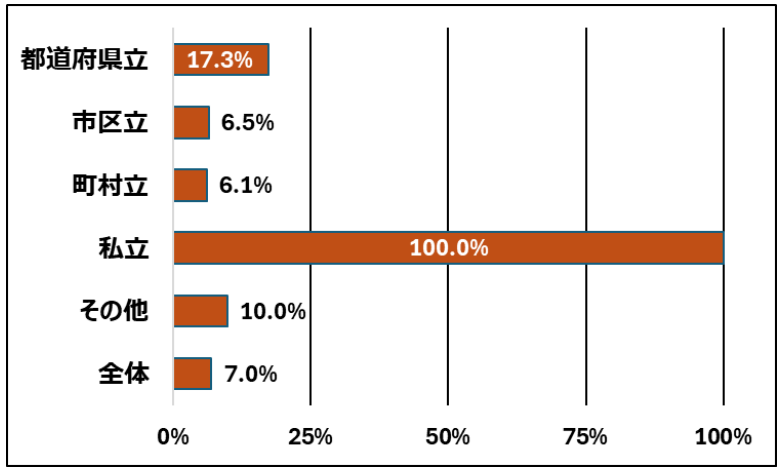
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
参考のみ	70	25	139	8	13	4	259
配架・検索用とも加工	28	19	142	10	20	5	224
配架用を加工	10		14	1	3		28
検索用を加工			2		1		3
そのまま使用	7	8	51	5	7		78
その他			2		1		3
回答館数	115	52	350	24	45	9	595

「その他」は主に部分的な修正に関する言及

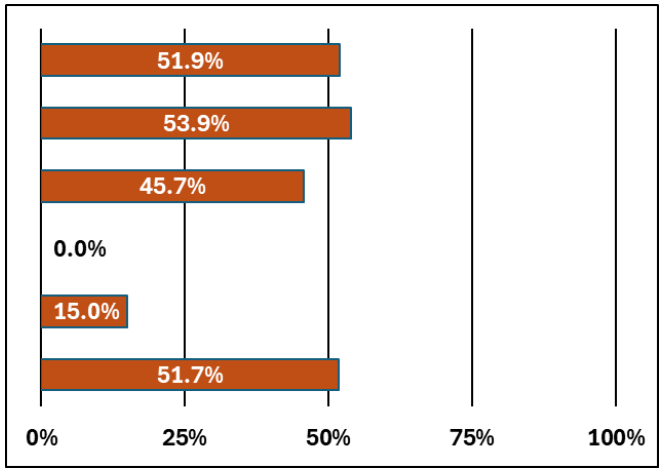
2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか

公共図書館

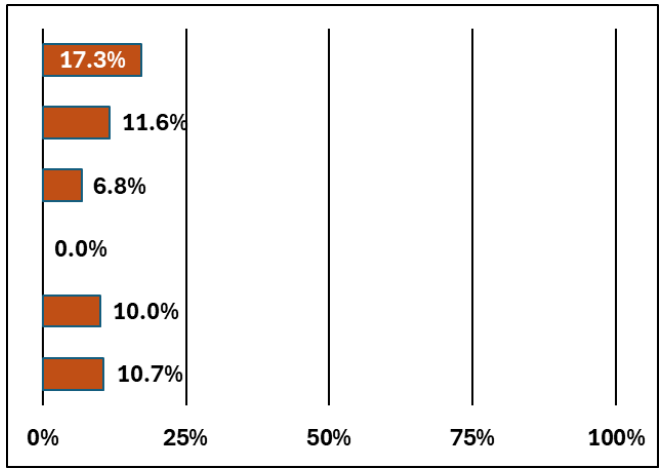
参考のみ



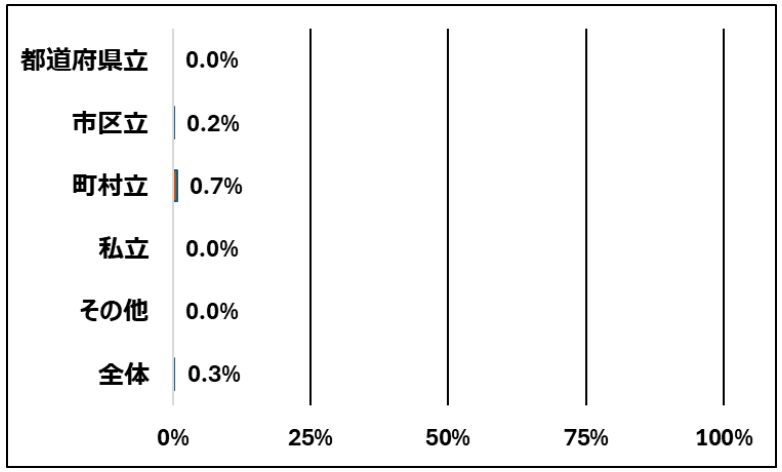
配架・検索用とも加工



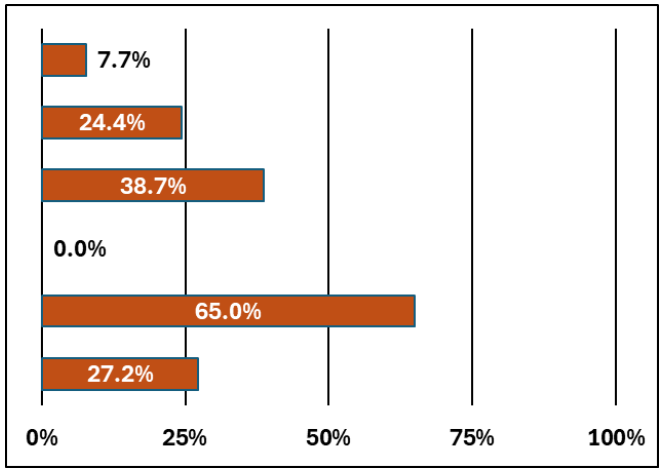
配架用を加工



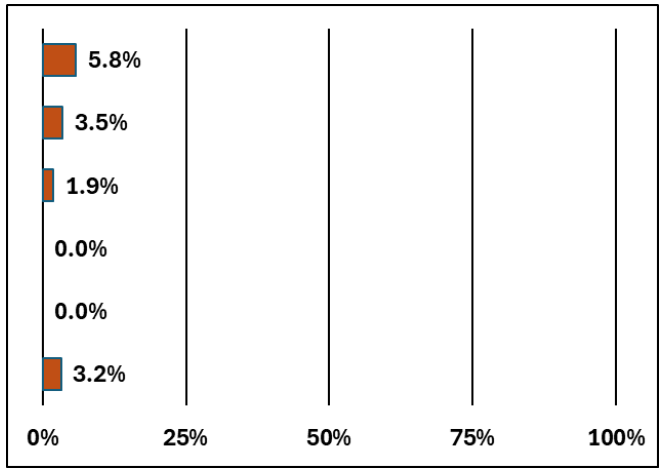
検索用を加工



そのまま使用



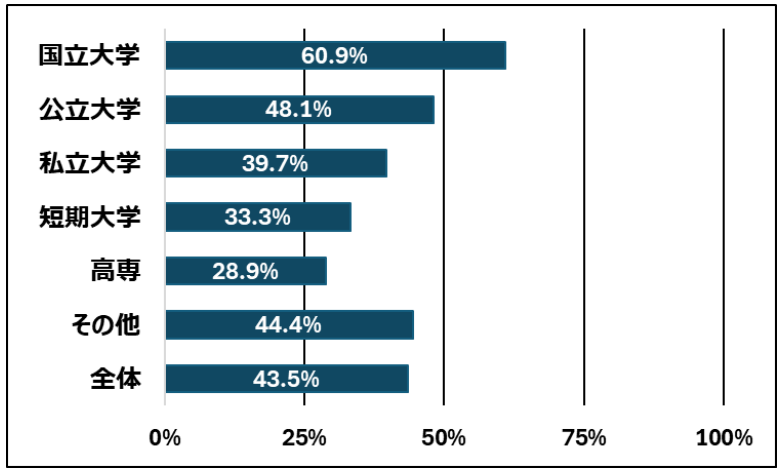
その他



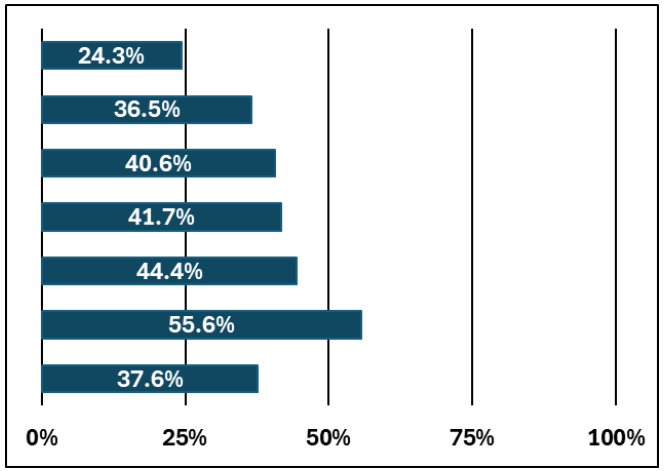
2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか

大学図書館

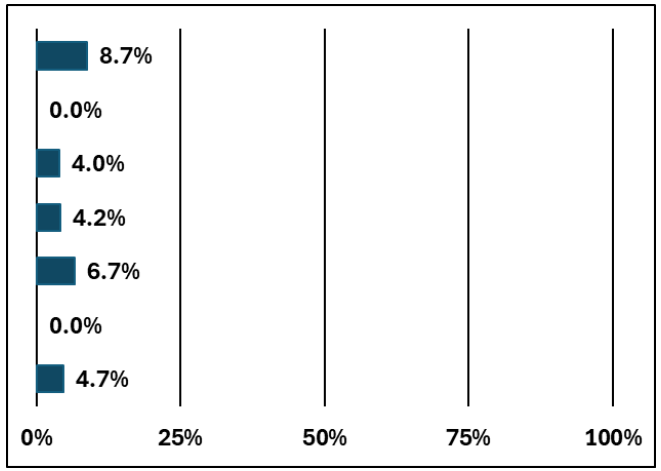
参考のみ



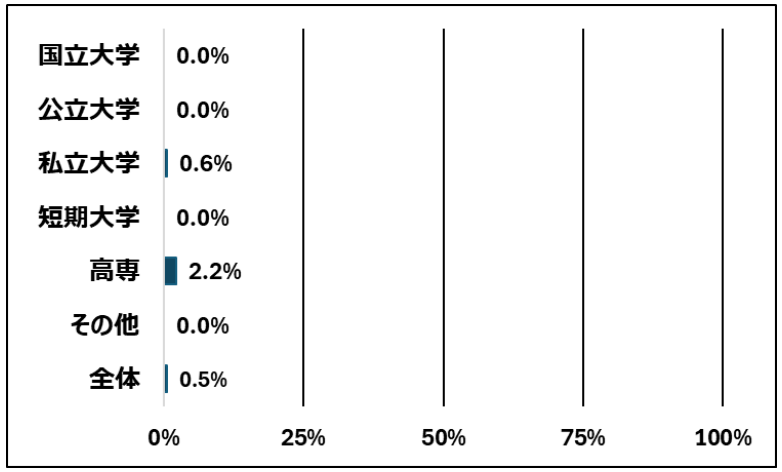
配架・検索用とも加工



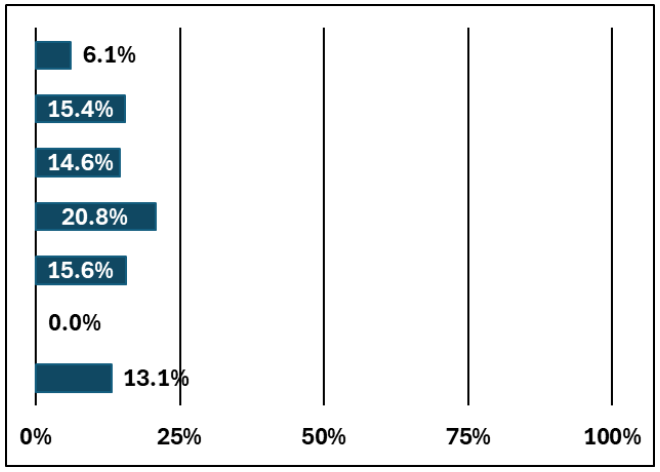
配架用を加工



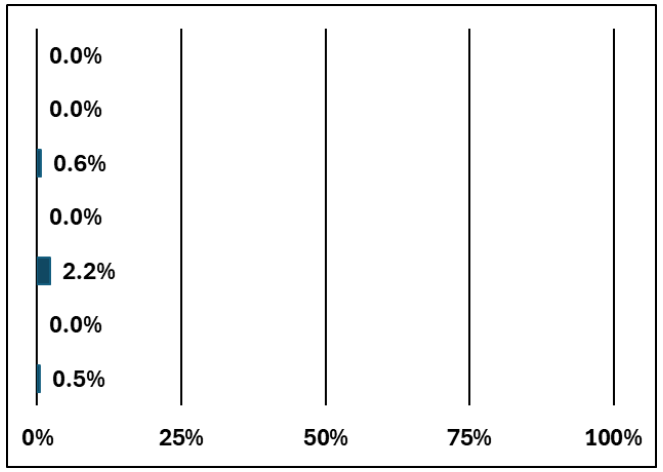
検索用を加工



そのまま使用

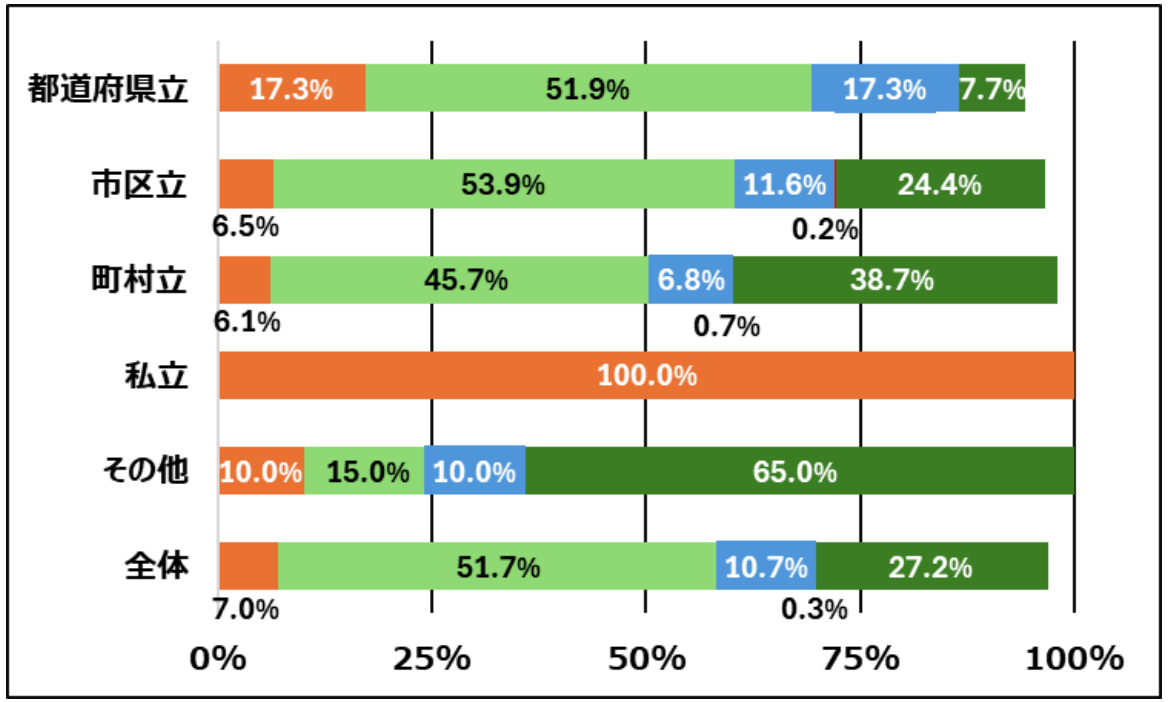


その他

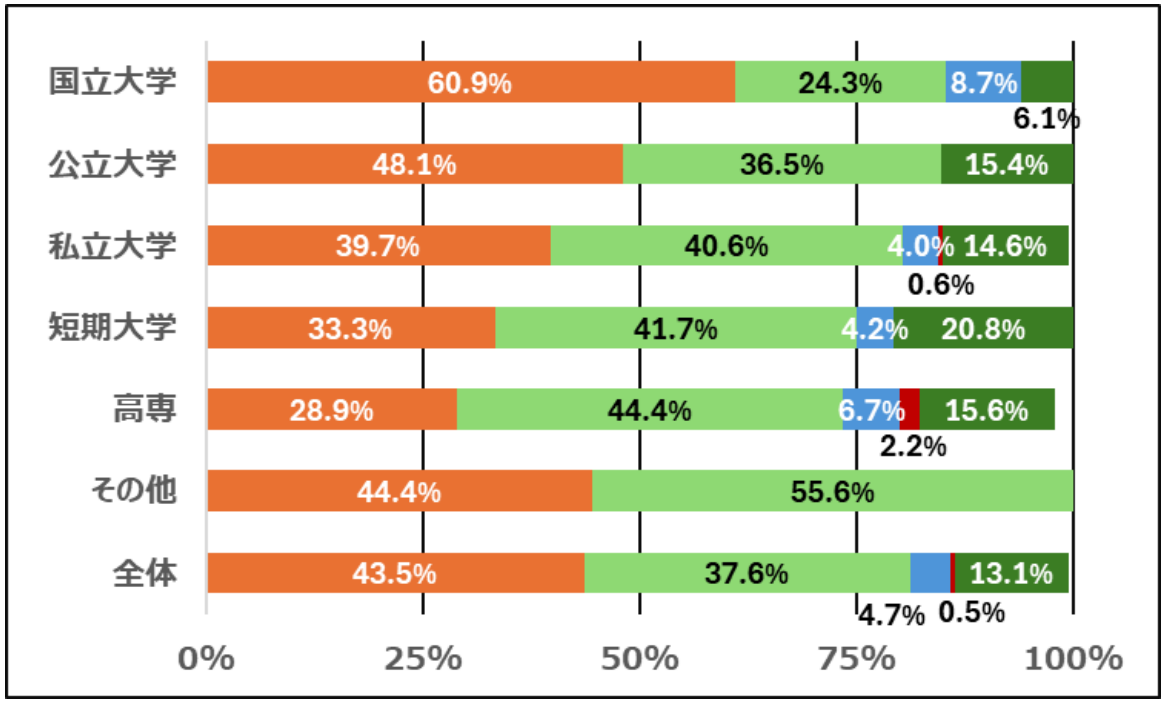


2-C(1-2). 外部データの分類をどのように用いているか

公共図書館



大学図書館



参考のみ　配架・検索用とも加工　配架用を加工　検索用を加工　そのまま使用

- 公共全体では「参考のみ」が7.0%、「加工（修正）利用」が62.7%、「そのまま使用」が27.2%。
- 「そのまま使用」はその他＞町村立＞市区立＞都道府県立の順で比率が高い。私立はすべて「参考のみ」。
- 大学全体では「参考のみ」が43.5%、「加工（修正）利用」が42.8%、「そのまま使用」が13.1%。
- 「参考のみ」の多さは、蔵書の専門性、使用分類法の多様さも影響か。

2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
版	21.4%	14.9%	23.3%	50.0%	100.0%	16.5%
自館の規定	78.6%	83.4%	71.3%	100.0%		81.4%
桁数	75.0%	75.8%	72.9%			75.0%
その他	17.9%	5.8%	8.5%			6.5%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
版	6	113	30	1	2	152
自館の規定	22	634	92	2		750
桁数	21	576	94			691
その他	5	44	11			60
回答館数	28	760	129	2	2	921

版：自館で適用している分類法の版に合わせる
自館の規定：自館の規定に合わせる
桁数：桁数を調整する

※外部データを修正・加工して使用している図書館対象

2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
版	72.2%	50.0%	66.9%	40.0%	47.4%	100.0%	64.7%
自館の規定	69.4%	50.0%	66.1%	60.0%	52.6%		62.7%
桁数	75.0%	62.5%	63.7%	80.0%	57.9%	50.0%	65.2%
その他	8.3%	18.8%	8.1%		15.8%		9.3%

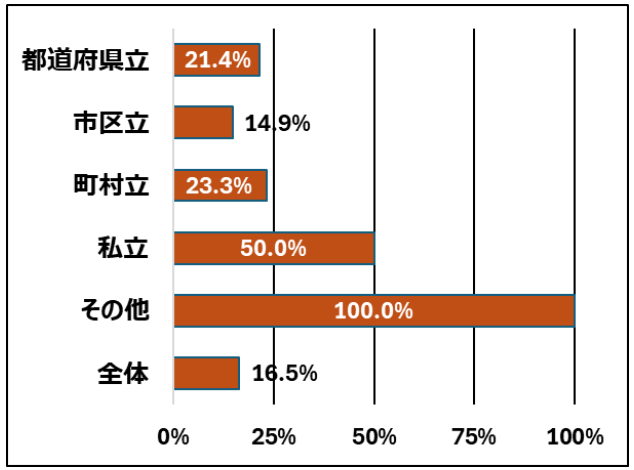
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
版	26	8	83	2	9	4	132
自館の規定	25	8	82	3	10		128
桁数	27	10	79	4	11	2	133
その他	3	3	10		3		19
回答館数	36	16	124	5	19	4	204

版：自館で適用している分類法の版に合わせる
自館の規定：自館の規定に合わせる
桁数：桁数を調整する

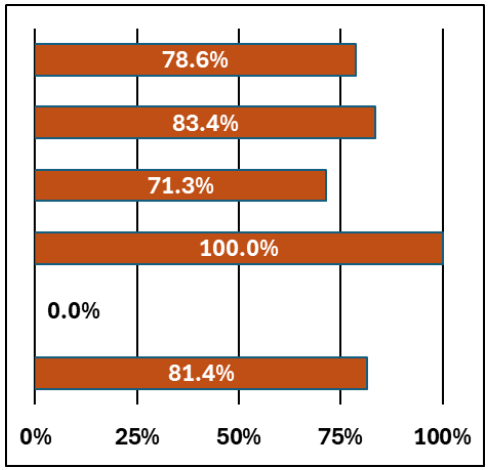
2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）

公共図書館

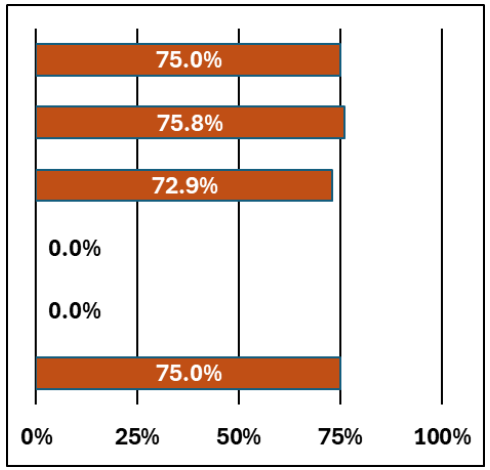
版



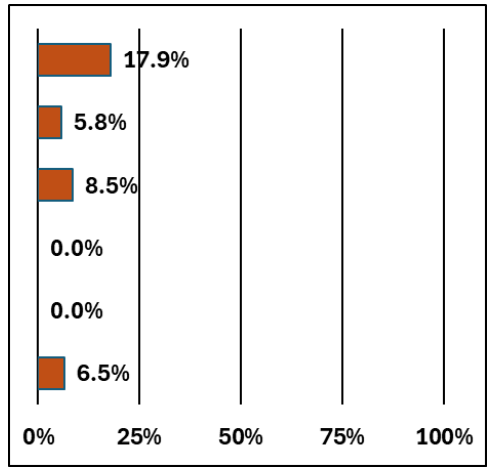
自館の規定



桁数

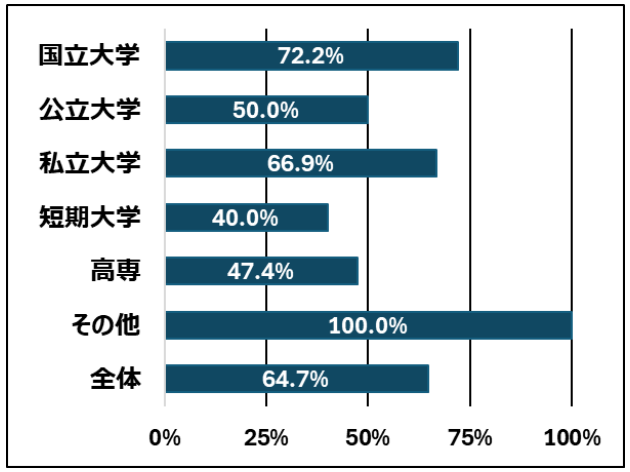


その他

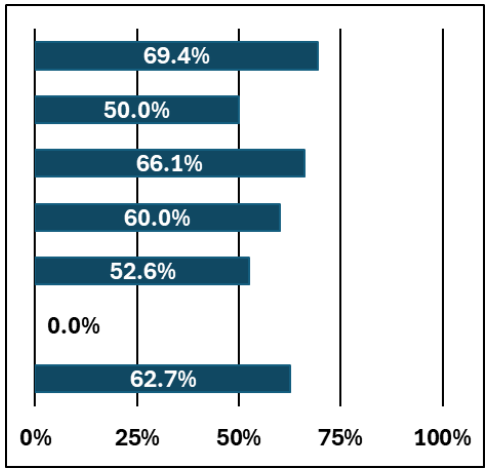


大学図書館

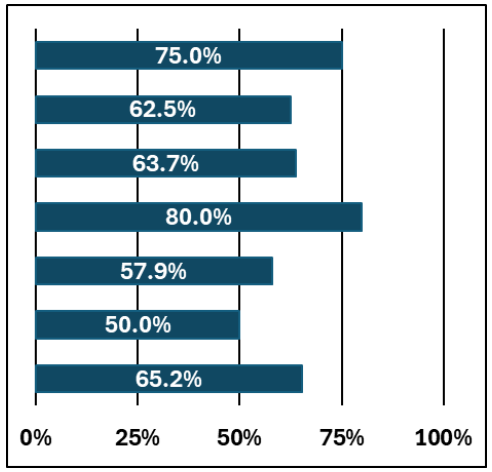
版



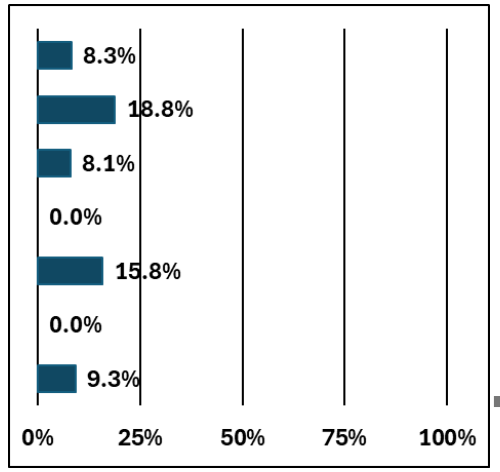
自館の規定



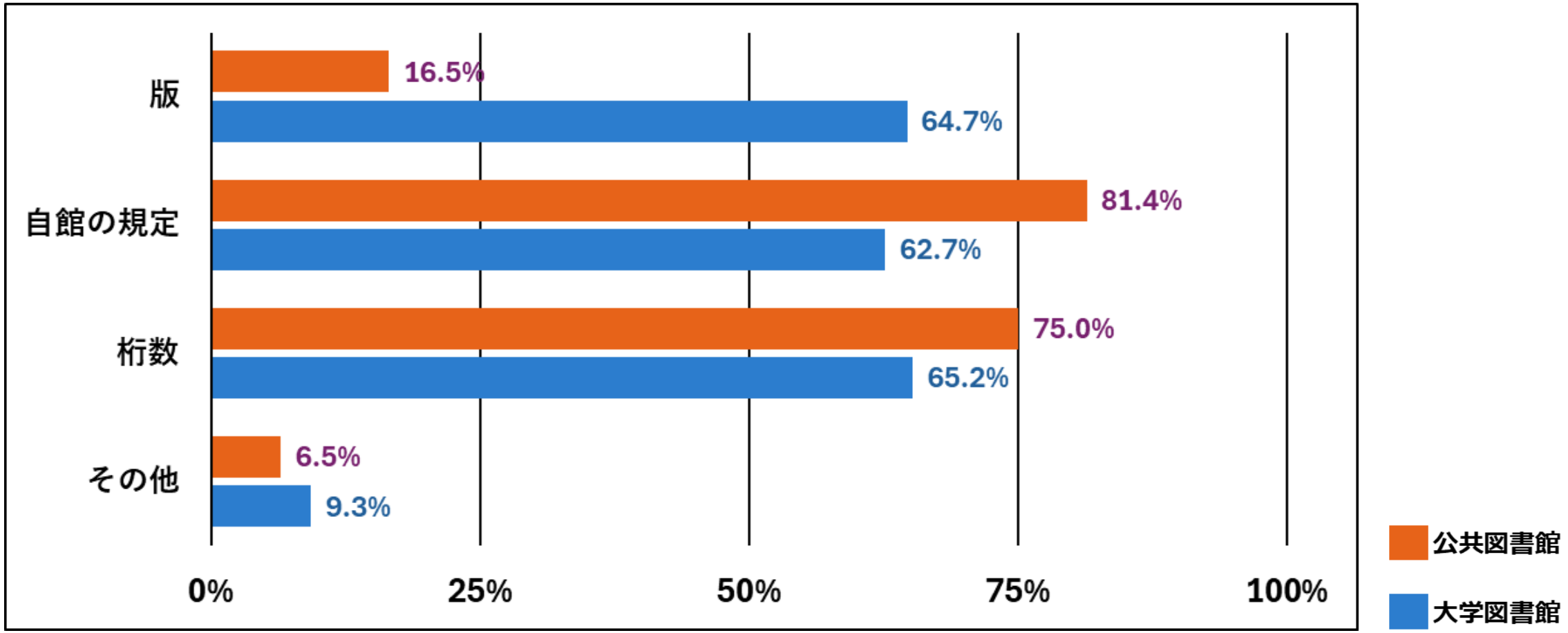
桁数



その他



2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）



・「自館で適用している分類法の版に合わせる」修正は、公共では比較的少ない。

2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
自館の規定+桁数	540	58.6%
自館の規定	116	12.6%
桁数	54	5.9%
版+自館の規定+桁数	49	5.3%
版	46	5.0%
版+自館の規定	37	4.0%
回答館数	921	

大学図書館

	館	
自館の規定+桁数	52	25.5%
版+自館の規定+桁数	44	21.6%
版+自館の規定	31	15.2%
版	28	13.7%
版+桁数	26	12.7%
その他	11	5.4%
回答館数	204	

2-C(1-3). 外部データを修正・加工する理由（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
利用者の利便性・利用のされやすさ	23
継続性のある資料の分類を揃える	11
分野により独自分類を適用	9
別置記号の追加	8
郷土資料の分類調整	5
資料の内容から判断	5
絵本に主題分類を適用	3
自館の分類傾向に合わせる	2

大学図書館	館
継続性のある資料の分類を揃える	4
自館の分類傾向に合わせる	4
自館の基準に合わせる	3
専攻分野に合わせる	3
利用者の利便性・利用のされやすさ	2
複数の分類法を使用	1
分野により独自分類を適用	1
別置記号の追加	1

2-C(1-4). 主に利用している外部データ※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
NDLのデータ	1.9%	0.6%	6.0%	66.7%	50.0%	2.4%
TRC MARC	75.0%	89.6%	84.9%	33.3%	40.9%	87.7%
その他のMARC	21.2%	9.0%	5.8%		4.5%	8.6%
NACSIS-CAT	1.9%	0.1%				0.1%
その他		0.6%	3.4%		4.5%	1.2%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
NDLのデータ	1	10	25	2	11	49
TRC MARC	39	1,394	353	1	9	1,796
その他のMARC	11	140	24		1	176
NACSIS-CAT	1	2				3
その他		10	14		1	25
回答館数	52	1,556	416	3	22	2,049

※外部データを使用している図書館対象

2-C(1-4). 主に利用している外部データ

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
NDLのデータ	1.8%	3.1%	7.1%	23.1%	4.4%	8.3%	5.9%
TRC MARC			3.4%	3.8%			2.0%
その他のMARC							0.0%
NACSIS-CAT	97.0%	90.6%	88.4%	73.1%	95.6%	91.7%	90.6%
その他	1.2%	6.3%	1.1%				1.4%

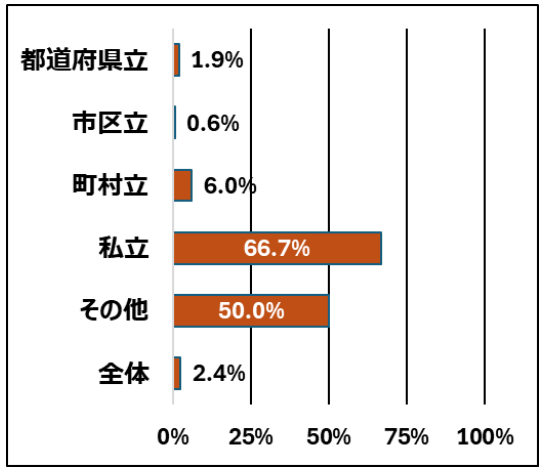
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
NDLのデータ	3	2	27	6	2	1	41
TRC MARC			13	1			14
その他のMARC							0
NACSIS-CAT	162	58	334	19	43	11	627
その他	2	4	4				10
回答館数	167	64	378	26	45	12	692

2-C(1-4). 主に利用している外部データ

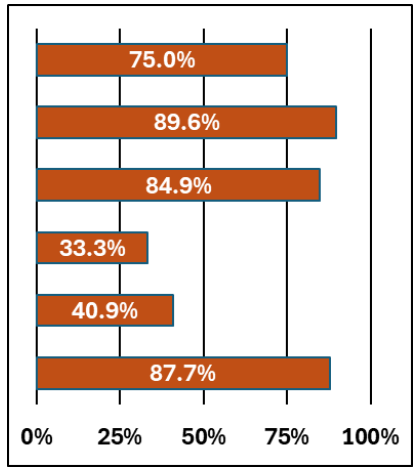
- 「その他」はトーハンMARC（公共14館）、NACSIS-CATの参照MARC（大学2館）など。

公共図書館

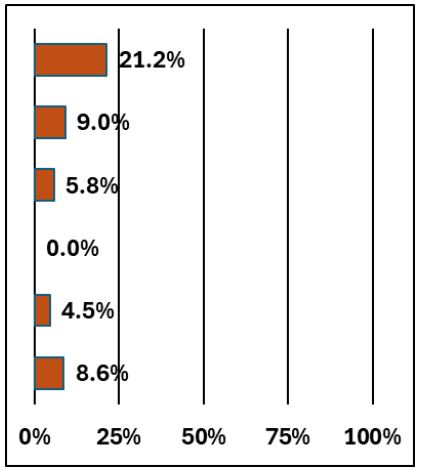
NDLのデータ



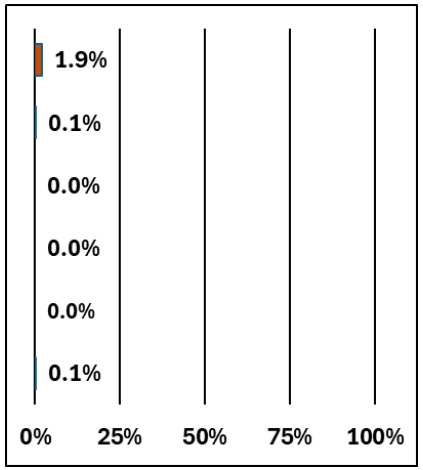
TRC MARC



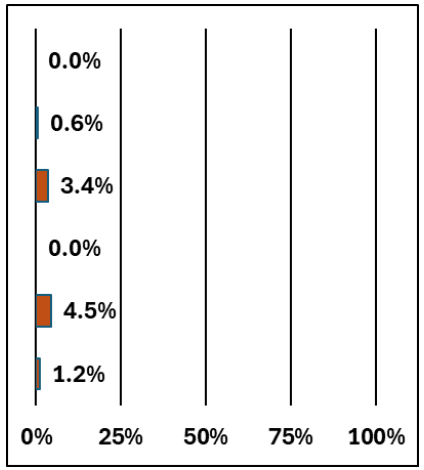
その他のMARC



NACSIS-CAT

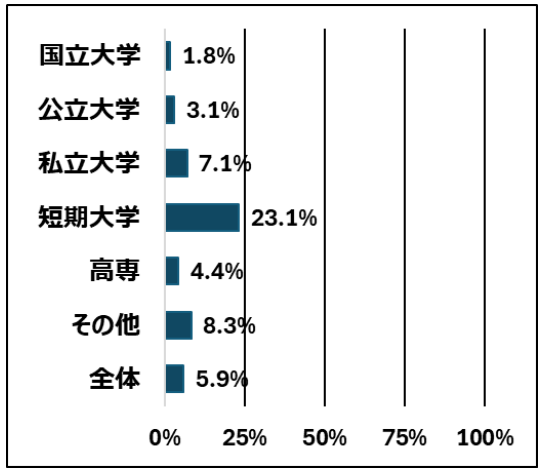


その他

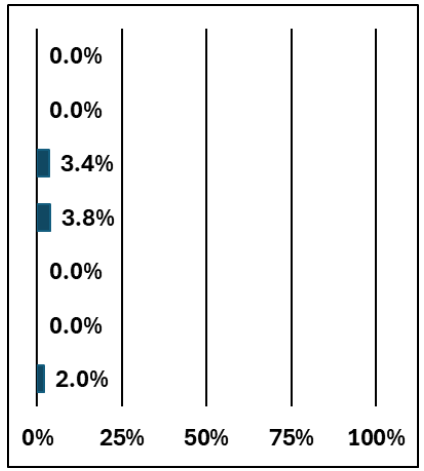


大学図書館

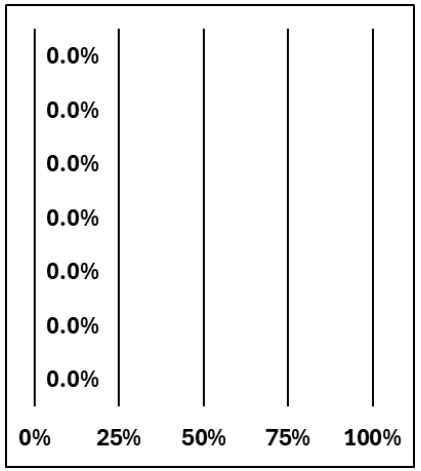
NDLのデータ



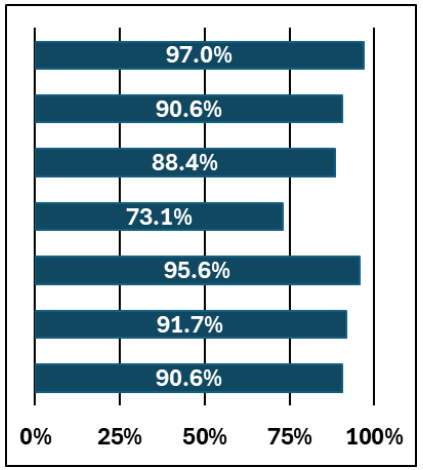
TRC MARC



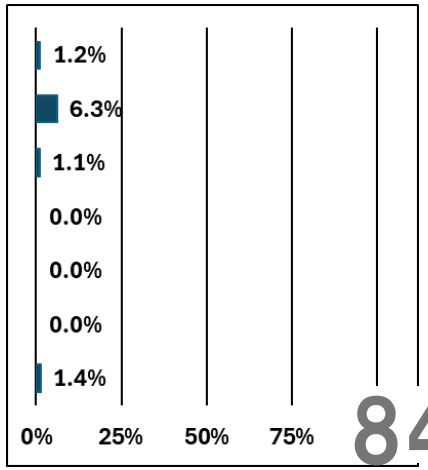
その他のMARC



NACSIS-CAT



その他



2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
1～2桁		1.2%	3.0%			1.5%
3桁		7.2%	29.9%	50.0%	50.0%	12.2%
4桁	15.4%	41.3%	41.0%	16.7%	4.2%	40.0%
5桁	32.7%	32.0%	11.4%		8.3%	27.5%
6桁	30.8%	7.6%	3.7%			7.3%
7桁	5.8%	2.6%	0.7%			2.3%
8桁	1.9%	0.1%				0.1%
9桁			0.2%		4.2%	0.1%
制限なし	11.5%	4.8%	9.1%	33.3%	33.3%	6.3%
その他	1.9%	3.2%	1.0%			2.7%

※和図書または洋図書の分類にNDCを適用している図書館対象

2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
1～2桁	0.7%	3.1%	1.1%		6.7%		1.5%
3桁	2.0%	1.5%	2.2%	3.8%	6.7%	42.9%	2.9%
4桁	10.5%	3.1%	3.6%	7.7%	4.4%		5.3%
5桁	6.5%	24.6%	12.9%	3.8%	20.0%		12.6%
6桁	23.5%	16.9%	21.4%	26.9%	8.9%	28.6%	20.9%
7桁	17.0%	12.3%	14.5%	11.5%	4.4%	14.3%	14.1%
8桁	2.6%	9.2%	4.4%				3.9%
9桁	1.3%		1.9%				1.4%
制限なし	35.9%	29.2%	37.8%	46.2%	48.9%	14.3%	37.4%
その他			0.3%				0.2%

2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限

公共図書館

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
1～2桁		18	12			30
3桁		111	121	3	12	247
4桁	8	633	166	1	1	809
5桁	17	491	46		2	556
6桁	16	116	15			147
7桁	3	40	3			46
8桁	1	2				3
9桁			1		1	2
制限なし	6	74	37	2	8	127
その他	1	49	4			54
回答館数	52	1,534	405	6	24	2,021

1～2桁

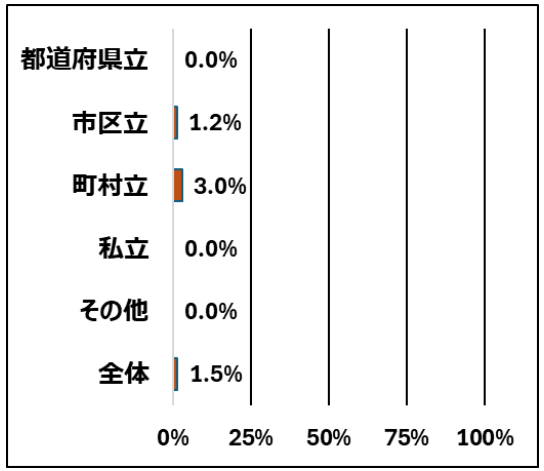
大学図書館

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
1～2桁	1	2	4		3		10
3桁	3	1	8	1	3	3	19
4桁	16	2	13	2	2		35
5桁	10	16	47	1	9		83
6桁	36	11	78	7	4	2	138
7桁	26	8	53	3	2	1	93
8桁	4	6	16				26
9桁	2		7				9
制限なし	55	19	138	12	22	1	247
その他			1				1
回答館数	153	65	365	26	45	7	661

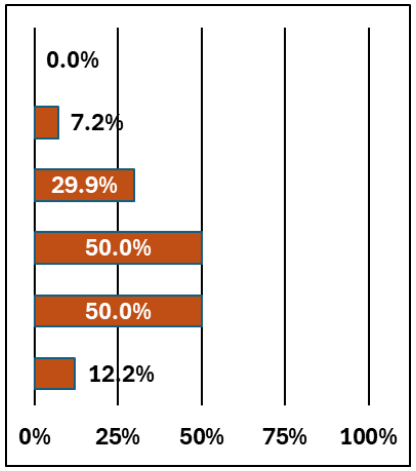
2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限

公共図書館

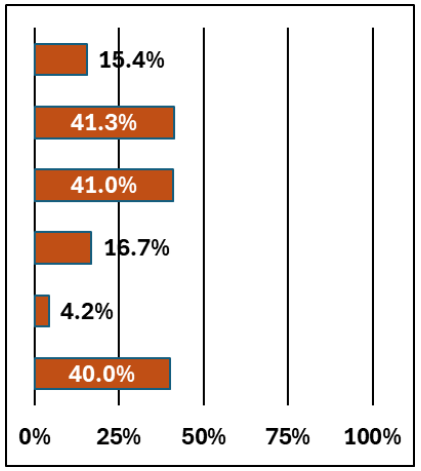
1～2桁



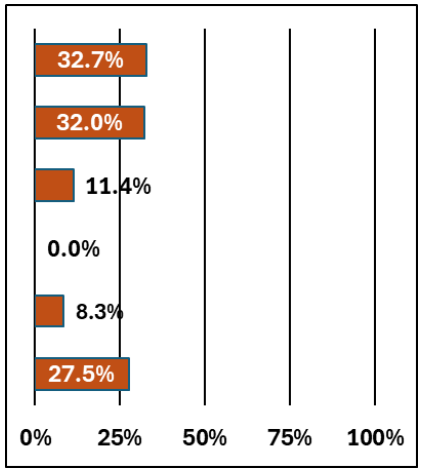
3桁



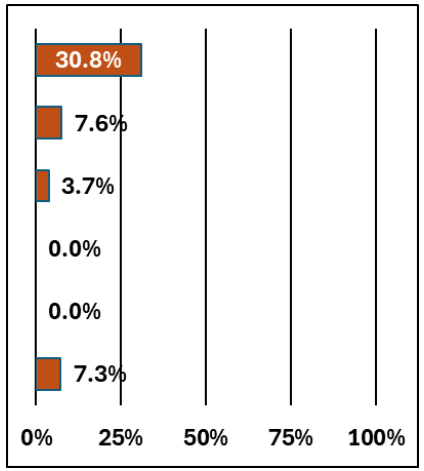
4桁



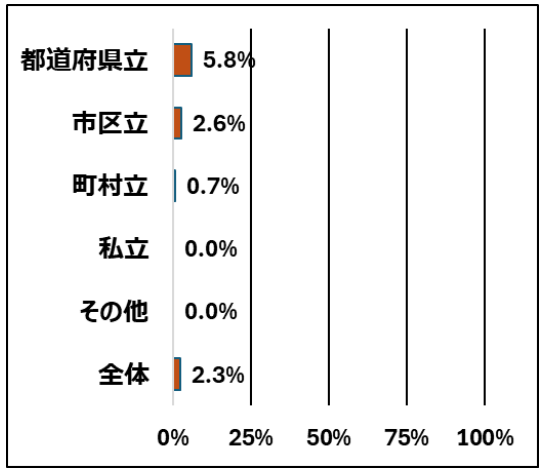
5桁



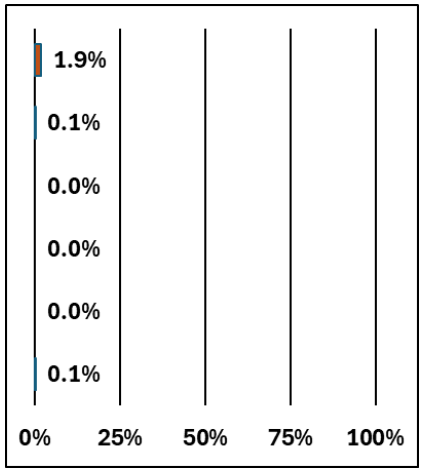
6桁



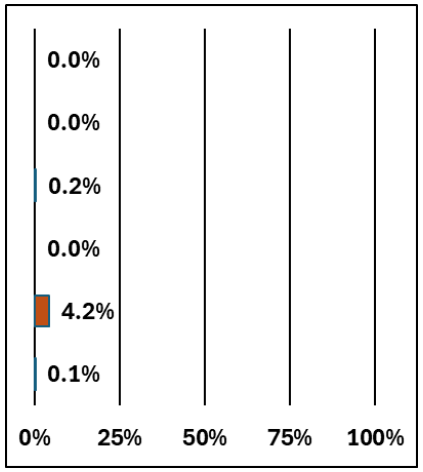
7桁



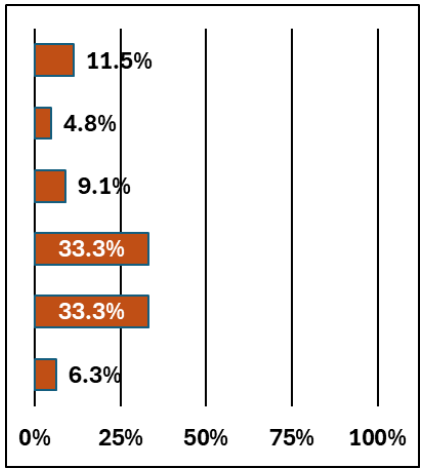
8桁



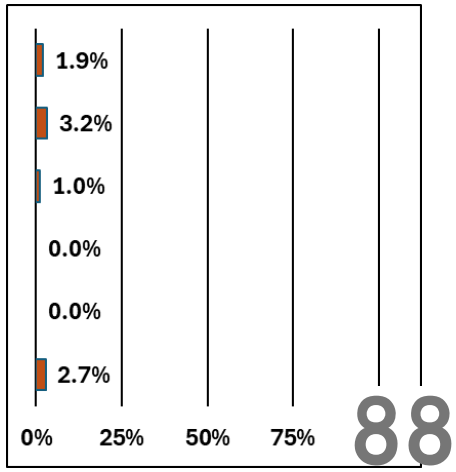
9桁



制限なし



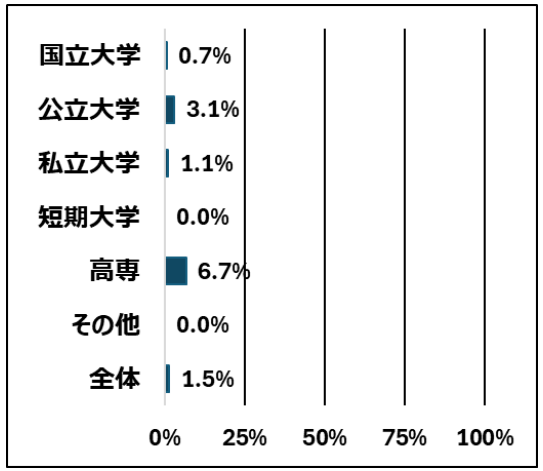
その他



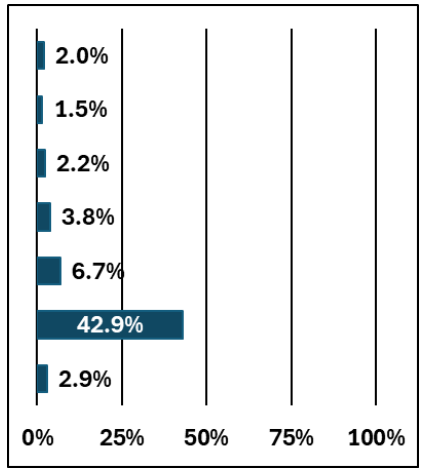
2-C(2-1). 配架用の分類（NDC）の桁数の上限

大学図書館

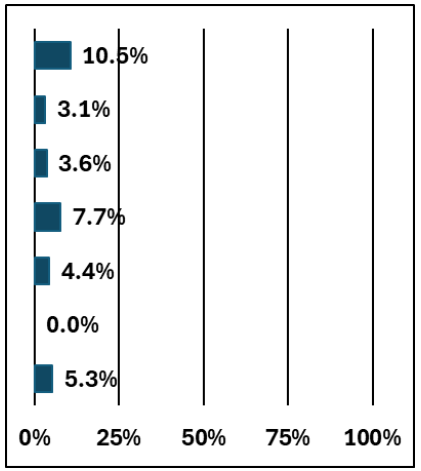
1～2桁



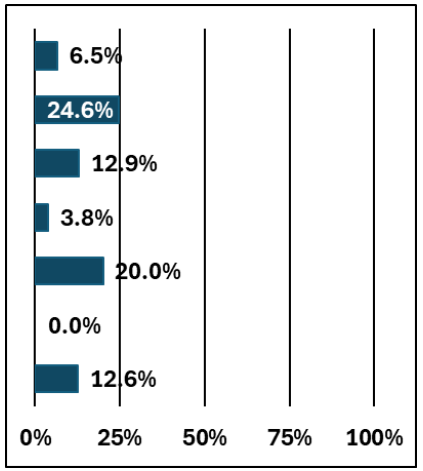
3桁



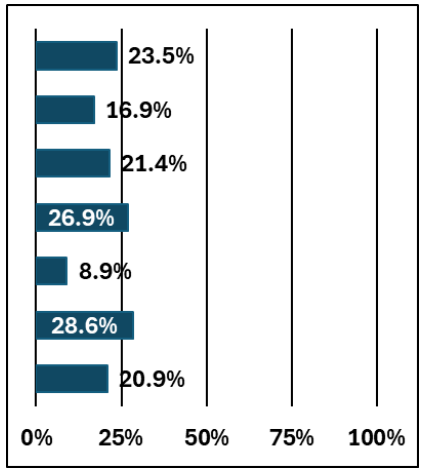
4桁



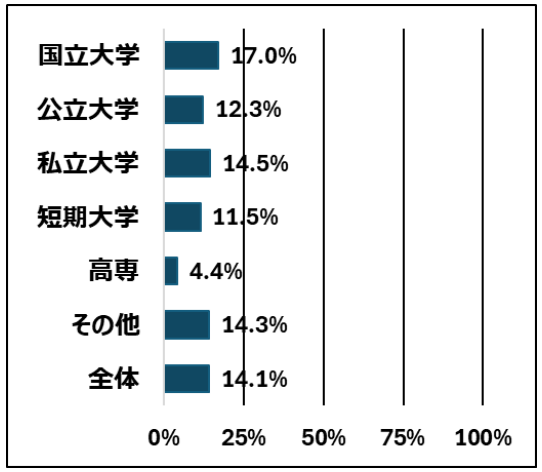
5桁



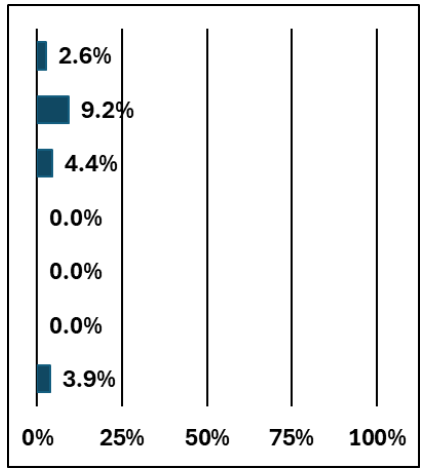
6桁



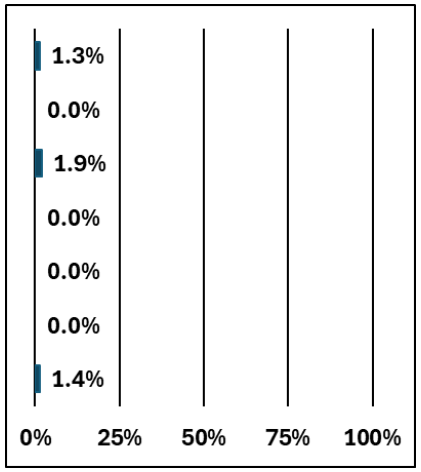
7桁



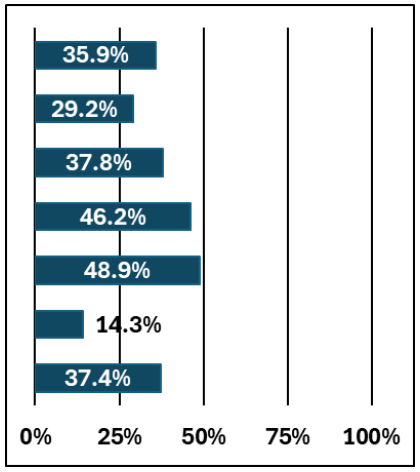
8桁



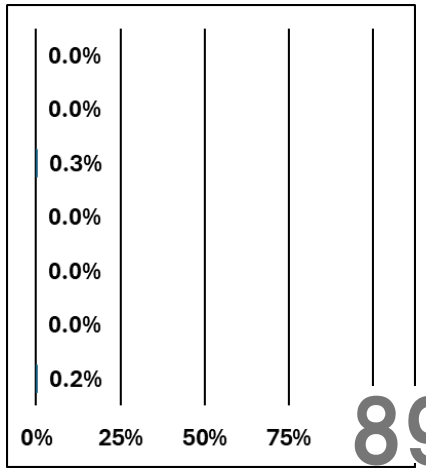
9桁



制限なし



その他



2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
1～2桁		1.9%	3.1%			2.1%
3桁		6.5%	24.9%	40.0%	38.1%	10.4%
4桁	3.8%	25.3%	27.0%		4.8%	24.8%
5桁	9.6%	18.9%	8.7%		4.8%	16.4%
6桁	11.5%	6.5%	4.3%			6.1%
7桁	1.9%	2.6%	2.0%			2.5%
8桁	1.9%	0.6%	0.3%			0.6%
9桁		1.4%	0.3%		9.5%	1.2%
制限なし	69.2%	34.6%	29.0%	60.0%	42.9%	34.5%
その他	1.9%	1.7%	0.5%			1.4%

※和図書または洋図書の分類にNDCを適用している図書館対象

2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
1～2桁		1.6%	0.8%		6.7%		1.1%
3桁	1.3%	4.7%	4.2%	8.0%	6.7%	14.3%	4.0%
4桁	4.0%	3.1%	2.2%	8.0%	4.4%		3.1%
5桁	4.0%	20.3%	8.3%		11.1%	14.3%	8.4%
6桁	12.0%	15.6%	16.9%	24.0%	2.2%	14.3%	14.9%
7桁	9.3%	9.4%	8.6%	12.0%	4.4%		8.6%
8桁	2.0%	7.8%	3.0%				2.9%
9桁			1.1%				0.6%
制限なし	66.7%	37.5%	54.6%	48.0%	64.4%	57.1%	56.1%
その他	0.7%		0.3%				0.3%

2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

公共図書館

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
1～2桁		29	12			41
3桁		98	98	2	8	206
4桁	2	383	106		1	492
5桁	5	286	34		1	326
6桁	6	98	17			121
7桁	1	40	8			49
8桁	1	9	1			11
9桁		21	1		2	24
制限なし	36	523	114	3	9	685
その他	1	25	2			28
回答館数	52	1,512	393	5	21	1,983

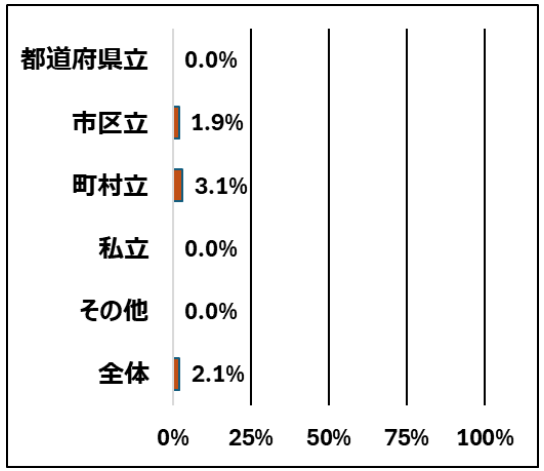
大学図書館

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
1～2桁		1	3		3		7
3桁	2	3	15	2	3	1	26
4桁	6	2	8	2	2		20
5桁	6	13	30		5	1	55
6桁	18	10	61	6	1	1	97
7桁	14	6	31	3	2		56
8桁	3	5	11				19
9桁			4				4
制限なし	100	24	197	12	29	4	366
その他	1		1				2
回答館数	150	64	361	25	45	7	652

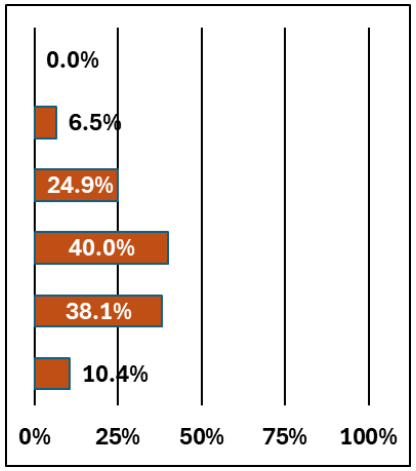
2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

公共図書館

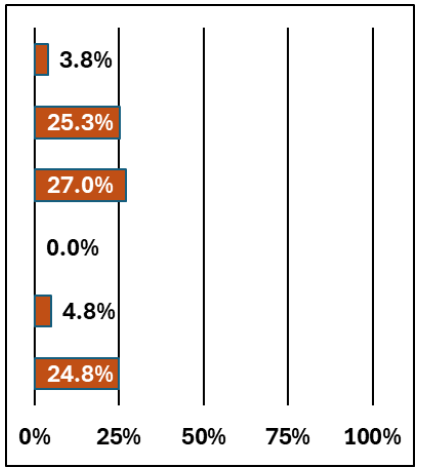
1～2桁



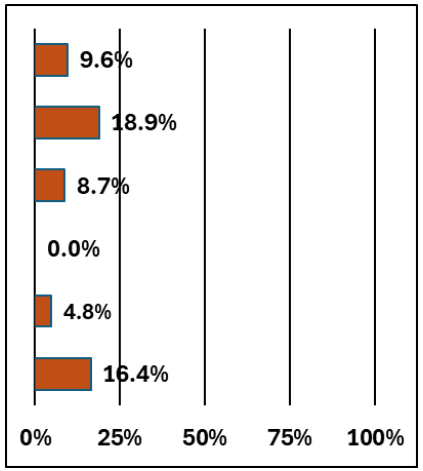
3桁



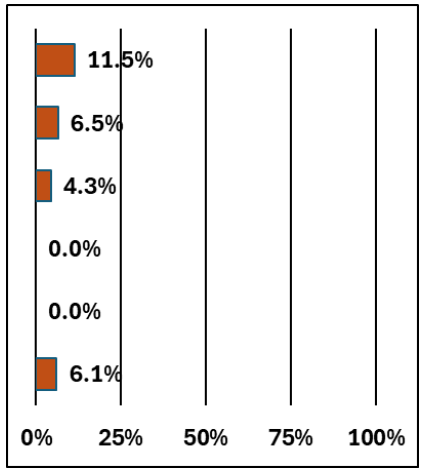
4桁



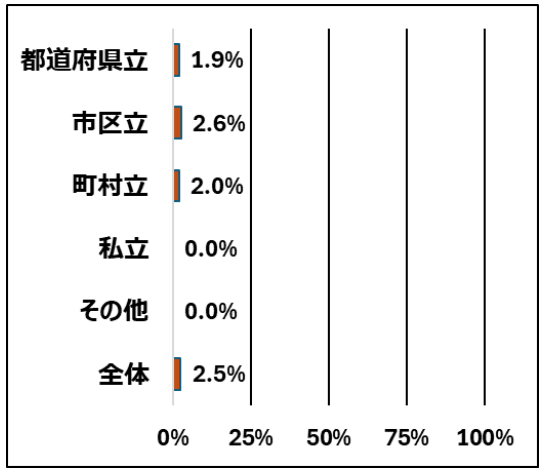
5桁



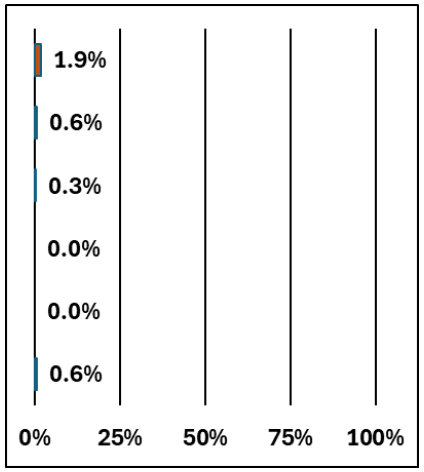
6桁



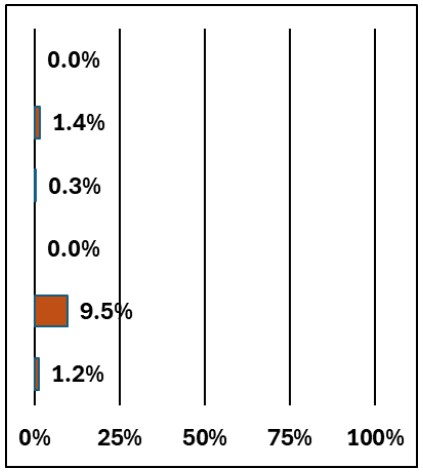
7桁



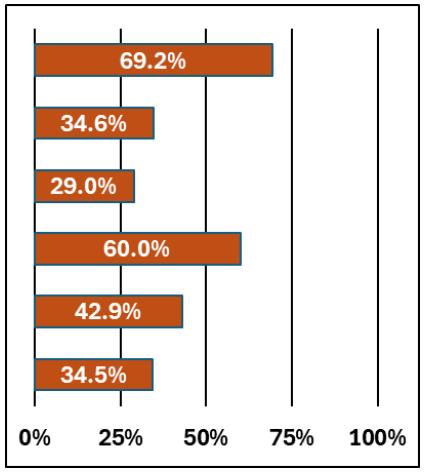
8桁



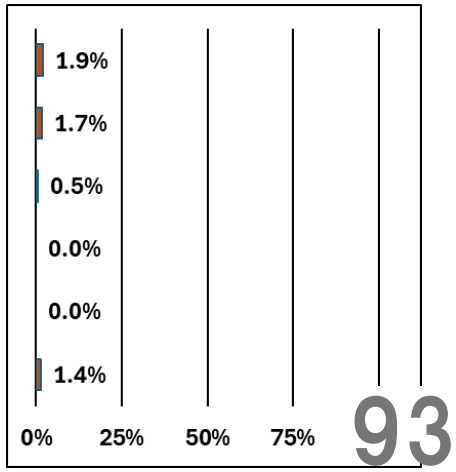
9桁



制限なし



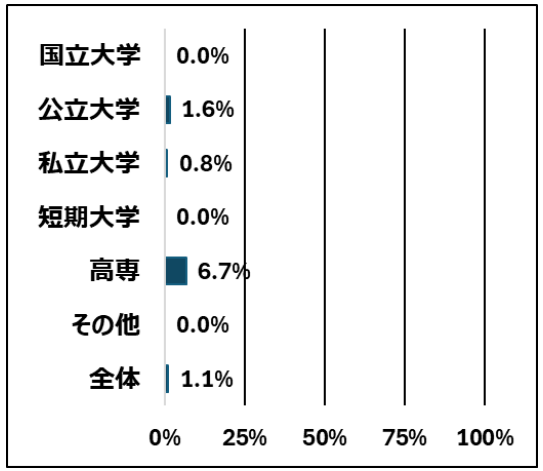
その他



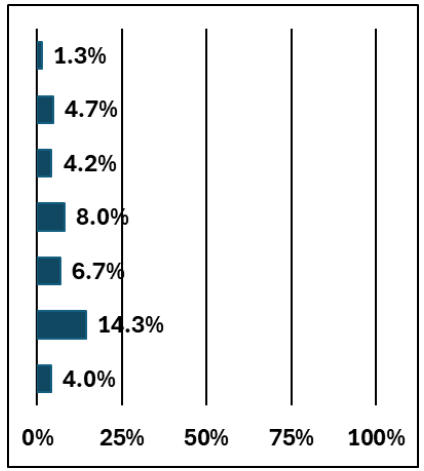
2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

大学図書館

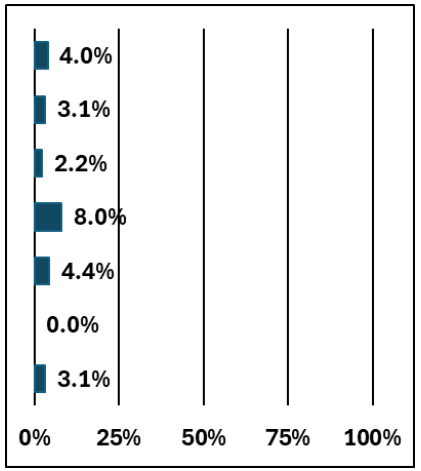
1～2桁



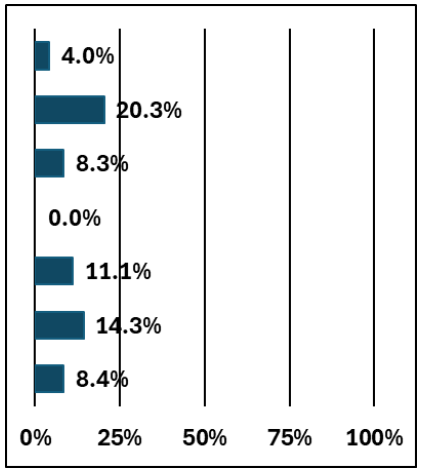
3桁



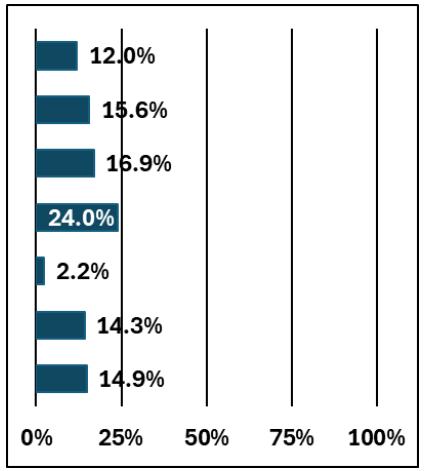
4桁



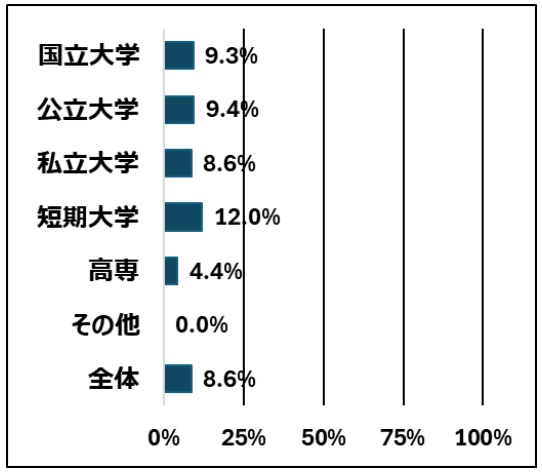
5桁



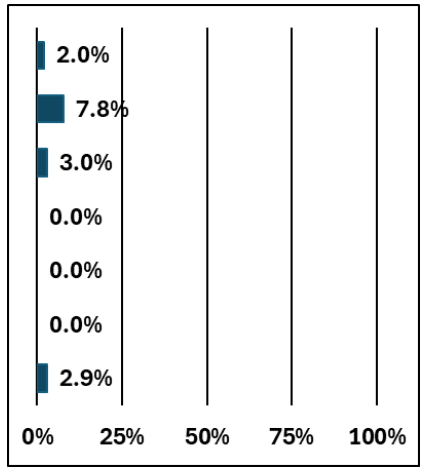
6桁



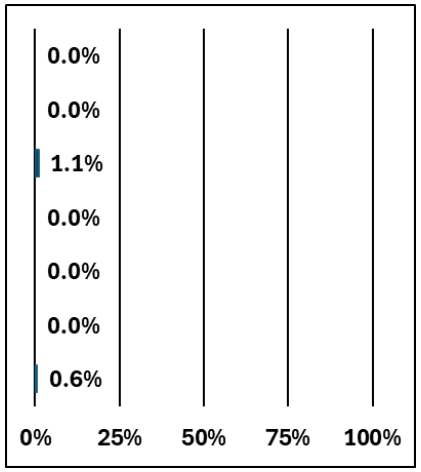
7桁



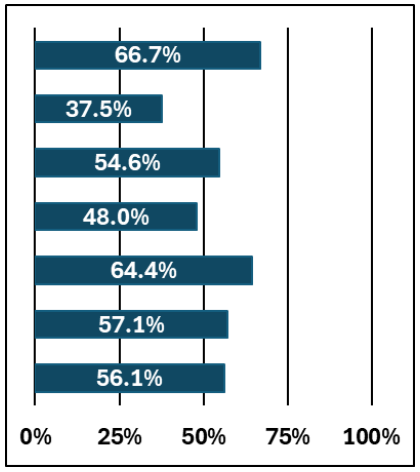
8桁



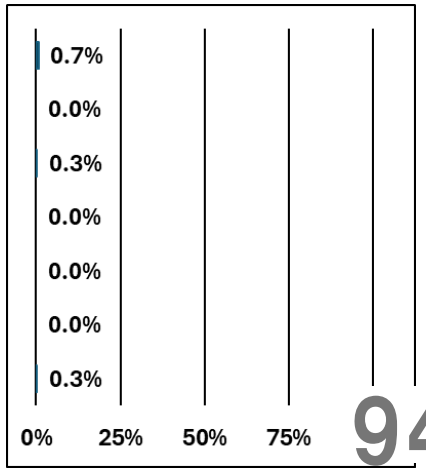
9桁



制限なし



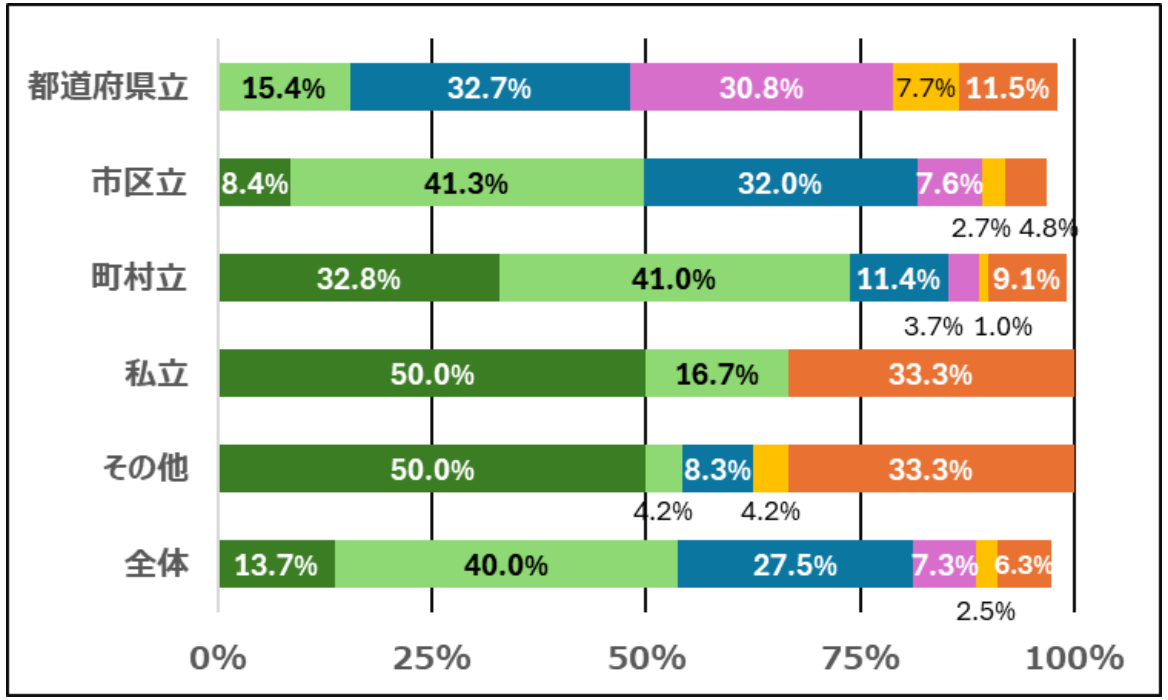
その他



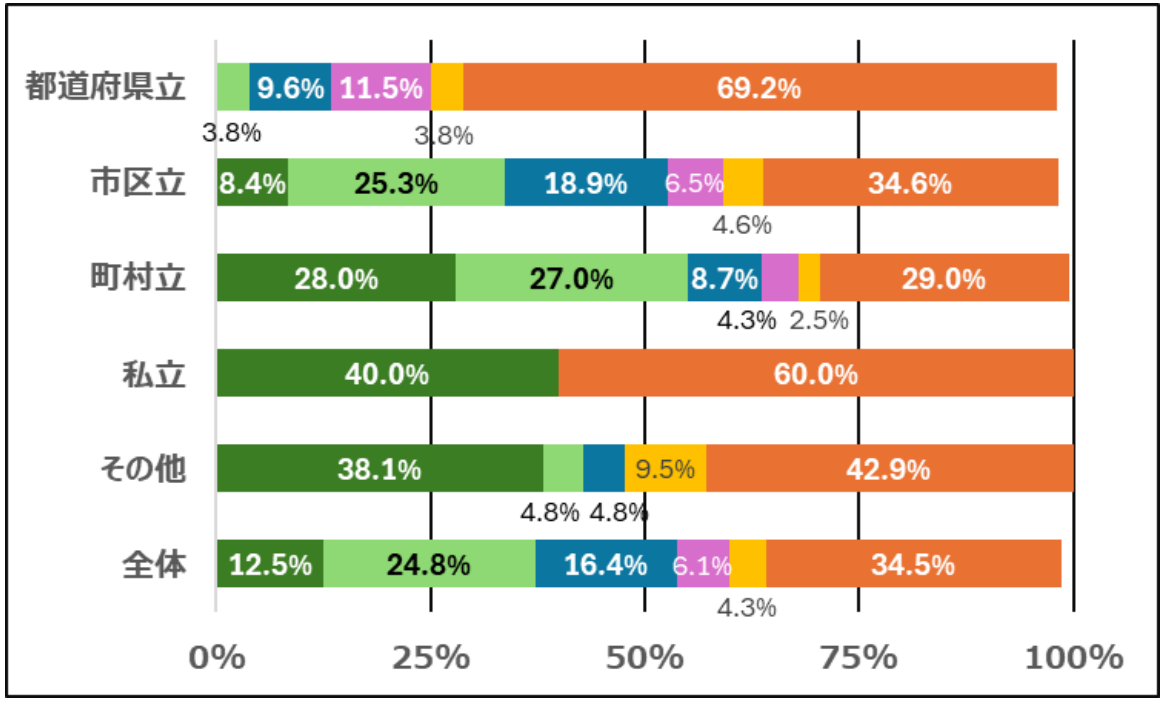
2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

公共図書館

配架用



検索用



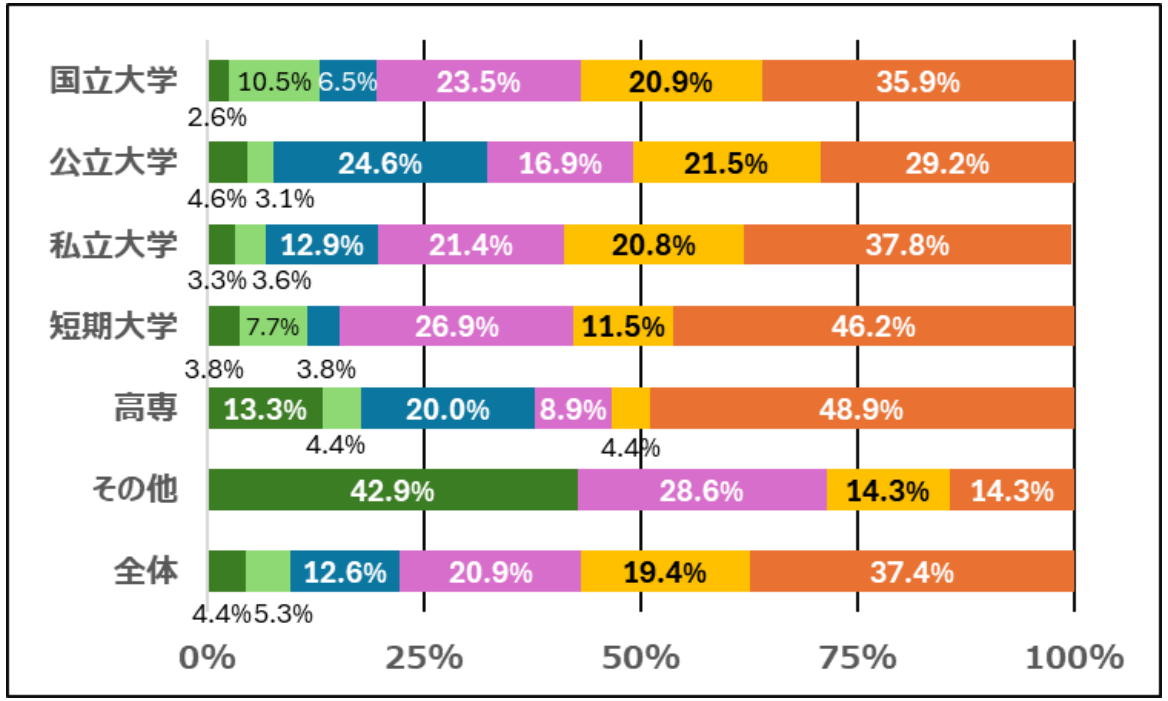
1～3桁　4桁　5桁　6桁　7～9桁　制限なし

- 公共全体では「4桁」「5桁」が中心。
- 都道府県立では「6桁」、町村立、私立、その他では「3桁」の館も多い。
- 各館種とも「制限なし」の比率が増加。

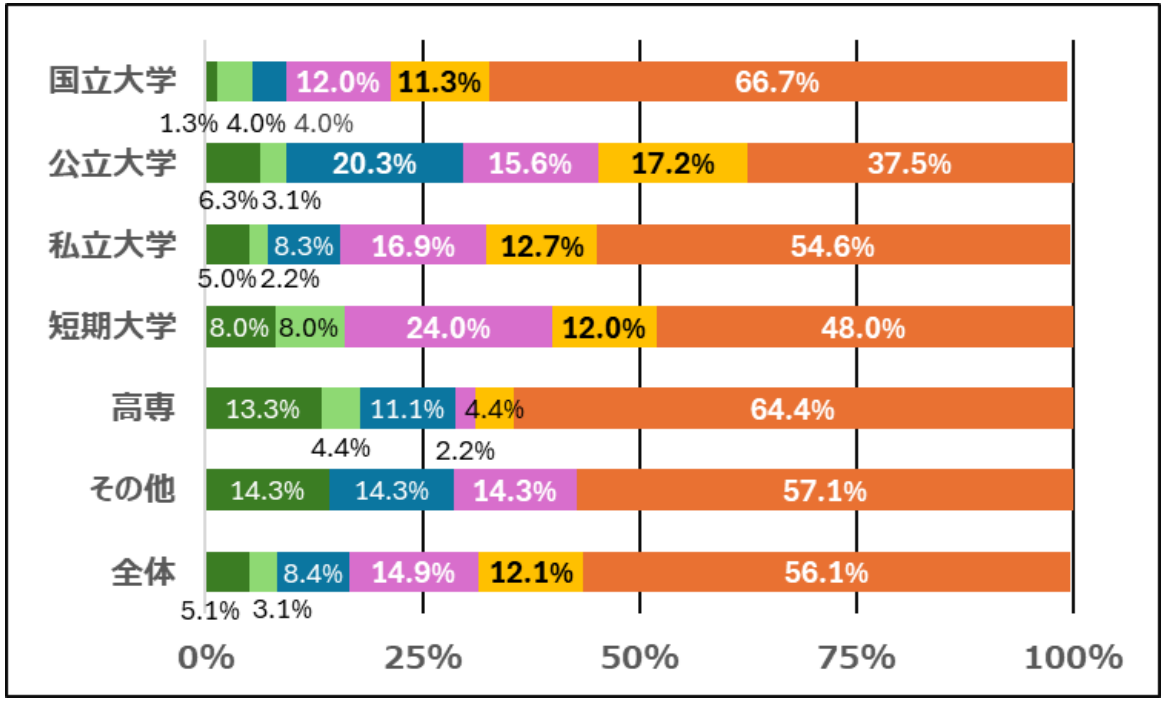
2-C(2-2). 検索用の分類（NDC）の桁数の上限

大学図書館

配架用



検索用



1～3桁　4桁　5桁　6桁　7～9桁　制限なし

- 「6桁」「7～9桁」「制限なし」が中心。
- その他（大学共同利用機関等）では「3桁」の館も多い。
- 各館種とも「制限なし」の比率が増加。

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）※

言及のあった主な分野（公共図書館）

館

007（情報学）	46	590 / 599（家政学）	25	絵本	103
200 / 299（歴史．地理）	34	594（手芸）	20	外国語資料（洋書）	26
210（日本史総記）	89	596（食品）	79	郷土資料（地域資料）	110
210 / 219（日本･日本各地史）	56	783（球技）	32	紙芝居	57
289（個人伝記）	63	900 / 999（文学）	46	児童書	652
291（日本地理）	37	9□3（小説）	26	児童書913（日本小説）	24
369（社会福祉）	49	910（日本文学総記）	30	所蔵の多い分野	70
490 / 499（医学．薬学）	102	910 / 919（日本文学）	77	細分化が必要な分野	33
493（内科学）	52	911（日本詩歌）	41	一部の分野	53
498（衛生学）	38	913（日本小説）	21	特になし	36
573.5（ガラス）	25	913.6（近代日本小説）	91		

- 和図書へのNDC適用館2,063館中1,324館（64.2%）が回答。
- 児童書、絵本、郷土資料についての言及が多く、分野別では情報学、日本史、個人伝記、社会福祉、医学、家政、球技、文学についての言及が多く見られる。

※和図書または洋図書の分類にNDCを適用している図書館対象

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）

言及のあった主な分野（大学図書館）

	館
007（情報学）	12
300 / 399（社会科学）	10
319（外交）	5
490 / 499（医学．薬学）	7
492.9（看護学）	16
500 / 599（技術．家政学）	5
900 / 999（文学）	6
形式区分	6
地理区分	7

	館
新書	5
文庫	5
専門分野	15
専門分野以外	11
所蔵の多い分野	14
所蔵の少ない分野	15
一部の分野	23
特になし	35

- 和図書へのNDC適用館645館中236館（36.6%）が回答。
- 専門分野、所蔵数についての言及が多く、分野別では情報学、社会科学、看護学についての言及が多く見られる。

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）

主な適用方針（「原則：3桁」「一般書：3桁」とした公共図書館）

	館
200 / 299（歴史．地理）：4桁	12
210（日本史総記）：4桁	38
210 / 219（日本･日本各地史）：4桁	18
289（個人伝記）：4桁	16
291（日本地理）：4桁	14
367（家族問題）：4桁	13
369（社会福祉）：4桁	14
490 / 499（医学．薬学）：4桁	13
493（内科学）：4桁	22
498（衛生学）：4桁	19
596（食品）：4桁	11
783（球技）：4桁	19
900 / 999（文学）：4桁	15
910 / 919（日本文学）：4桁	14
911（日本詩歌）：4桁	14
児童書：2桁	50
絵本：E	21
紙芝居：K	10
一部の分野：4桁	22

- 原則3桁を適用している公共図書館180館の回答内容。
- 歴史、個人伝記、日本地理、家族問題、社会福祉、医学、食品、球技、文学で4桁、児童書で2桁を適用とする回答が多く見られる。

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）

主な適用方針（「原則：4桁」「一般書：4桁」とした公共図書館）

	館
007（情報学）：7桁	12
200 / 299（歴史．地理）：5桁	14
210 / 219（日本･日本各地史）：5桁	17
369（社会福祉）：5桁	21
490 / 499（医学．薬学）：5桁	13
493（内科学）：5桁	17
498（衛生学）：5桁	14
573.5（ガラス）：5桁	25
596（食品）：5桁	27
801.9（音声によらない伝達）：5桁	13
900 / 999（文学）：5桁	14
910 / 919（日本文学）：5桁	11
910.268（日本近代作家の個人伝記）：6桁	12
913.6（日本近代小説）：F	18
913.6作品論：910.26	10
児童書：2桁	15
児童書：3桁	213
所蔵の多い分野：5桁	14

- 原則4桁を適用している公共図書館321館の回答内容。
- 歴史、社会福祉、医学、食品、点字、手話、文学で5桁を適用とする回答が多く見られ、日本近代作家の個人伝記は6桁、情報学は7桁とする回答も見られる。児童書は3桁の適用が多く見られる。

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）

主な適用方針（「原則：5桁」「一般書：5桁」とした公共図書館）

	館
007（情報学）：6桁	2
007（情報学）：7桁	17
900 / 999（文学）：6桁	3
913.6（日本近代小説）：F	3
児童書：1-3桁	2
児童書：3桁	23
児童書：4桁	21
児童書400 / 499（科学）：4桁	2
絵本：E	3
紙芝居：K	3
外国語資料（洋書）：3桁	3
一部の分野：6桁	2
分野により桁数変更	2

- 原則5桁を適用している公共図書館67館の回答内容。
- 情報学で7桁を適用とする回答が多く見られ、文学を6桁とする回答も見られる。児童書は3桁のほか4桁の適用も多く見られる。

2-C(2-3). NDCの適用方針（分野により桁数を変えるなど）（自由記入）

主な適用方針（「原則：6桁」とした大学図書館）

	館
007（情報学）：7桁	2
007.638（文書作成ソフトウェア）：7桁	2
319（外交）：6桁以上	1
319（外交）：7桁	2
375（教育課程）：7桁	1
392（国防史･事情）：7桁	1
492.9（看護学）：7桁	1
492.9015（看護倫理）：7桁	1
492.9079（看護師試験）：7桁	1
911（日本詩歌）：桁数制限なし	3
913.61 / .65（日本近代小説時代別）：不適用	1
児童書：3桁	1
専門分野：桁数を増やす	1
地理区分：桁数制限なし	3
地理区分のあるもの：6桁以上	1

- 原則6桁を適用している大学図書館19館の回答内容。
- 情報学や各専門分野で7桁を適用とする回答が見られる。

【A】調査回答館数

【B】分類法の適用について

(1) 分類法の使用

(2) 分類法の適用状況

(3) NDC新訂10版への切替

【C】分類作業の方法について

(1) 分類作業の方法

(2) NDCを適用する場合の桁数・運用方針

▶ 【D】分類に関するサービスについて

(1) 蔵書検索サービス（OPAC等）

(2) 分類に関する利用者への案内

【E】分類に関する意見、感想等（自由記入）

2-D(1-1). 蔵書の検索サービス（OPAC等）を提供しているか

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
館内・館外とも提供	98.1%	98.4%	88.8%	42.9%	28.1%	95.2%
館内のみ提供	1.9%	1.1%	6.5%	14.3%	9.4%	2.4%
提供していない		0.5%	4.7%	42.9%	62.5%	2.4%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
館内・館外とも提供	51	1,562	380	3	9	2,005
館内のみ提供	1	17	28	1	3	50
提供していない		8	20	3	20	51
回答館数	52	1,587	428	7	32	2,106

2-D(1-1). 蔵書の検索サービス（OPAC等）を提供しているか

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
館内・館外とも提供	100.0%	98.5%	98.3%	84.6%	100.0%	92.3%	98.2%
館内のみ提供		1.5%	1.5%	15.4%		7.7%	1.6%
提供していない			0.2%				0.1%

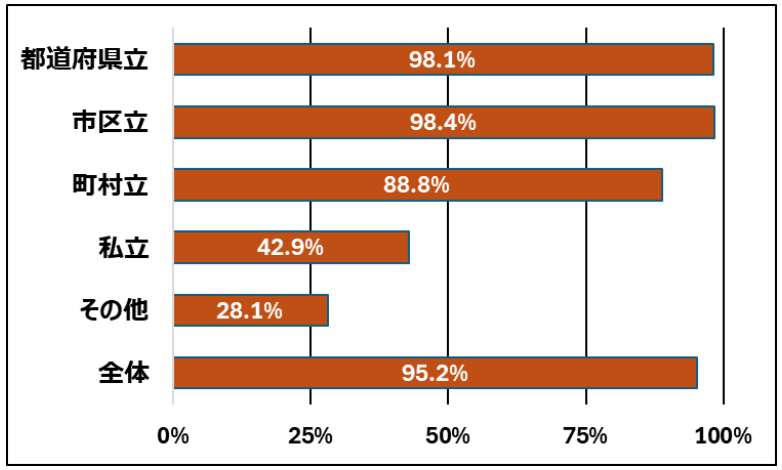
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
館内・館外とも提供	184	64	399	22	45	12	726
館内のみ提供		1	6	4		1	12
提供していない			1				1
回答館数	184	65	406	26	45	13	739

2-D(1-1). 蔵書の検索サービス（OPAC等）を提供しているか

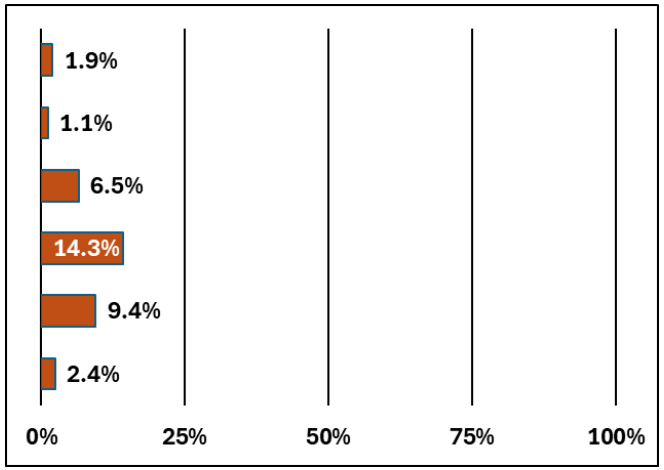
公共図書館

- 「館内・館外とも提供」は、2008年調査の76.5%→95.2%（公共）、80.1%→98.2%（大学）に増加。

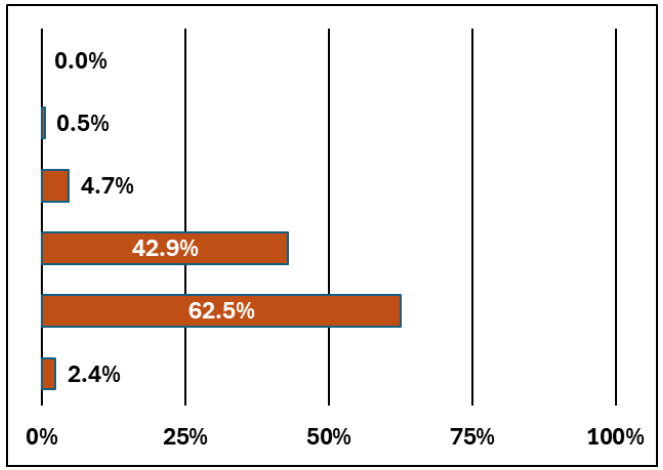
館内・館外とも提供



館内のみ提供

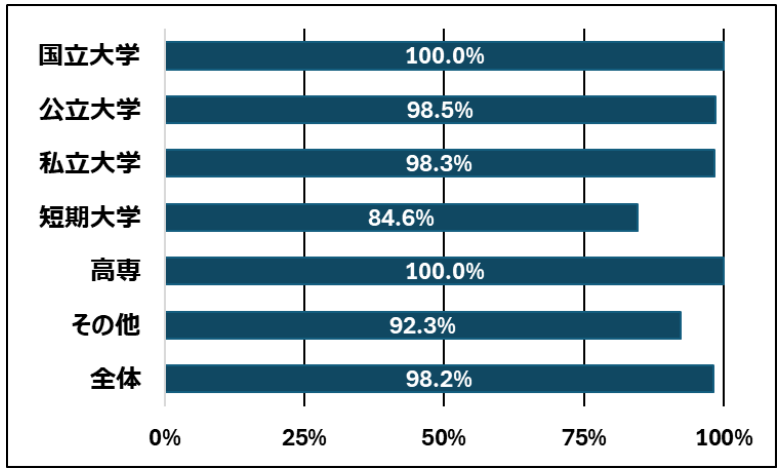


提供していない

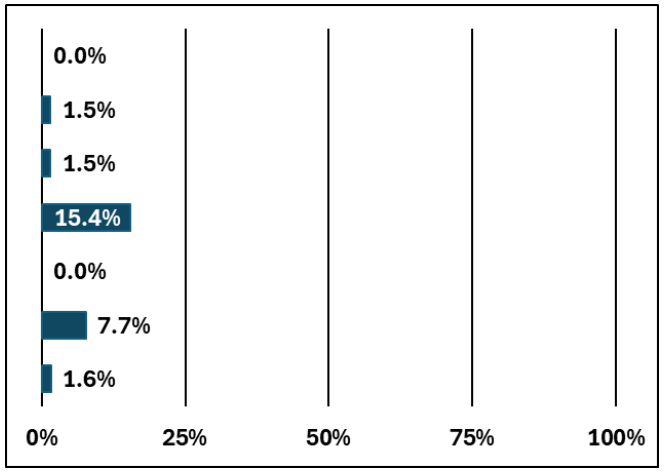


大学図書館

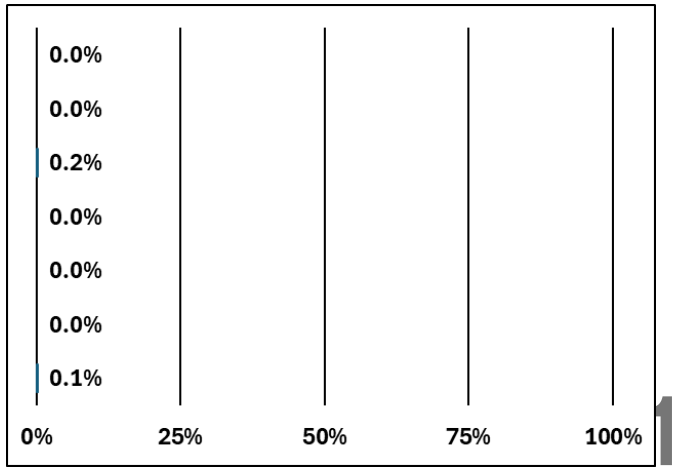
館内・館外とも提供



館内のみ提供



提供していない



2-D(1-2). 蔵書検索サービスで分類記号を検索に使用できるか※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
検索可	88.5%	87.8%	81.9%	50.0%	50.0%	86.3%
表示のみ可・検索不可	5.8%	4.1%	11.2%	25.0%	14.3%	5.6%
表示・検索とも不可		1.1%	2.4%	25.0%	35.7%	1.6%
その他	5.8%	7.0%	4.4%			6.4%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
検索可	46	1,384	335	2	7	1,774
表示のみ可・検索不可	3	64	46	1	2	116
表示・検索とも不可		17	10	1	5	33
その他	3	111	18			132
回答館数	52	1,576	409	4	14	2,055

※蔵書検索サービスを提供している図書館対象

2-D(1-2). 蔵書検索サービスで分類記号を検索に使用できるか

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
検索可	98.9%	96.9%	90.4%	80.8%	97.8%	84.6%	93.1%
表示のみ可・検索不可			6.9%	19.2%	2.2%	7.7%	4.7%
表示・検索とも不可			0.5%				0.3%
その他	1.1%	3.1%	2.2%			7.7%	1.9%

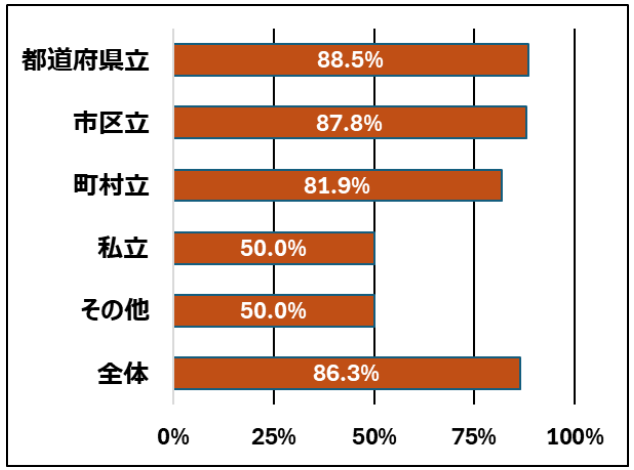
（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
検索可	182	63	367	21	44	11	688
表示のみ可・検索不可			28	5	1	1	35
表示・検索とも不可			2				2
その他	2	2	9			1	14
回答館数	184	65	406	26	45	13	739

2-D(1-2). 蔵書検索サービスで分類記号を検索に使用できるか

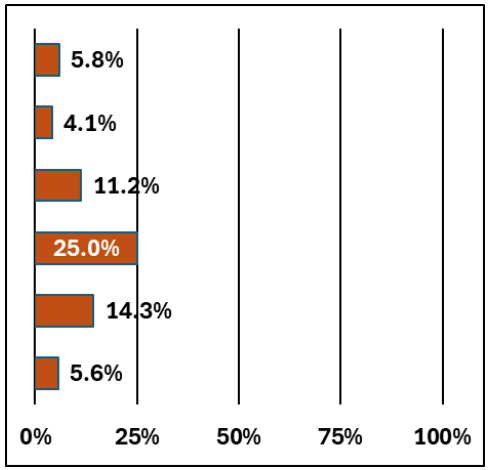
公共図書館

- 「検索可」は、2008年調査の73.3%→86.3%（公共）、92.2%→93.1%（大学）に増加。

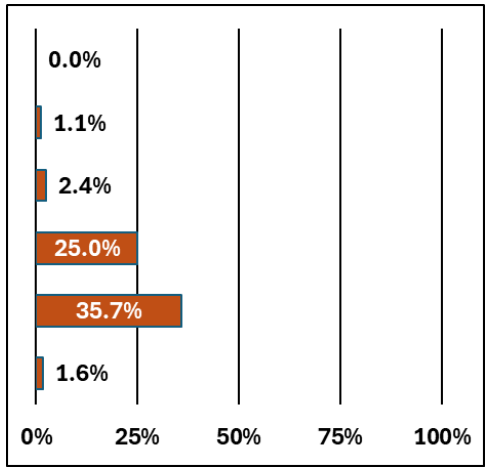
検索可



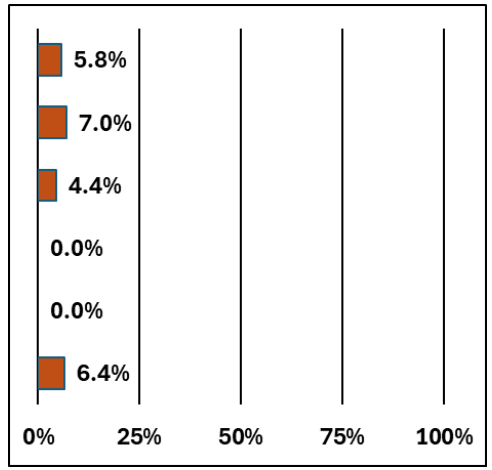
表示のみ可・検索不可



表示・検索とも不可

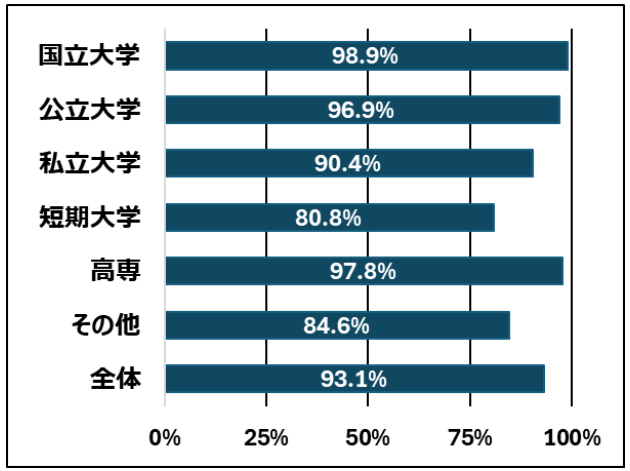


その他

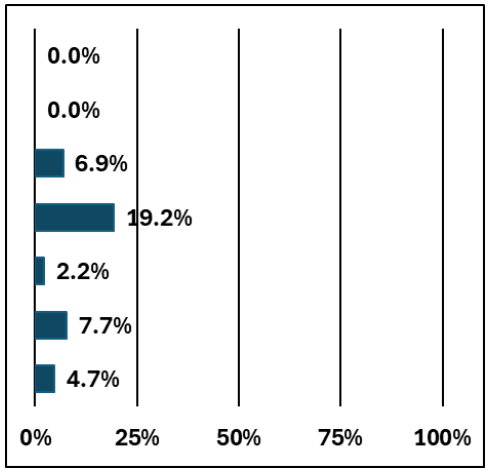


大学図書館

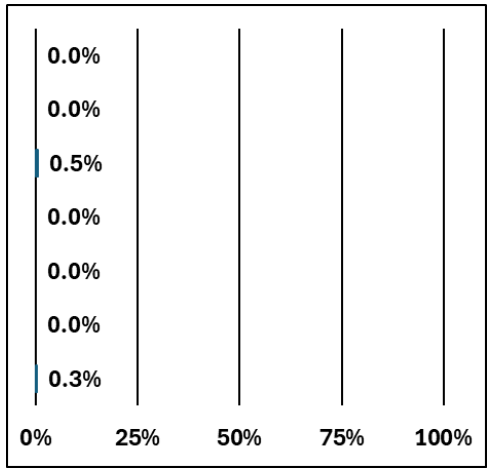
検索可



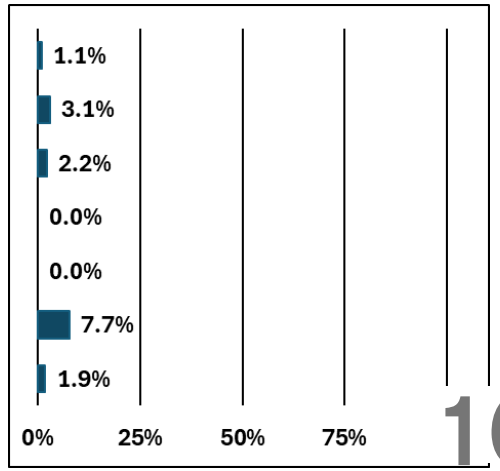
表示のみ可・検索不可



表示・検索とも不可



その他



2-D(1-2). 蔵書検索サービスで分類記号を検索に使用できるか

「その他」の主な回答内容

公共図書館

	館
館外用OPACは検索可、館内用OPACは検索不可	39
他のキーワードと組み合わせた検索のみ可	39
他のキーワードと組み合わせた請求記号からの検索可	15
請求記号からの検索可、分類記号は他のキーワードと組み合わせた検索のみ可	8
館外用OPACは検索不可、館内用OPACは検索可	7
館外用OPACは検索可、館内用OPACは分類の項目表示からの検索可	6

大学図書館

	館
請求記号からの検索可	6
システムに登録された分類記号を選択する方法により検索可	3
分類表の名称+分類記号を入力することにより検索可	2

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
NDC	92.2%	97.4%	97.7%	100.0%	100.0%	97.4%
NDLC	2.0%	0.1%	1.0%		9.1%	0.4%
DDC	2.0%	0.1%				0.1%
LCC			0.3%			0.1%
UDC			0.3%			0.1%
BSH	60.8%	29.6%	14.2%	33.3%		27.3%
NDLSH	15.7%	3.1%	1.6%			3.1%
LCSH	2.0%					0.1%
その他	33.3%	7.0%	2.6%	33.3%	9.1%	6.9%

※蔵書検索サービスを提供している図書館対象

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
NDC	92.3%	96.9%	89.1%	78.3%	100.0%	72.7%	90.7%
NDLC	58.8%	29.7%	22.1%		53.5%	45.5%	33.9%
DDC	54.4%	31.3%	21.5%		46.5%	36.4%	32.0%
LCC	54.9%	29.7%	21.8%		41.9%	45.5%	32.0%
UDC	20.3%	10.9%	7.2%		7.0%	27.3%	11.0%
BSH	74.7%	34.4%	53.5%	56.5%	44.2%	36.4%	56.5%
NDLSH	70.9%	26.6%	43.1%	34.8%	25.6%	36.4%	47.4%
LCSH	69.2%	18.8%	30.9%	13.0%	16.3%	36.4%	38.3%
その他	51.1%	10.9%	20.5%	4.3%	20.9%	18.2%	27.0%

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

公共図書館

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
NDC	47	1,484	377	3	11	1,922
NDLC	1	2	4		1	8
DDC	1	1				2
LCC			1			1
UDC			1			1
BSH	31	451	55	1		538
NDLSH	8	47	6			61
LCSH	1					1
その他	17	107	10	1	1	136
回答館数	51	1,523	386	3	11	1,974

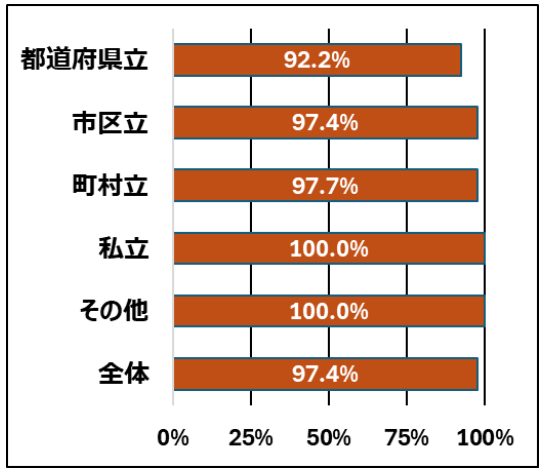
大学図書館

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
NDC	168	62	335	18	43	8	634
NDLC	107	19	83		23	5	237
DDC	99	20	81		20	4	224
LCC	100	19	82		18	5	224
UDC	37	7	27		3	3	77
BSH	136	22	201	13	19	4	395
NDLSH	129	17	162	8	11	4	331
LCSH	126	12	116	3	7	4	268
その他	93	7	77	1	9	2	189
回答館数	182	64	376	23	43	11	699

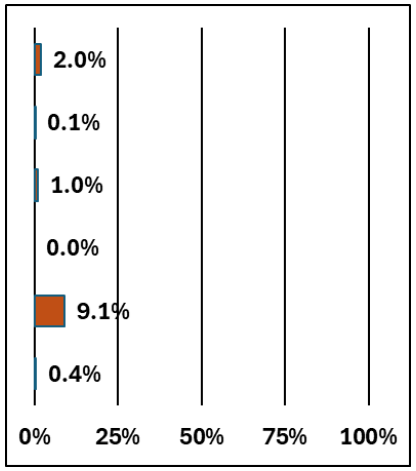
2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

公共図書館

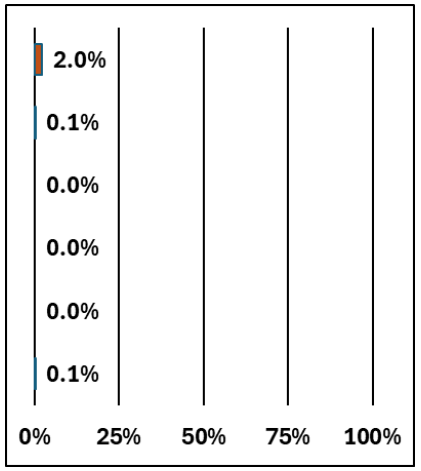
NDC



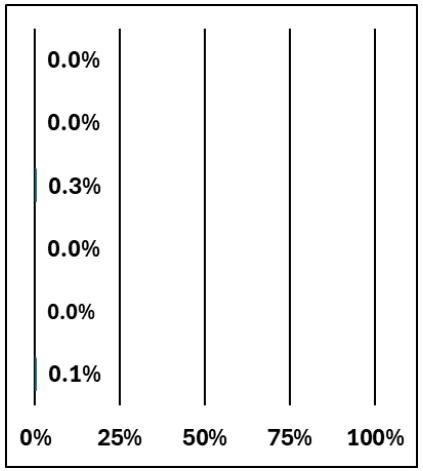
NDLC



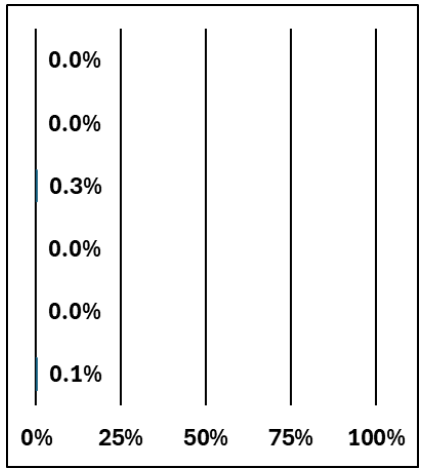
DDC



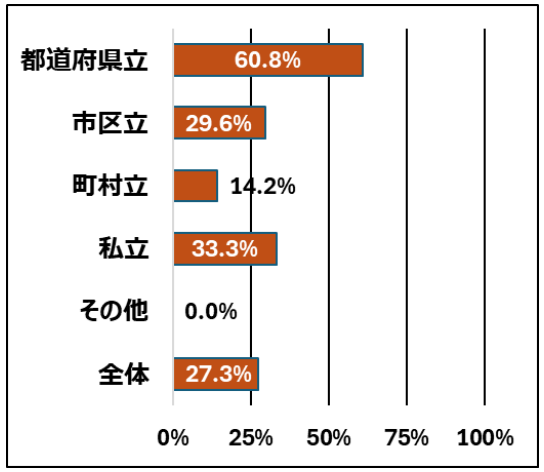
LCC



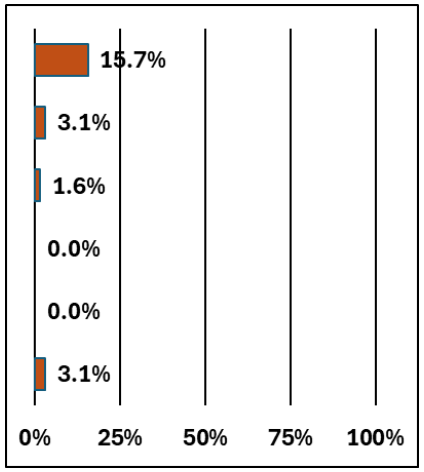
UDC



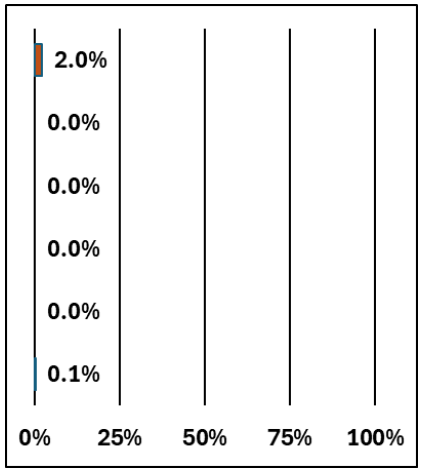
BSH



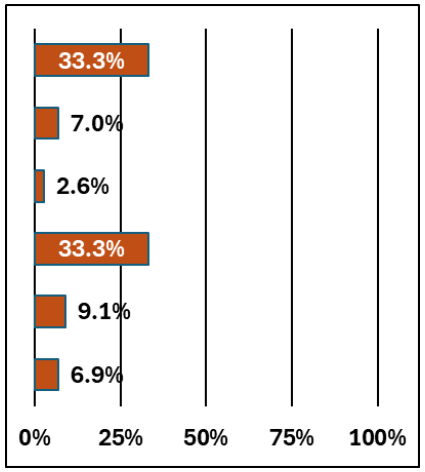
NDLSH



LCSH



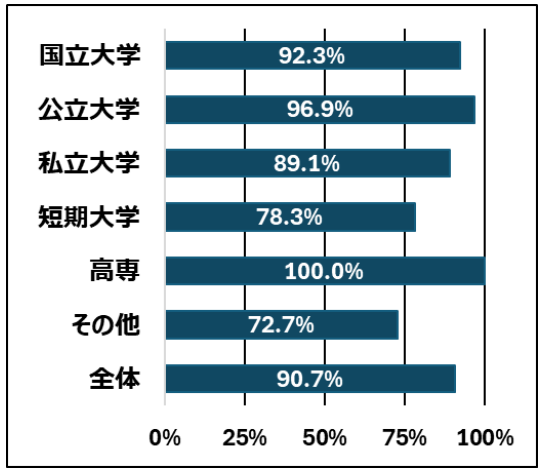
その他



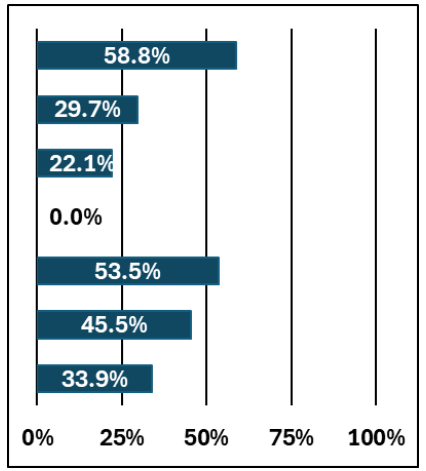
2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

大学図書館

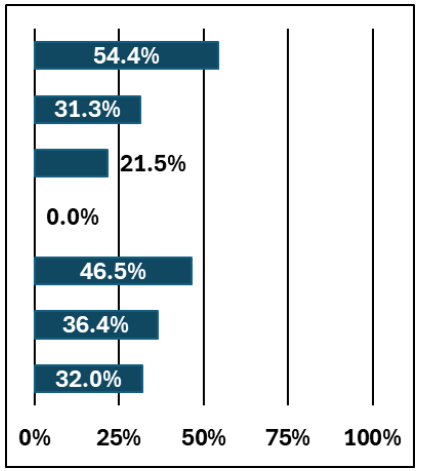
NDC



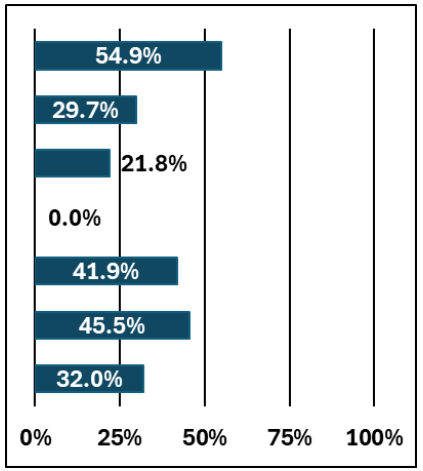
NDLC



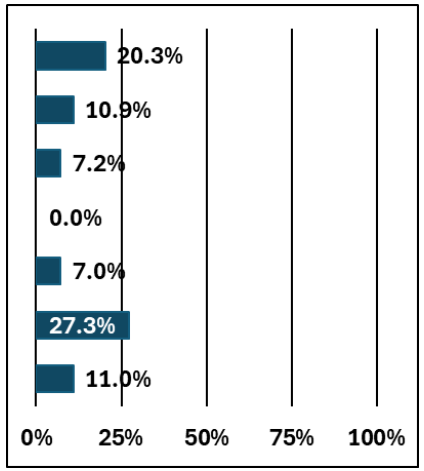
DDC



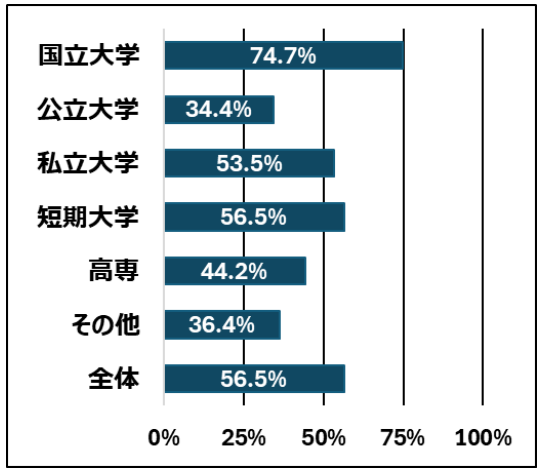
LCC



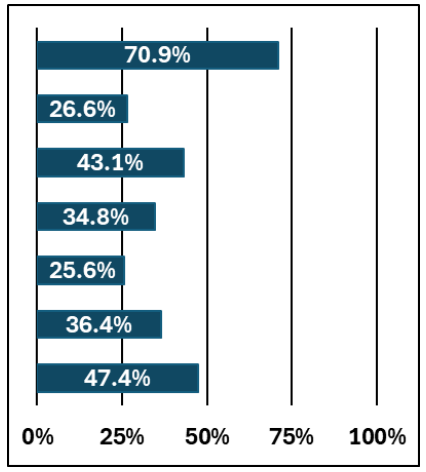
UDC



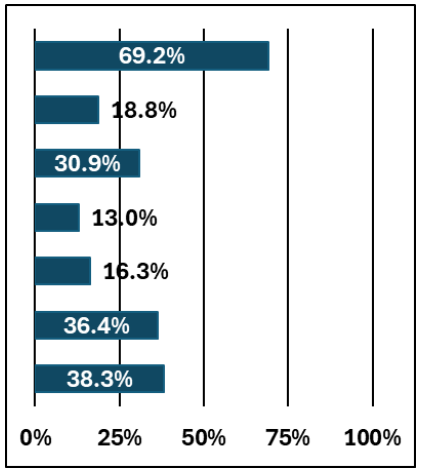
BSH



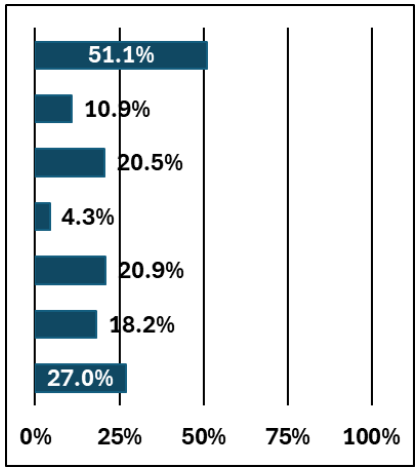
NDLSH



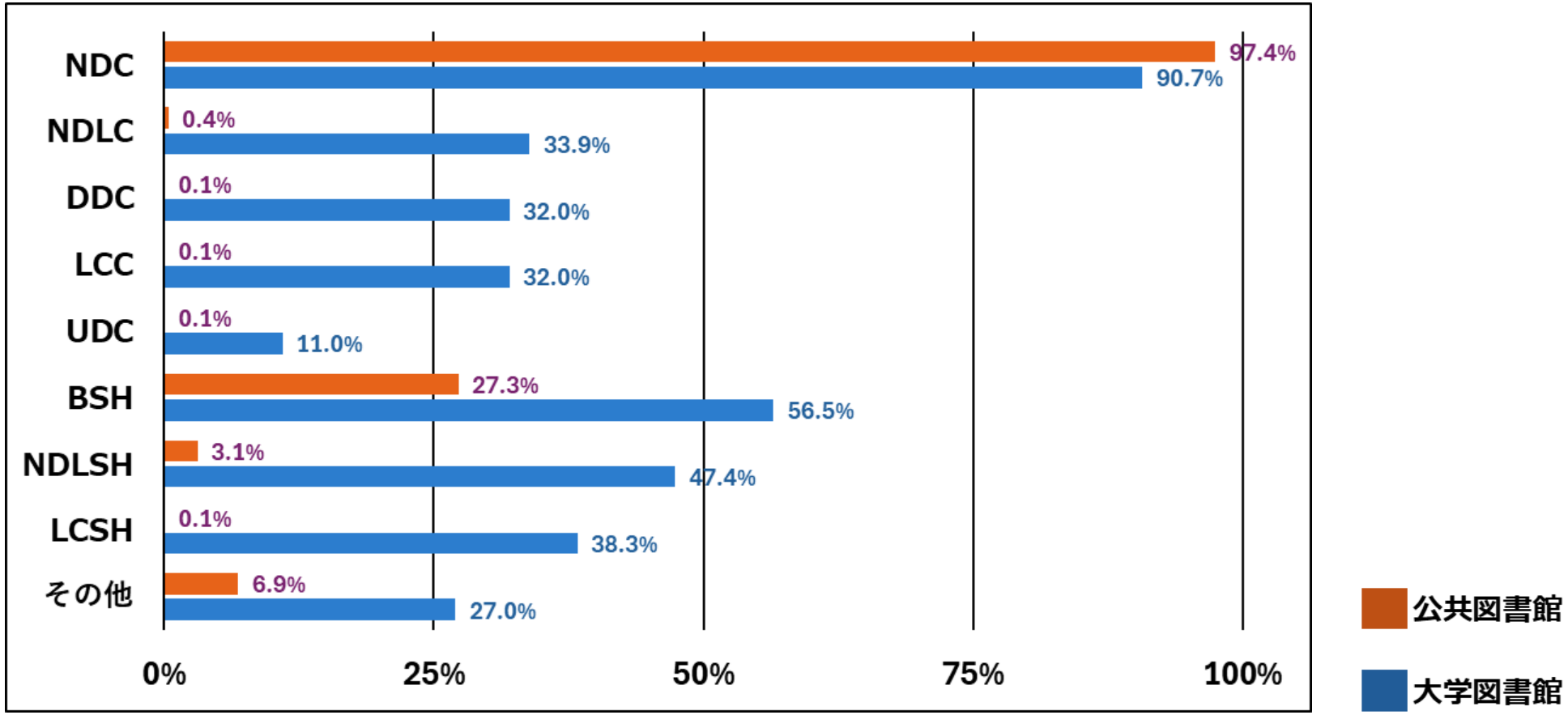
LCSH



その他



2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）



- 利用可能な主題検索キーは、公共より大学の方がはるかに多様。洋書や専門分野に対する主題検索の必要性、各種MARCデータが取り込まれたNACSIS-CATの書誌情報の存在が大きいと考えられる。
- 「BSHで検索可」は公共27.3%、大学56.5%。2008年調査で「件名標目で検索可」と回答した図書館（公共74.8%、大学82.8%）に比べて大幅に低く、どの件名標目表の語彙かは利用にあたり意識されていない可能性がある。

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
NDC	1,349	68.3%
NDC+BSH	419	21.2%
NDC+BSH+その他	51	2.6%
NDC+その他	48	2.4%
NDC+BSH+NDLSH	34	1.7%
その他	20	1.0%
BSH+その他	11	0.6%
BSH+NDLSH	8	0.4%
NDC+NDLSH	7	0.4%
回答館数	1,974	

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

大学図書館

	館	
NDC	188	26.9%
NDC+NDLC+DDC+LCC+BSH+NDLSH+LCSH+その他	53	7.6%
NDC+BSH	51	7.3%
NDC+BSH+NDLSH	38	5.4%
NDC+NDLC+DDC+LCC+UDC+BSH+NDLSH+LCSH	36	5.2%
NDC+NDLC+DDC+LCC+BSH+NDLSH+LCSH	32	4.6%
NDC+BSH+NDLSH+LCSH	32	4.6%
その他	29	4.1%
NDC+NDLC+DDC+LCC+UDC+BSH+NDLSH+LCSH+その他	29	4.1%
NDC+その他	20	2.9%
回答館数	699	

2-D(1-3). 検索に利用可能な主題関係の情報（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
TRC MARCの件名	48
TRC音楽分類	24
独自分類（郷土資料）	20
分類記号	11
ジャンル	10
学習件名	10
分類記号（視聴覚資料）	8
キーワード	4
件名（郷土資料）	4
独自分類	3
ライフスタイルジャンル	2

大学図書館	館
NLMC（米国国立医学図書館分類法）	92
書誌に記録された件名	52
Sachgruppen der Deutschen Bibliothek Frankfurt am Main（ドイツ国立図書館主題グループ）	50
書誌に記録された分類	39
DDC-Sachgruppen	33
独自分類	18
MeSH（医学件名標目表）	15
教科書検定番号	5
中国分類主題詞表（CTSH）	4
分類記号（種類を区別せず）	3
独自分類（音楽）	2

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）※

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
階層検索	76.1%	80.3%	81.4%	50.0%	33.3%	80.1%
絞り込み機能	69.6%	56.0%	35.2%		33.3%	53.1%
再検索・リンク検索	34.8%	30.0%	12.9%		16.7%	27.5%
分類項目表示	17.4%	18.2%	18.1%	100.0%	33.3%	18.3%
分類一覧表示	37.0%	26.1%	27.1%	50.0%	33.3%	26.7%
その他	8.7%	10.0%	8.6%		33.3%	9.8%

階層検索：分類表を用いた階層検索機能
絞り込み機能：検索結果を分類（主題分野）で絞り込む機能
再検索・リンク検索：表示した分類記号からの再検索（リンク検索）機能
分類項目表示：表示した分類記号の分類項目名等を表示する機能
分類一覧表示：分類記号の一覧表示機能

※蔵書検索サービスを提供している図書館対象

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

大学図書館

	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
階層検索	76.6%	83.8%	61.2%	76.9%	90.5%	71.4%	71.1%
絞り込み機能	88.7%	81.1%	71.0%	46.2%	85.7%	85.7%	78.2%
再検索・リンク検索	53.9%	51.4%	59.8%	30.8%	69.0%	57.1%	57.3%
分類項目表示	31.9%	51.4%	43.9%	15.4%	73.8%	28.6%	42.5%
分類一覧表示	31.9%	40.5%	27.6%	23.1%	47.6%		31.3%
その他	4.3%	2.7%	9.3%	15.4%			6.4%

階層検索：分類表を用いた階層検索機能
絞り込み機能：検索結果を分類（主題分野）で絞り込む機能
再検索・リンク検索：表示した分類記号からの再検索（リンク検索）機能
分類項目表示：表示した分類記号の分類項目名等を表示する機能
分類一覧表示：分類記号の一覧表示機能

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

公共図書館

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
階層検索	35	923	171	1	2	1,132
絞り込み機能	32	643	74		2	751
再検索・リンク検索	16	345	27		1	389
分類項目表示	8	209	38	2	2	259
分類一覧表示	17	300	57	1	2	377
その他	4	115	18		2	139
回答館数	46	1,149	210	2	6	1,413

階層検索：分類表を用いた階層検索機能
絞り込み機能：検索結果を分類（主題分野）で絞り込む機能
再検索・リンク検索：表示した分類記号からの再検索（リンク検索）機能
分類項目表示：表示した分類記号の分類項目名等を表示する機能
分類一覧表示：分類記号の一覧表示機能

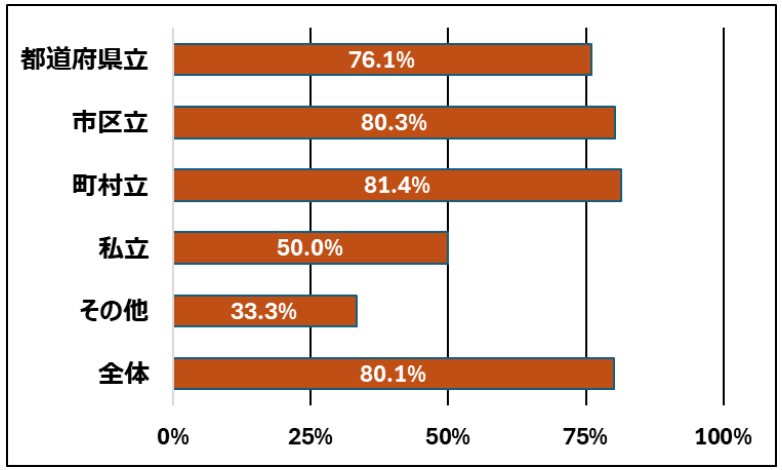
大学図書館

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
階層検索	108	31	131	10	38	5	323
絞り込み機能	125	30	152	6	36	6	355
再検索・リンク検索	76	19	128	4	29	4	260
分類項目表示	45	19	94	2	31	2	193
分類一覧表示	45	15	59	3	20		142
その他	6	1	20	2			29
回答館数	141	37	214	13	42	7	454

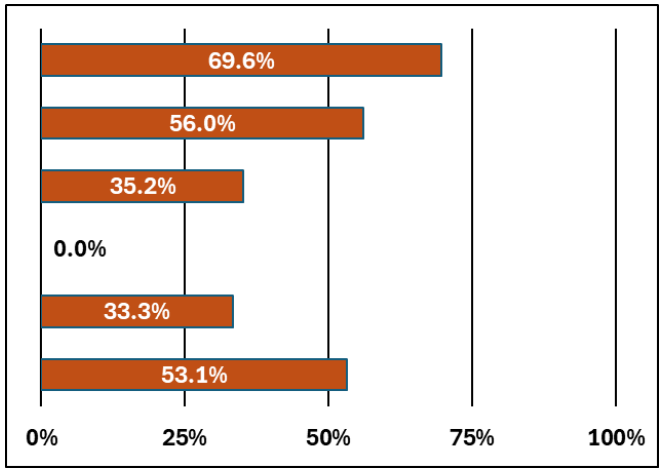
2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

公共図書館

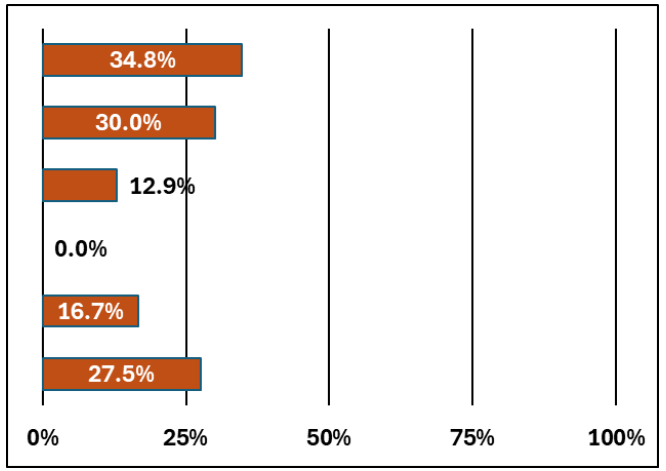
階層検索



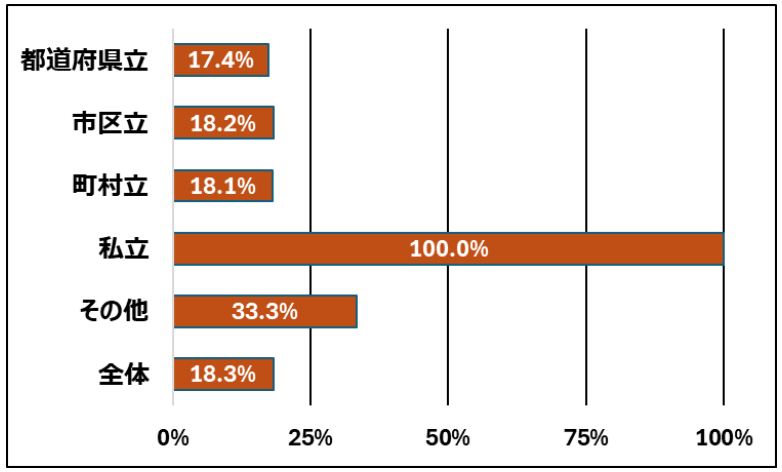
絞り込み機能



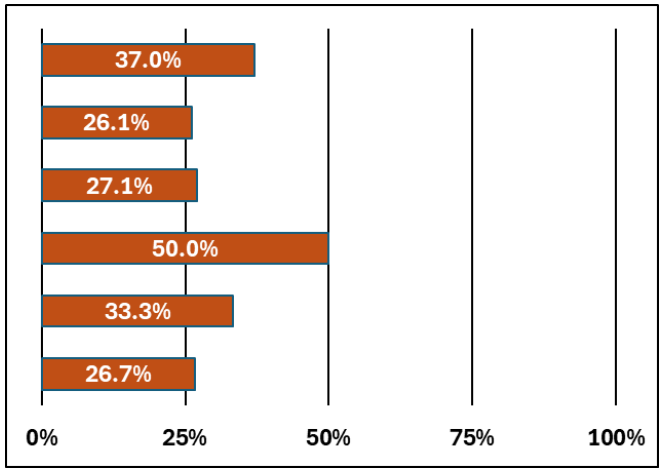
再検索・リンク検索



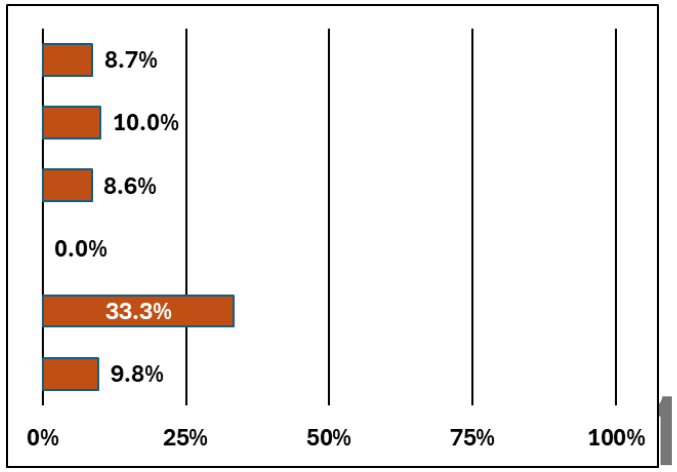
分類項目表示



分類一覧表示



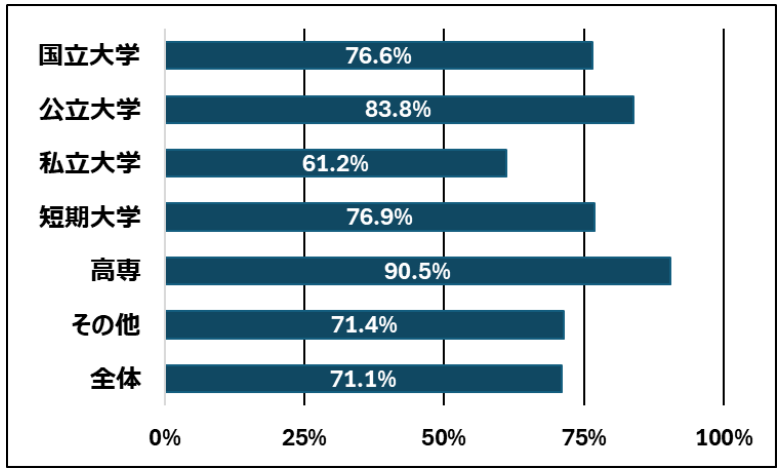
その他



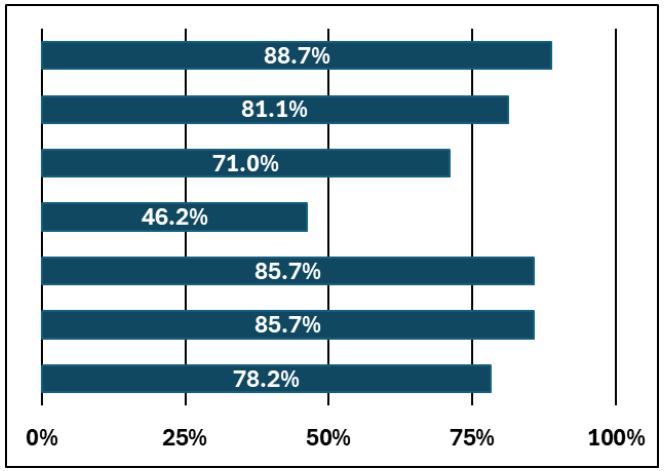
2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

大学図書館

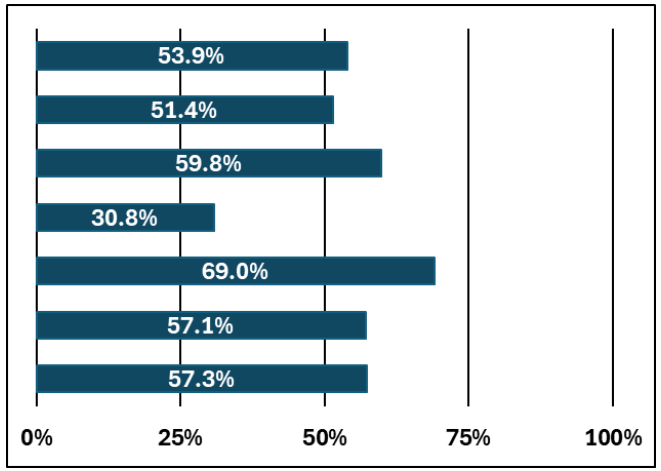
階層検索



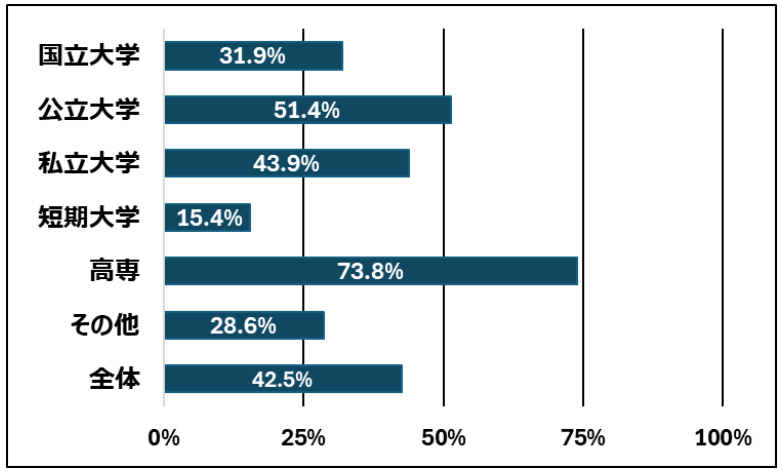
絞り込み機能



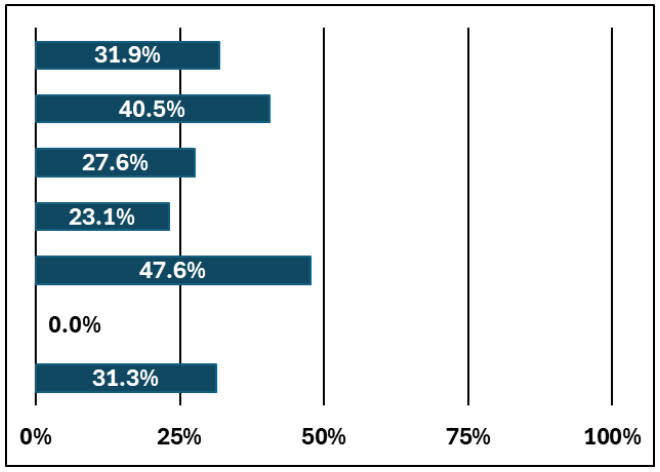
再検索・リンク検索



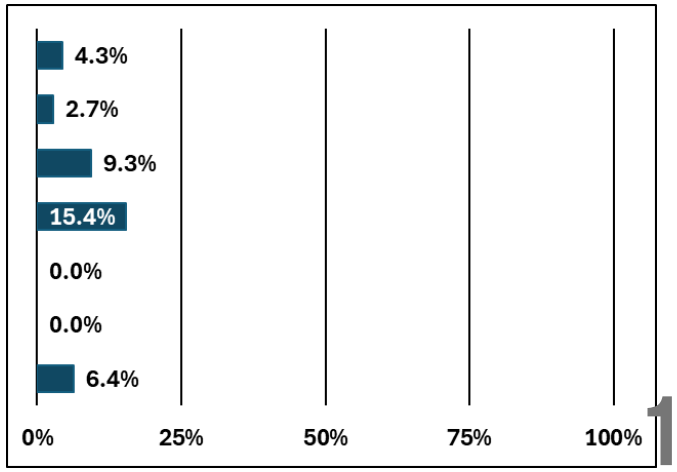
分類項目表示



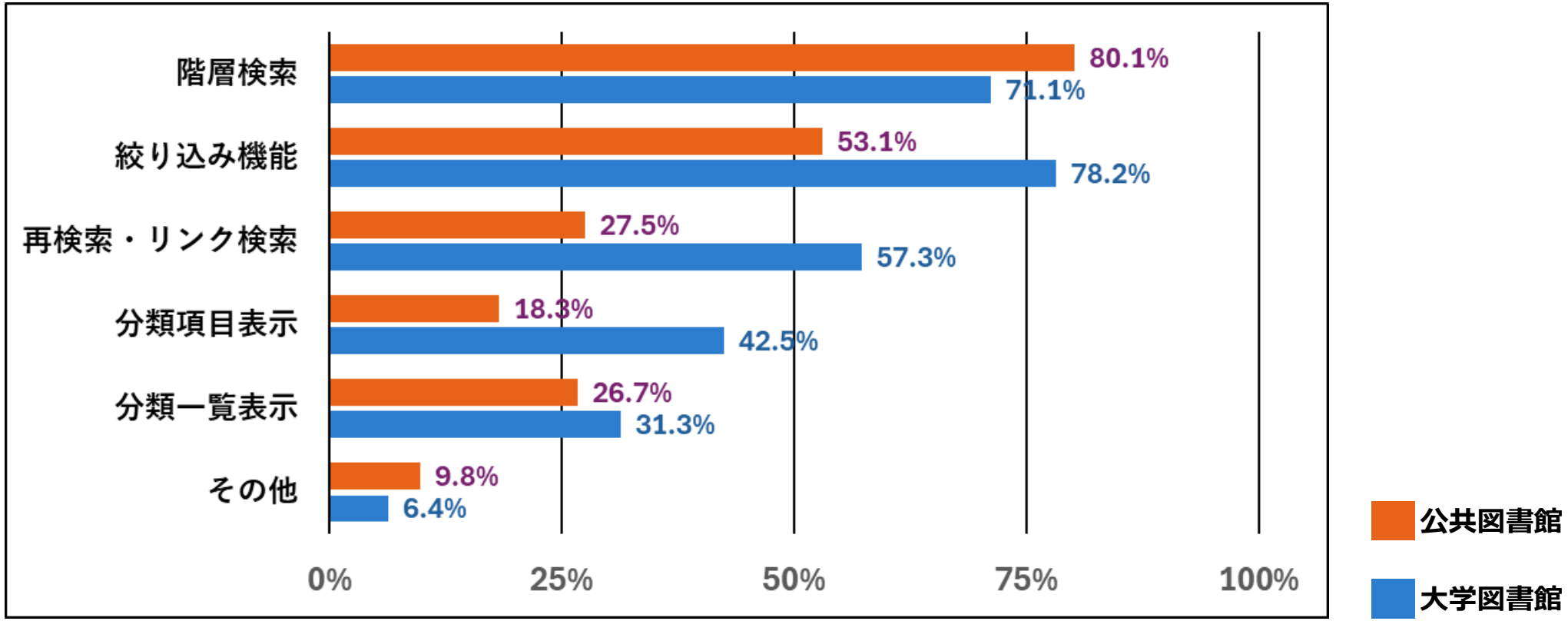
分類一覧表示



その他



2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）



- 「階層検索」が多くの図書館で採用され、一般的に導入されている図書館パッケージシステムの基本装備を反映していると考えられる。
- 「絞り込み機能」「再検索・リンク検索」といった検索結果を活用した支援機能は、大学の方が高く、専門分野の絞り込みや探索に役立てる意図がうかがえる。

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
階層検索	317	22.4%
階層検索+絞り込み機能	215	15.2%
階層検索+絞り込み機能+再検索・リンク検索	94	6.7%
階層検索+分類一覧表示	79	5.6%
その他	79	5.6%
絞り込み機能	76	5.4%
階層検索+絞り込み機能+分類一覧表示	67	4.7%
階層検索+再検索・リンク検索	46	3.3%
階層検索+絞り込み機能+再検索・リンク検索+分類項目表示	44	3.1%
回答館数	1,413	

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

大学図書館

	館	
階層検索+絞り込み機能+再検索・リンク検索+分類項目表示+分類一覧表示	80	17.6%
階層検索+絞り込み機能	54	11.9%
絞り込み機能+再検索・リンク検索	51	11.2%
階層検索+絞り込み機能+再検索・リンク検索+分類項目表示	45	9.9%
階層検索	40	8.8%
階層検索+絞り込み機能+再検索・リンク検索	32	7.0%
その他	19	4.2%
絞り込み機能+分類項目表示	14	3.1%
絞り込み機能+再検索・リンク検索+分類項目表示	14	3.1%
回答館数	454	

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
検索結果を分類記号順に並べ替え	20
分類項目名の表示（検索条件入力時のみ）	18
新着資料の分類・ジャンルからの検索	17
分類記号入力による検索	12
分類表を用いた階層検索機能（絞り込み項目）	8
AND検索	4
分類記号の一覧表示機能（一部分野のみ）	4
分類表を用いた階層検索機能（項目名から）	4
検索結果を分類で絞り込む機能（館外用OPACのみ）	3
ライフスタイルジャンルによる絞り込み検索	2
分類表を用いた階層検索機能（館外用OPACのみ）	2

2-D(1-4). 分類を使用した検索支援機能（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

大学図書館	館
検索結果を件名で絞り込む機能	5
件名からの再検索（リンク検索）機能	4
検索結果を分類で絞り込む機能（書誌にある場合のみ）	3
同一分野の図書を実際の配架を再現するように表示	3
表示した分類記号からの再検索機能（書誌にある場合のみ）	3
分類記号リストからの選択	2
検索結果を主題分野で絞り込む機能	1
大まかな分類からの検索	1
分類表を用いた階層検索機能を実装予定	1
新着資料の分類・ジャンルからの検索	1

2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）

公共図書館

	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	全体
書架に見出し	100.0%	98.0%	98.0%	100.0%	100.0%	98.1%
分類表の掲示	69.2%	69.5%	59.5%	50.0%	54.2%	67.3%
配布物による紹介	34.6%	34.9%	15.8%			30.6%
検索用分類表の設置	19.2%	8.3%	6.4%			8.1%
その他	1.9%	5.2%	2.0%			4.4%

（単位：館）	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計
書架に見出し	52	1,497	385	4	24	1,962
分類表の掲示	36	1,062	234	2	13	1,347
配布物による紹介	18	533	62			613
検索用分類表の設置	10	127	25			162
その他	1	80	8			89
回答館数	52	1,528	393	4	24	2,001

書架に見出し：書架に分類に関する見出しを付けている
分類表の掲示：館内に分類表の掲示を行っている
配布物による紹介：配布物等で分類を紹介している
検索用分類表の設置：検索用に分類表を備え付けている

2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）

大学図書館

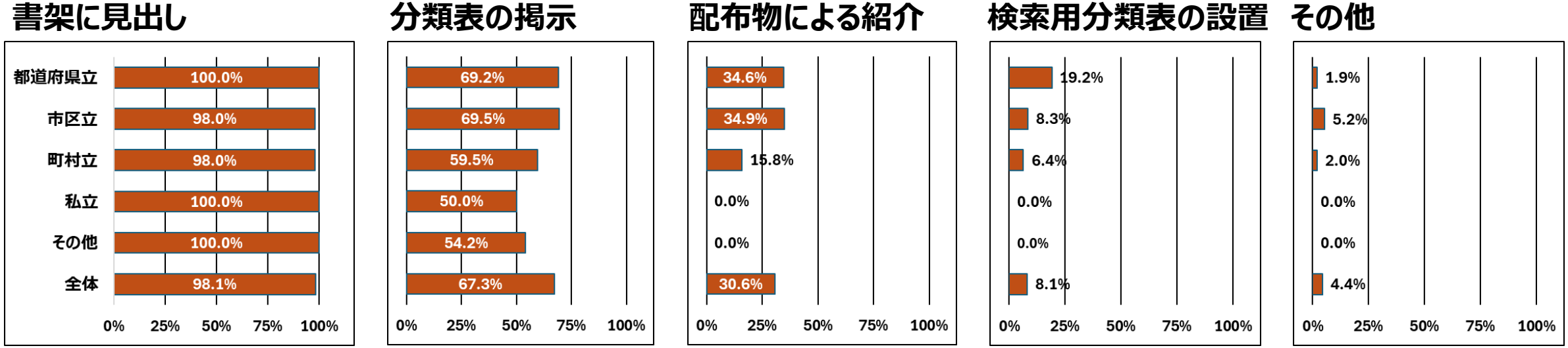
	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	全体
書架に見出し	97.7%	98.4%	98.7%	100.0%	97.7%	100.0%	98.4%
分類表の掲示	62.6%	79.0%	69.4%	56.0%	75.0%	75.0%	68.6%
配布物による紹介	30.4%	33.9%	43.4%	48.0%	47.7%	16.7%	39.4%
検索用分類表の設置	15.8%	6.5%	12.0%	8.0%	20.5%	25.0%	13.0%
その他	4.7%	3.2%	5.1%				4.2%

（単位：館）	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高専	その他	計
書架に見出し	167	61	387	25	43	12	695
分類表の掲示	107	49	272	14	33	9	484
配布物による紹介	52	21	170	12	21	2	278
検索用分類表の設置	27	4	47	2	9	3	92
その他	8	2	20				30
回答館数	171	62	392	25	44	12	706

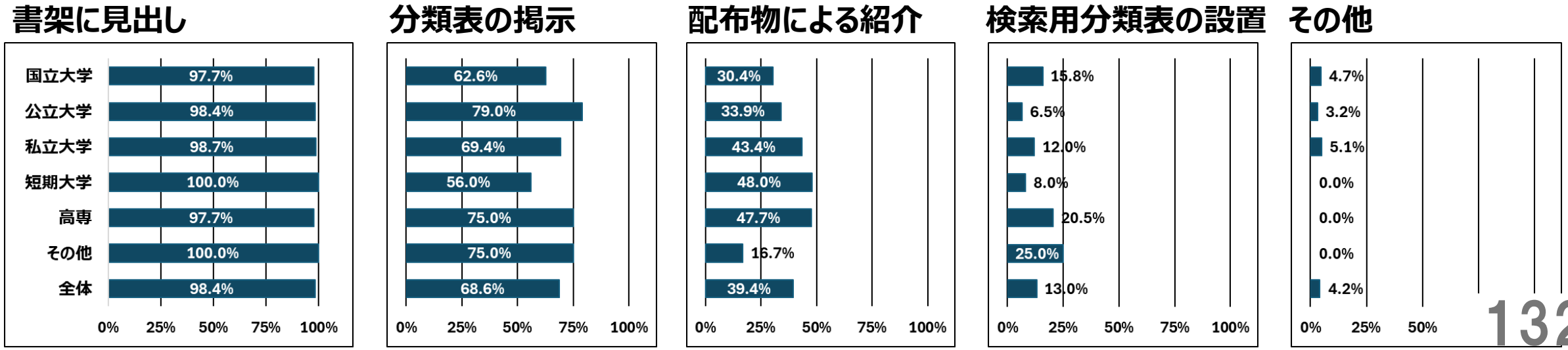
書架に見出し：書架に分類に関する見出しを付けている
分類表の掲示：館内に分類表の掲示を行っている
配布物による紹介：配布物等で分類を紹介している
検索用分類表の設置：検索用に分類表を備え付けている

2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）

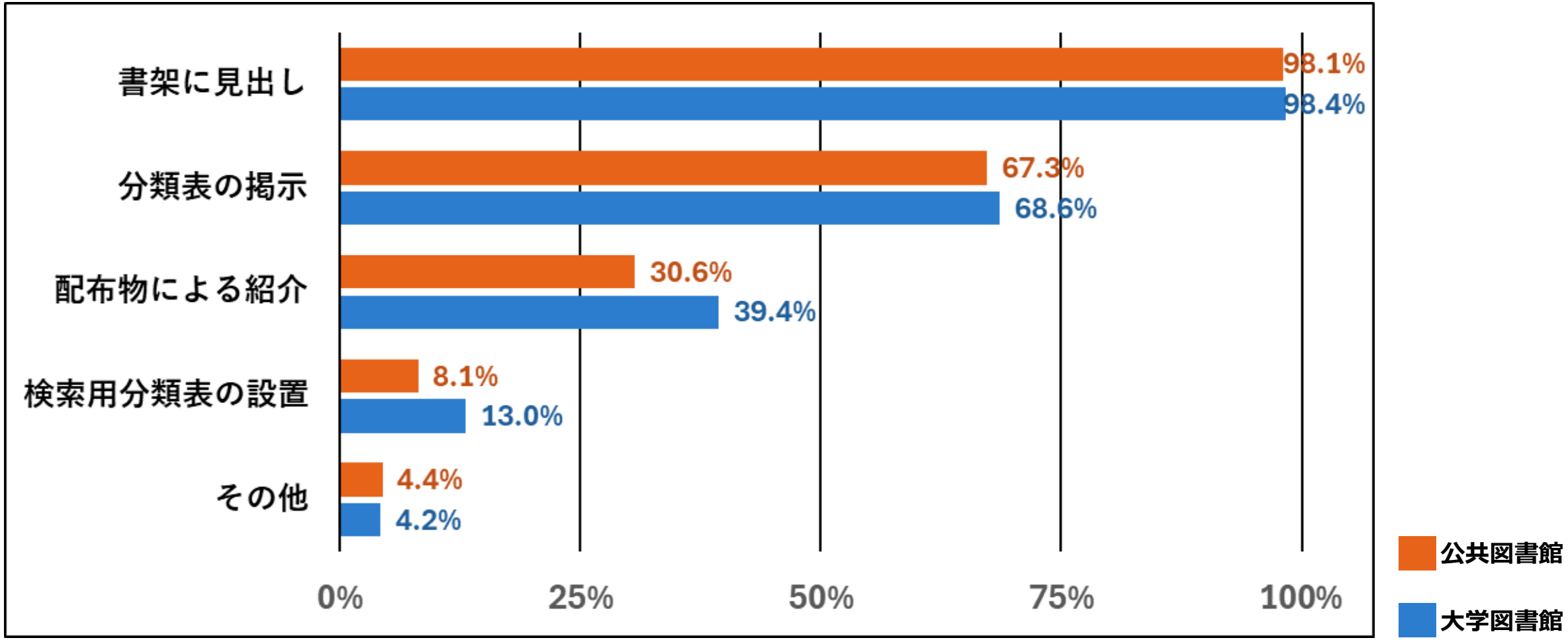
公共図書館



大学図書館



2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）



- 「書架に見出し」に加え、館内への「分類表の掲示」も7割近くで行われており、利用者への分類の案内がかなり浸透していると考えられる。

2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）

複数回答の組み合せ別回答館数（館数の多い順・抜粋）

公共図書館

	館	
書架に見出し+分類表の掲示	754	37.7%
書架に見出し	480	24.0%
書架に見出し+分類表の掲示+配布物による紹介	396	19.8%
書架に見出し+配布物による紹介	121	6.0%
書架に見出し+分類表の掲示+配布物による紹介+検索用分類表の設置	67	3.3%
書架に見出し+分類表の掲示+検索用分類表の設置	53	2.6%
回答館数	2,001	

大学図書館

	館	
書架に見出し+分類表の掲示	228	32.3%
書架に見出し+分類表の掲示+配布物による紹介	161	22.8%
書架に見出し	136	19.3%
書架に見出し+配布物による紹介	55	7.8%
書架に見出し+分類表の掲示+配布物による紹介+検索用分類表の設置	46	6.5%
書架に見出し+分類表の掲示+検索用分類表の設置	26	3.7%
回答館数	706	

2-D(2). 分類に関する利用者向けの案内の内容（複数選択可）

「その他」の主な回答内容

公共図書館	館
書架案内図（館内配置図）に表示	33
本の探し方に関する資料配布	15
図書館行事で分類を説明	5
OPACに分類表参照機能あり	2
ホームページで分類を説明	2

大学図書館	館
図書館ガイダンスで分類を説明	11
ホームページに分類表を掲載	9
ホームページで分類を説明	6
書架案内図（館内配置図）に表示	5
文献検索講習会テキストに分類表を掲載	1

【A】調査回答館数

【B】分類法の適用について

(1) 分類法の使用

(2) 分類法の適用状況

(3) NDC新訂10版への切替

【C】分類作業の方法について

(1) 分類作業の方法

(2) NDCを適用する場合の桁数・運用方針

【D】分類に関するサービスについて

(1) 蔵書検索サービス（OPAC等）

(2) 分類に関する利用者への案内

▶ 【E】分類に関する意見、感想等（自由記入）

2-E. 分類に関する意見、感想等（自由記入）

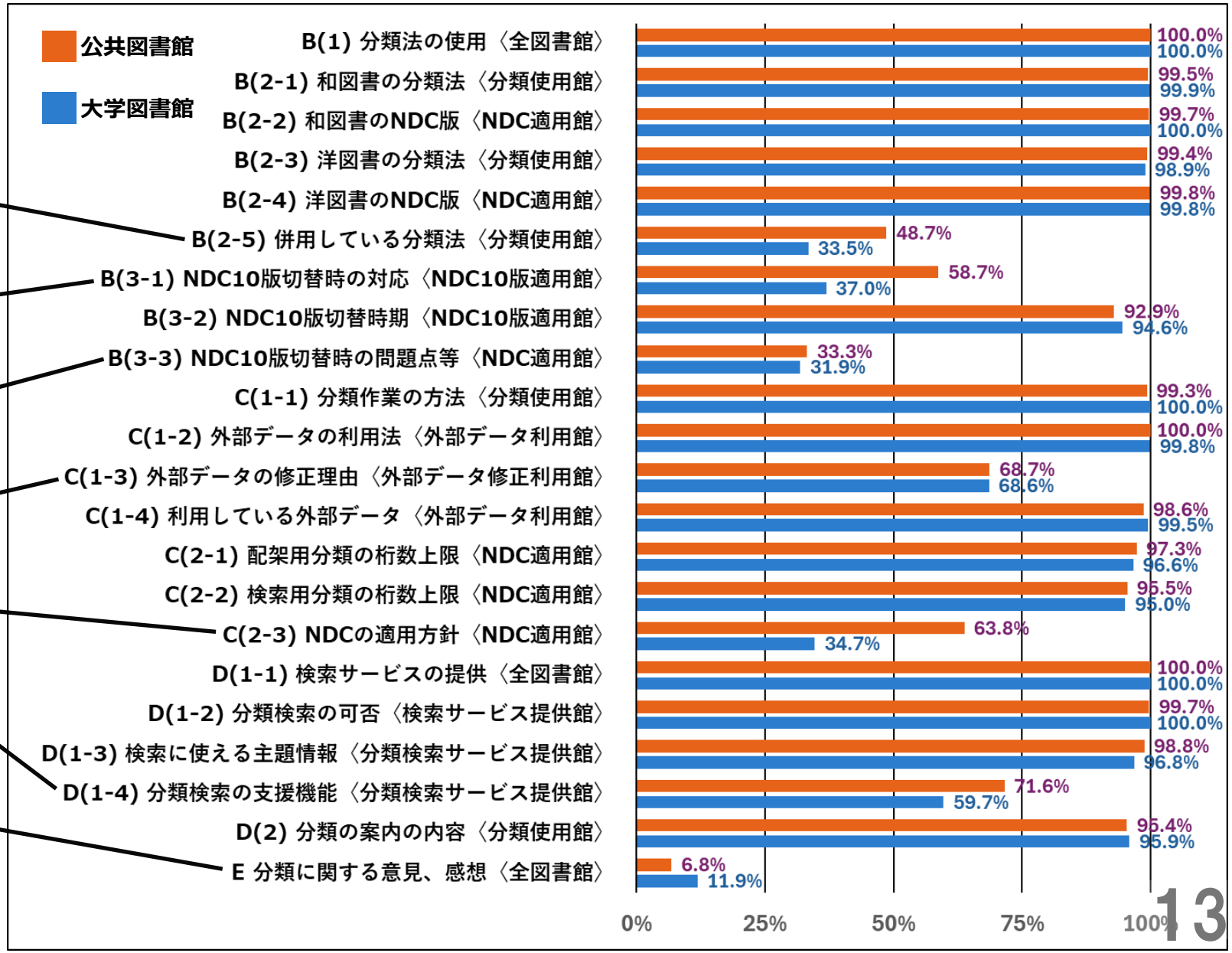
観点	回答要旨の例	回答館数 公共	回答館数 大学
分類の意義	配架や検索に不可欠、共通の分類法は相互協力に有効、など	16	1
分類作業	適切な分類に迷うことがある、統一を図るのが難しい、など	10	8
分類担当者	人材育成、知識継承が課題、専任職員が必要、など	1	4
利用者にとっての分類	分類を活用できているか疑問、利用者への説明の機会を設けている、など	16	8
分類や配架の工夫	類をまたぐ類書がまとまるように配架、一部分野で独自分類を適用、など	5	4
NDCの版の切替	切替時の対応について知りたい、切替は困難、など	1	13
NDCの提供	館内掲示用の分類表が欲しい、DDCとの比較表があるとよい、など	3	3
NDCの改訂・補訂	新主題の扱いをいち早く知りたい、相関索引の充実を望む、など	2	4
NDCの体系・項目	時代に即した見直しも必要、桁数は多くなくてよい、など	9	4
今回の分類調査	他館の情報を参考にしたい、絵本の分類についての設問も欲しかった、など	5	3
独自分類	資料が特定分野中心のため独自分類を適用、など	5	6
その他	特になし、など	71	30
	計	144	88

2-(参考). 設問ごとの回答率

・ 設問要旨の後の括弧による付記は、回答率の母数とした対象数。

回答率の低い設問について

- 「併用」の解釈が難しい？
- 実作業から時間が経過している？
- 自由記入が難しい？
- 修正の理由が多岐にわたる？
- 自由記入が難しい？
- 「特になし」の場合の選択肢がない？
- 自由記入が難しい？



3. 全般的な着目点

3-1. 調査回答率と本調査の位置付け

- 本調査の回答率（公共63.7%、大学43.2%）は、2008年調査（公共95.1%、大学89.1%）に比べ低調。
- 日本の図書館の分類の状況を数値的に示せたとは言い難いが、ある程度の傾向は把握でき、今後の検討素材になり得る。
- 各図書館にとっても、他の図書館の分類の状況を知り、参考とするような可能性は期待できる。

3-2. NDCの普及状況

- 新規受入の和図書へのNDC適用率は、公共98.9%、大学87.9%。
- 2008年調査（公共ほぼ100%、大学92%以上）に比べて大きな変化はない。
- 指定管理者導入館において個別の分類法を使用との回答があったことは新たな特徴。
- NDC10版（2014年の刊行後10年経過）の新規受入の和図書に対する適用率は公共63.7%、大学42.3%。
- 2008年調査のNDC9版（1995年の刊行後13年経過）の適用率が公共76.4%、大学59.7%だったことに対し大きな差異は認められないが、公共と大学の差がやや開き気味。
- 切り替えに伴う課題や作業についてもさまざまなコメントが見られた。

3-3. 外部資源の利用

- 外部データを何らかの形で使用している割合は公共で95%以上。
- 手を加えないでそのまま用いるとの回答も3割に近く、外部データの活用は広く進行。
- 館外への蔵書検索サービスの公開も公共の95%が実施。
- 分類に関する検索機能も、システムの基本装備が活用されていると見られる。
- なお分類検索不可としている図書館のOPACの中には、簡易検索画面を詳細検索画面に切り替えれば分類検索が可能となる例もあり、検索における分類の使用に対する意識が高いとは言い切れない。

3-4. 分類法と各館の「組織化」

- NDCは、学問分野を基本に主題を区分した観点分類法。十進分類法としての性格上、主題分野により分類記号に長短あり。
- 多くの館がNDCを一般的なツールとして使用しつつ、分類記号の桁数や、特定の主題、ジャンル、資料種等の扱いについて、自館のサービスに合わせて適用。
- 郷土資料については、独自性のある組織化が広く行われている。
- 分類に関する案内は、公共ではサービス設計の一環。分類表の掲示も回答館の7割近くが実施。利用者への分類の案内はかなり浸透している。

報告は以上となります。

ご清聴ありがとうございました。